

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	本庁舎・中央町別館・大社町別館		
施設所管課	管財課	施設分類	庁舎施設
目的	<ul style="list-style-type: none"> 三島市の行政事務を行うとともに、市民に必要な行政サービスを提供する。 災害時に、対策本部、対策拠点となる施設 		
開館状況	運営時間	8時30分～17時15分	休館日 毎週土・日、祝日、年末年始
写真			

【サービス(利用状況)の評価】

サービス内容	受付窓口		
利用状況	現在の利用状況		
	名称	受付件数	備考
	本庁舎	1,342件/日	市民課:340件(窓口システムで集計) その他:1002件
	中央町別館	125件/日	
	大社町別館	57件/日	
	コメント		
<ul style="list-style-type: none"> 庁舎が3つに分散していることから、中央町別館又は大社町別館に用のある方が、間違えて本庁舎に来てしまうことがある。 本庁舎、中央町別館間での手続きの移動に関しては、市内転居の手続きを本庁舎の市民課で行った後、転居前と同じ小学校又は中学校に通学させたい場合において、学区外申請書を中央町別館にある教育委員会に提出する場合などがある。 本庁舎、大社町別館間での手続きの移動に関しては、農地を所有している方が亡くなり、本庁舎の市民課で手続をし、農地の相続者が確定した場合に、新たな農地所有者の届出書を大社町別館の農業委員会に提出する場合などがある。 中央町別館、大社町別館間での手続きの移動に関しては、受付窓口を間違えて、来庁することはあるが、具体的な手続きで移動することはない。 			

将来予測											
利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が減少すれば、来庁者も減少する。電子申請の普及により、来庁者も減少する。 ・高齢化により、来庁者も高齢化すると考えられることから、利便性を考慮し、手続きにおける窓口間の移動はできるだけ少なくするべき。 										
問題点	☆受付窓口が、各建物に分散されており、来庁者にとって利便性が悪い。										
対策の可能性	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>コメント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新庁舎の建設</td> <td>新たに庁舎を建設し、すべての窓口を集約化する。 (建設費に多額な経費が必要なので、既存施設の建替時のみ実施可能)</td> </tr> <tr> <td>総合受付窓口の設置</td> <td>各窓口に行かなくても、主な手続きは1箇所で行えるようになる。 既存施設では、スペースが取れないと思われる。</td> </tr> <tr> <td>電子申請の充実</td> <td>電子申請で対応できる事務を増やせば、わざわざ市役所に来なくても も手続きができるようになる。 日頃、電子機器を使わない方に対応できない。</td> </tr> <tr> <td>各地域で手続きできる事務内容の充実</td> <td>公民館の市民サービスコーナーの拡充や各種証明書のコンビニ交付 が普及すれば、わざわざ本庁舎に来なくて済むようになる。 人件費やシステム構築費などが必要となる。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	コメント	新庁舎の建設	新たに庁舎を建設し、すべての窓口を集約化する。 (建設費に多額な経費が必要なので、既存施設の建替時のみ実施可能)	総合受付窓口の設置	各窓口に行かなくても、主な手続きは1箇所で行えるようになる。 既存施設では、スペースが取れないと思われる。	電子申請の充実	電子申請で対応できる事務を増やせば、わざわざ市役所に来なくても も手続きができるようになる。 日頃、電子機器を使わない方に対応できない。	各地域で手続きできる事務内容の充実	公民館の市民サービスコーナーの拡充や各種証明書のコンビニ交付 が普及すれば、わざわざ本庁舎に来なくて済むようになる。 人件費やシステム構築費などが必要となる。
	項目	コメント									
	新庁舎の建設	新たに庁舎を建設し、すべての窓口を集約化する。 (建設費に多額な経費が必要なので、既存施設の建替時のみ実施可能)									
	総合受付窓口の設置	各窓口に行かなくても、主な手続きは1箇所で行えるようになる。 既存施設では、スペースが取れないと思われる。									
電子申請の充実	電子申請で対応できる事務を増やせば、わざわざ市役所に来なくても も手続きができるようになる。 日頃、電子機器を使わない方に対応できない。										
各地域で手続きできる事務内容の充実	公民館の市民サービスコーナーの拡充や各種証明書のコンビニ交付 が普及すれば、わざわざ本庁舎に来なくて済むようになる。 人件費やシステム構築費などが必要となる。										
対策内容	<ul style="list-style-type: none"> ☆既存施設の建替時期が近付いているので、新庁舎を建設し3つの建物機能を集約する。 ☆庁舎以外の公共施設であっても庁舎と同じ建物にあった方が、市民の利便性が高まる施設は可能な限り新庁舎に集約する。 										

サービス内容	執務室、書庫				
利用状況	現在の利用状況				
	施設名称	床面積(㎡)	職員数(人)	1人あたりの床面積(㎡/人)	評価
	本庁舎・中央町別館・大社町別館	10,421	643	16.2	B
	コメント				
	執務室は3つの建物に分散している。				
	将来予測				
<ul style="list-style-type: none"> ・人口減に伴い、職員数も減少する見込み。 ・ITの推進等により働き方が変化すれば、執務に必要な面積は減少する。(在宅勤務、外での勤務、フリーデスク) ・書類が電子化され、必要な書類の保管スペースが減少する。 					
問題点	<ul style="list-style-type: none"> ☆執務室が各建物に分散しており事務効率が悪い。(会議、打合せ、書類の持回りにおける移動時間) ☆スペースが多少不足している。 				
対策の可能性	項目	コメント			
	新庁舎の建設	新たに庁舎を建設し、3つの建物の執務室を集約化する。 (建設費に多額な経費が必要なため、既存施設の建替時のみ実施可能)			
	IT化・電子化の推進	ペーパーレス化により、書類の保管場所を縮減できる。			
	他の公共施設の空きスペースの利用	書類を他の公共施設の空きスペースへ移動すれば、保管場所を確保できる。			
対策内容	<ul style="list-style-type: none"> ☆既存施設の建替時期が近付いているので、新庁舎を建設し3つの建物機能を集約する。 ☆その他、庁舎と同じ建物にあった方が、事務効率が高まる施設は可能な限り新庁舎に集約する。 ☆費用対効果を検討しながら、IT化・電子化を推進していく。 				

サービス内容	会議室、議場				
利用状況	主な評価項目(2017年度)				
	部屋名称	面積	年間件数	稼働率	回転率
	本館第1会議室	約100㎡	299	81.9%	69.2%
	本館第2会議室	約108㎡	271	74.2%	52.6%
	本館第3会議室	約36㎡	274	75.1%	56.2%
	本館第6会議室	約20㎡	268	73.4%	54.2%
	本館常任委員会室	約52㎡	237	64.9%	40.4%
	本館談話室	約14㎡	202	55.3%	30.6%
	西館2階会議室	約50㎡	263	72.1%	50.8%
	西館2階打ち合わせ室	約6.6㎡	239	65.5%	39.2%
	本館タイプ室	約20㎡	99	27.1%	21.0%
	中央町別館第1会議室	約98㎡	261	71.5%	51.7%
	中央町別館第2会議室	約17㎡	211	57.8%	34.6%
	中央町別館第3会議室	約60㎡	219	60.0%	41.7%
	中央町別館第4会議室	約30㎡	236	64.7%	46.8%
	中央町別館第5会議室	約30㎡	273	74.8%	56.0%
	中央町別館第2打ち合わせ室	約18㎡	269	73.7%	60.4%
	大社町別館和室	約33㎡	245	67.1%	41.5%
	大社町別館防災研修室	約53㎡	327	89.6%	66.7%
	合計・平均		4,193	67.6%	47.9%
評価					
B					
コメント					
<ul style="list-style-type: none"> ・上記の数値は、土日祝日、夜間を含んでいる。 ・開庁時間だけに限れば、利用率は非常に高く(回転率は約90%)、会議室は不足している状況である。一方で開庁時間外(夜間や土日祝日)は空いていることが多い。 ・議場について、議会の開期中しか使われておらず、利用効率が悪い。 					
将来予測					
<ul style="list-style-type: none"> ・職員の数が減っても、会議の数は減らない可能性が高い。 ・ITの推進により、テレビ会議などが普及し、会議室を必要としない会議が増える。 					
問題点	☆不足している時間帯がある。一方でほとんど利用されない日や時間帯がある。				

	項目	コメント
対策の可能性	新庁舎の建設	新たに庁舎を建設し、必要な会議室数を確保する。 (建設費に多額な経費が必要なので、既存施設の建替時のみ実施可能)
	IT化の推進	テレビ会議が普及すれば、必要な会議室の数や面積が減る。
	他の公共施設を利用 民間の会議室を利用	公民館や民間の会議室を利用する。
	一般への貸し出し	休日や夜間など、使用していないときは一般に貸し出すことも考えられるが、現状は会議室と執務室が同じ棟にあり、セキュリティの観点から難しいと思われる。
対策内容	<p>☆既存施設の建替時期が近付いているので、新庁舎を建設し必要な会議室数を確保する。</p> <p>☆使用していないときに、会議室・議場の一般貸出を検討する。</p> <p>※警備の関係から、夜間や土日に貸し出すためには、会議室や議場が執務室から分離している必要があるので、新庁舎建設時に検討する。</p> <p>※会議室については、市全体として調整・再構築(駐車場、料金、場所など)が必要である。</p> <p>☆新庁舎建設まで、昼間については、他の公共施設の会議室を利用するように誘導する。</p>	

サービス内容	駐車場			
利用状況	現在の利用状況			
	施設名称	駐車台数	市営中央駐車場 利用台数	備考
	本館	66	60台/日	
	中央町別館	7		
	大社町別館	7		
	コメント			
<ul style="list-style-type: none"> ・混雑する時期や曜日、又は大きな会議を開催するときには、市営中央駐車場を利用してもらっている。 ・来庁者のうち1日あたり約60台が市営中央駐車場を利用しており、駐車場は不足している。 ・外部の職員用に平成30年度より大社町のタイムズの駐車場も混雑するときには利用してもらっている。 				
<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少に伴い、市役所に来る人も減少すると考えられる。 ・電子申請が普及し、市役所に来なければならない場合が減少する。 				
問題点	☆駐車場が不足しており、来庁者に不便を掛けている。			
対策の可能性	項目	コメント		
	新庁舎の建設	新たに庁舎を建設し、必要な駐車台数を確保する。 (建設費に多額な経費が必要なので、既存施設の建替時のみ実施可能)		
	電子申請の推進	電子申請で対応できる事務を増やせば、わざわざ市役所に来なくても手続ができるようになる。 日頃、電子機器を使わない方に対応できない。		
	各地域で手続きできる事務内容の充実	各種証明書のコンビニ交付の普及や公民館での手続きを拡充すれば、本庁舎に来なくて済むようになる。		
	駐車場の有料化	市役所に用が無く、他の施設に行く人の駐車台数が減る。		
	公共交通機関の活用	電車やバスで来庁してもらうように誘導する。		
	民間駐車場の活用	近くの民間駐車場を借り受ける。		
対策内容	<ul style="list-style-type: none"> ☆新庁舎では、必要台数を用意する。 ☆新庁舎建設までは、民間の駐車場などを活用する。 			

サービス内容	【災害時】対策本部、災害関連窓口	
利用状況	現在の利用状況	
	<ul style="list-style-type: none"> ・大社町別館に、対策本部が設置される。 ・本館や中央町別館に、災害関連の申請窓口が設置される。 	
問題点	☆本館及び中央町別館は、築57年であり、耐久性の低下が懸念され、災害対策本部のスペースが狭いなど災害時の対策拠点としての機能に難がある。	
対策の可能性	項目	コメント
	新庁舎の建設	新庁舎を建設し、高い耐久性を確保するとともに、災害対策機能の充実を図る。
対策内容	☆新庁舎の建設	

【全体方針】

対策内容	<p>☆集約化及び複合化による市民の利便性及び事務効率の向上、災害時の災害対策拠点としての機能の充実を図る必要性から、築80年まで長寿命化せず、市政90周年である2031年度の供用開始を目指して、新庁舎建設の検討を進めて行く。</p> <p>☆新庁舎の場所を決めるにあたっては、経済的な波及効果など、まちづくりの視点を持つこととする。また、立地適正化計画に則り都市機能誘導区域内とする。</p>
------	---

【サービスの評価】

施設名称	コスト(2017年度)						
	施設運営形態	支出(千円)				収入(千円)	年間経費 (支出-収入)
		管理委託料	光熱水費	人件費	借地料		
本庁舎	直営	34,943	9,061	22,409	0	1,220	65,193
中央町別館	直営	5,164	3,237	4,308	1,366	1,402	12,673
大社町別館	直営	151	0	1,613	929	0	2,693
評価	☆一部、借地をしている。						

施設名称	立地状況				
	所在地	地域	都市計画	立地適正化計画	コメント
本庁舎	北田町4-47	旧市内地域	市街化区域	中心拠点	・市全域から多くの人(職員、手続きに来る市民の方など)が集まる場所なので、市の中心部で交通の便のよいところに立地していることが望ましい。 ⇒ 県道136、主要地方道三島富士線に面している。田町駅から徒歩5分。 ・多くの人を訪れる施設であるため、周辺(商店街や飲食店など)の賑わいに寄与している。
中央町別館	中央町5-5	旧市内地域	市街化区域	中心拠点	
大社町別館	大社町1-10	旧市内地域	市街化区域	中心拠点	

【建築物の評価】

建物名称	基本情報			管理方針		調査				実施方針
	建築年 (築年数)	構造	床面積 (㎡)	施設区分	使用終了予定年	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期	総合劣化度	
						実施時期	残存耐用年数			
庁舎本館等	1960(57)	RC	4,418	一般	2031	2017	20年	実施しない	75.2	☆新庁舎建設後、空いた個所については、建物解体の上、土地を売却または民間活力の活用を検討
庁舎西館等	1976(41)	S	2,052	一般	2031	実施しない		実施しない	62.1	
屋外文書庫	1988(29)	S	470	一般	2031	実施しない		実施しない	25.5	
情報センター	1972(45)	S	190	一般	2031	実施しない		実施しない	26.3	
中央町別館	1959(58)	RC	2,395	一般	2031	実施しない		実施しない	54.4	
大社町別館	1996(21)	RC	896	一般	未定	未定		未定	34.7	未定

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	小学校・中学校		
施設所管課	教育総務課	施設分類	学校施設
目的	義務教育の提供		
写真			

【サービスの評価(学校全体)】

サービス内容	授業(普通教室・廊下・トイレ・校長室・職員室、理科室、調理室、図書室、技術室など)						
	運営時間	8時00分～16時30分	休館日	土曜日・日曜日・祝日・年末年始			
利用状況	児童数・生徒数・クラス数の推移						
	区分	項目	2016年度	2017年度	2018年度	1983年度(最大時)	備考
	小学校	児童数	5,855	5,888	5,830	10,312	
		クラス数	213	218	217	281	
	中学校	生徒数	2,983	2,974	2,908	5,056	
		クラス数	99	100	99	126	
	評価						
児童生徒数:C クラス数:B							

利用状況	コメント	
	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年度の児童生徒数は最大時(1983年度)の約57%となるが、クラス数は最大時の約78%である。 ・静岡式35人学級制や、多様な学習形態に対応するための多目的スペースの確保、特別支援学級の増加等により、児童生徒数が減少しても、それほど余裕教室は出ない。 ・1クラスしか編成されない学年のある学校が出てきている。 ・学校は、地域社会とのつながりが強く、防災訓練、地域の運動会なども学校で実施され、地域社会が子どもたちの登下校の見守り、交通安全をサポートするというような関係が、学校を中心に作られている。 	
	将来予測	
	少子化により、さらに児童数・生徒数は減少していくことが予想される。	
コスト	<ul style="list-style-type: none"> ・児童数、生徒数が少ない学校は、一人当たりの経費は必然的に高くなるが、公平な教育環境を提供する必要があり、コストを下げることは難しい。 ・借地をしている学校がある。 	
立地状況	・学校を中心に各地区のコミュニティが形成されている。	
問題点	☆一部の学校で児童生徒数の減少により、学校教育上の義務教育の機会均等や、教育水準の維持向上に影響が生じる可能性がある。	
対策の可能性	項目	コメント
	学校のあり方(適正規模)の検討	学校のあり方(適正規模)の検討は、ファシリティの観点からではなく、教育的な効果から行うことが必要であるため、検討を始める基準を作成する。
	複合化(受け入れ)	学校の空スペースに他の公共施設を複合化するなど、多機能化を図る。
対策内容	<ul style="list-style-type: none"> ☆20年後、30年後には、さらに児童生徒数が減少することが予想されるので、教育的な観点から、学校のあり方の検討を開始する基準である「三島市立学校あり方検討指針」を作成して準備をすすめる。 ☆学校は、地域コミュニティの核となる施設と位置づけ、空いたスペースに子育て支援施設などの公共施設を複合化する。 	

サービス内容	給食の提供(給食室)	
利用状況	現在の状況	
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校は各校で直営により調理している。 ・中学校は共同調理場で調理して、各校へ配送している。 ※給食調理及び配送は委託 	
コスト	小学校は、各学校に栄養士・調理員を配置し、自校調理を行っているため、共同調理による委託方式の中学校と比較すると割高となる。	
問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の調理場は一部の学校で作業スペースが狭く、作業効率が悪い。 ・三島市の給食の特色である、食育に視点を置いた地産地消や自校炊飯による米飯給食、安全安心でおいしい給食の提供が、民間委託でも可能かどうかを調査研究する必要がある。 	
対策の可能性	項目	コメント
	共同調理場	小学校については、児童の減少により、効率的な給食調理ができなくなった場合に、共同調理場の設置を検討する。
	民間	共同調理場の設置を検討する際に、併せて民間委託も検討する。但し、三島市の給食の特色である、食育に視点を置いた地産地消や自校炊飯による米飯給食、安全安心でおいしい給食の提供を継続することが重要であり、民間委託については十分調査研究していく。
対策内容	小学校の共同調理場設置の可能性について調査研究していく。	

【サービスの評価(各校)】

施設名称	床面積 (㎡)	利用状況(2017年度)				コスト(2017年度)							
		利用者数 (人)	一人当たり 面積(㎡)	教室数	クラス数	支出(千円)				収入(千円)	年間経費 (支出-収入)	一人当り経費	評価
						管理委託料	光熱水費	人件費	借地料	その他収入			
東小学校	7,199	388	18.6	27	16	8,568	5,206	32,039	0	25	45,788	0.47	低
西小学校	7,356	399	18.4	27	14	8,360	7,440	35,428	4,119	945	50,283	0.50	低
南小学校	7,078	557	12.7	31	21	8,356	7,913	41,365	0	41	57,593	0.41	低
北小学校	12,014	743	16.2	40	29	11,326	10,016	57,848	0	507	78,683	0.42	低
錦田小学校	9,332	573	16.3	30	18	11,656	12,005	37,122	245	22	60,761	0.42	低
徳倉小学校	4,241	440	9.6	22	15	8,095	5,317	29,052	0	31	42,433	0.38	低
坂小学校	3,722	79	47.1	12	6	8,554	3,977	20,429	0	18	32,942	1.65	中
佐野小学校	5,587	291	19.2	21	11	9,311	5,100	26,748	6,536	8	41,151	0.56	中
中郷小学校	5,972	393	15.2	24	16	8,419	6,561	39,526	0	9	54,497	0.55	中
沢地小学校	5,868	289	20.3	24	12	9,232	4,639	28,933	0	23	42,781	0.59	中
向山小学校	6,838	604	11.3	32	20	8,573	7,581	36,125	0	497	51,782	0.34	低
北上小学校	6,445	351	18.4	23	12	10,031	5,749	32,814	0	20	48,574	0.55	中
山田小学校	6,129	430	14.3	25	15	10,720	7,234	36,627	0	26	54,555	0.50	低
長伏小学校	5,881	351	16.8	23	13	8,295	5,142	29,362	0	9	42,790	0.48	中
平均	6,690	421	15.9	26	16	9,250	6,706	34,530	779	156	50,330	0.47	

施設名称	床面積 (㎡)	利用状況(2017年度)				コスト(2017年度)							
		利用者数 (人)	一人当たり 面積(㎡)	教室数	クラス数	支出(千円)				収入(千円)	年間経費 (支出-収入)	一人当り経費	評価
						管理委託料	光熱水費	人件費	借地料	その他収入			
錦田中学校	10,458	469	22.3	34	16	7,763	10,117	18,557	0	41	36,396	0.31	低
南中学校	9,833	545	18.0	33	18	6,106	4,644	12,258	0	806	22,202	0.16	低
北中学校	10,121	569	17.8	39	21	6,335	17,356	19,864	0	16	43,539	0.30	低
中郷中学校	7,224	220	32.8	25	9	5,874	1,946	12,257	0	21	20,056	0.36	低
北上中学校	8,866	479	18.5	29	14	8,316	4,150	12,257	0	390	24,333	0.20	低
中郷西中学校	8,828	374	23.6	28	12	6,254	13,748	19,864	0	160	39,706	0.42	低
山田中学校	11,305	318	35.6	30	12	12,714	3,932	12,257	0	32	28,871	0.36	低
平均	9,519	425	24.1	31	15	7,623	7,985	15,331	0	209	30,729	0.29	

※一人当たりの経費は、(支出-収入)÷(利用者数×運営日数)で算出

【建築物の評価(各校)】

施設名称	建物名称	基本情報				管理方針		調査									実施方針
		建築年	築年数	構造	床面積 (㎡)	施設区分	使用終了予定 年	構造体耐久性調査		屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度評価	改修実施時期	
								実施時期	残存耐用年数								
東小学校	教室棟②	1956	61	RC	1,946	長寿命化	2038	2017	20年	A	A	D	B	B	60	2022	2022中規模改修、2038建替え
	管理・教室棟⑬⑭	1978	39	RC	4,095	長寿命化	2058	2026		A	A	C	C	C	62	2026	2026中規模改修
	屋内運動場⑬	1978	39	S	1,005	一般	2042	実施しない		B	B	C	C	C	53	実施しない	2042建替え
	給食室⑭	1978	39	RC	219	長寿命化	2058	2026		B	A	C	C	C	60	2026	2026大規模改修
西小学校	管理・教室棟②	1975	42	RC	2,150	長寿命化	2041	2025		A	C	C	C	C	45	2025	2025小規模改修、2041解体
	管理・教室棟③	1975	42	RC	3,161	長寿命化	2055	2025		A	C	C	C	C	45	2025	2025中規模改修
	管理棟④	1975	42	RC	923	長寿命化	2055	2026		B	A	C	C	C	60	2026	2026中規模改修
	屋内運動場⑩	1978	39	S	1,045	一般	2040	実施しない		A	D	C	C	C	37	2020	2020小規模改修、2040建替え
	給食室②-2	1974	43	RC	258	長寿命化	2054	2026		A	A	C	C	B	67	2026	2026大規模改修
南小学校	教室棟④	1974	43	RC	1,718	長寿命化	2054	2024		C	C	C	C	C	40	2024	2024大規模改修
	管理棟⑨	1976	41	RC	721	長寿命化	2056	2027		A	A	C	C	C	62	2027	2027中規模改修
	教室棟21	1978	39	RC	3,550	長寿命化	2058	2027		A	A	C	C	C	62	2027	2027中規模改修
	屋内運動場⑩	1978	39	S	1,039	一般	2043	実施しない		A	A	C	C	C	62	実施しない	2043建替え
	給食室22-1	1978	39	RC	245	長寿命化	2058	2027		B	A	C	C	C	60	2027	2027大規模改修
北小学校	教室棟②	2008	9	RC	4,923	長寿命化	2088	2047		A	B	A	A	A	93	2047	2047大規模改修
	特別教室棟⑬	2008	9	RC	1,866	長寿命化	2088	2049		A	A	A	A	A	100	2049	2049大規模改修
	管理棟⑭	2008	9	RC	2,414	長寿命化	2088	2048		A	B	A	A	A	93	2048	2048大規模改修
	給食棟⑮	2008	9	RC	1,329	長寿命化	2088	2049		A	B	A	A	A	93	2049	2049大規模改修
	屋内運動場⑩	2009	8	RC	1,482	長寿命化	2089	実施しない		A	A	A	A	A	100	実施しない	
錦田小学校	教室棟⑩	2002	15	RC	3,975	長寿命化	2082	2042		C	C	A	A	A	78	2042	2042大規模改修
	管理棟⑬-1	2002	15	RC	1,979	長寿命化	2082	2042		B	A	A	A	A	98	2042	2042大規模改修
	給食調理室⑬-2	2002	15	RC	786	長寿命化	2082	2043		A	A	A	A	A	100	2043	2043大規模改修
	体育館棟⑬-1	2002	15	RC	2,592	長寿命化	2082	2043		A	B	B	A	A	84	2043	2043大規模改修
徳倉小学校	管理・教室棟①	1968	49	RC	3,228	長寿命化	2050以降	2025		D	C	B	C	C	51	2025	2025中規模改修
	屋内運動場⑦	1981	36	S	1,013	一般	2046	実施しない		A	C	B	B	B	67	2029	2029小規模改修、2046建替え
坂小学校	特別教室棟⑪	1979	38	RC	723	長寿命化	2059	2029		A	A	B	B	B	84	2029	2029小規模改修
	校舎棟⑫	1987	30	RC	1,458	長寿命化	2067	2032		A	B	B	B	B	77	2032	2032小規模改修
	屋内運動場⑫	1981	36	RC	1,541	長寿命化	2061	2029		A	B	B	B	B	77	2029	2029大規模改修
佐野小学校	管理・教室棟⑨	1997	20	RC	4,697	長寿命化	2077	2037		C	C	B	B	B	62	2037	2037大規模改修
	屋内運動場⑥	1985	32	S	952	一般	2050以降	実施しない		C	B	B	B	B	72	2030	2030小規模改修
中郷小学校	教室棟⑩	1971	46	RC	1,940	長寿命化	2051	2024		A	A	C	C	C	62	2024	2024中規模改修
	管理・教室棟21	1987	30	RC	2,588	長寿命化	2067	2023		D	D	B	B	B	51	2023	2023小規模改修
	給食室⑩	1987	30	S	186	一般	2050以降	実施しない		B	B	B	B	B	75	2032	2032小規模改修
	屋内運動場⑩	1983	34	S	1,258	一般	2048	実施しない		A	B	B	B	B	77	2033	2033小規模改修、2048建替え
沢地小学校	管理・教室棟①	1973	44	RC	3,047	長寿命化	2053	2026		A	C	C	C	C	45	2026	2026中規模改修
	管理・教室棟③	1975	42	RC	1,735	長寿命化	2055	2026		A	C	C	C	C	45	2026	2026中規模改修
	給食室②	1973	44	RC	180	長寿命化	2053	2026		A	B	C	C	B	59	2026	2026大規模改修
	屋内運動場⑩	1977	40	S	906	一般	2040	実施しない		B	B	C	C	C	53	2024	2024小規模改修、2040建替え

施設名称	建物名称	基本情報				管理方針		調査									実施方針
		建築年	築年数	構造	床面積 (㎡)	施設区分	使用終了予定 年	構造体耐久性調査		屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度評価	改修実施時期	
								実施時期	残存耐用年数								
向山小学校	管理・教室棟①	1975	42	RC	2,903	長寿命化	2055	2021		D	C	C	C	C	37	2021	2021大規模改修
	教室棟⑤	1976	41	RC	2,195	長寿命化	2056	2020		B	B	C	C	C	53	2020	2020中規模改修
	教室棟②	1988	29	RC	543	長寿命化	2068	2020		C	D	C	C	C	31	2020	2020大規模改修
	給食室①	1975	42	RC	207	長寿命化	2055	2021		C	B	C	C	B	54	2021	2021大規模改修
	屋内運動場⑧	1977	40	S	990	一般	2039	実施しない		C	C	C	C	C	40	5年以内	2020小規模改修、2039建替え
北上小学校	管理・教室棟①	1977	40	RC	3,169	長寿命化	2057	2022		C	B	C	C	C	50	2022	2022中規模改修
	教室棟②	1980	37	RC	2,190	長寿命化	2060	2022		D	D	B	B	B	51	2022	2022小規模改修
	給食室②	1977	40	RC	212	長寿命化	2057	2029		C	A	C	C	B	61	2029	2029大規模改修
	屋内運動場③	1979	38	S	1,048	一般	2041	実施しない		C	C	C	C	C	40	2022	2022小規模改修、2041建替え
山田小学校	管理棟①-1	1977	40	RC	3,263	長寿命化	2057	2027		A	B	C	C	C	55	2027	2027中規模改修
	教室棟①-3	1980	37	RC	1,725	長寿命化	2060	2027		A	C	B	B	B	67	2027	2027小規模改修
	給食室②	1977	40	RC	201	長寿命化	2057	2027		A	B	C	C	C	55	2027	2027大規模改修
	屋内運動場⑦	1979	38	S	1,005	一般	2044	実施しない		A	C	B	B	B	67	2026	2026小規模改修、2044建替え
長伏小学校	教室棟③	1979	38	RC	3,036	長寿命化	2059	2027		A	B	B	B	B	77	2027	2027小規模改修
	管理・教室棟①	1978	39	RC	1,685	長寿命化	2058	2021		D	C	C	C	C	37	2021	2021大規模改修
	給食室②	1978	39	RC	215	長寿命化	2058	2027		B	C	C	C	B	47	2027	2027大規模改修
	屋内運動場⑥	1979	38	S	1,056	一般	2044	実施しない		B	B	B	B	B	75	2026	2026小規模改修、2044建替え

施設名称	建物名称	基本情報				管理方針		調査										実施方針
		建築年	築年数	構造	床面積 (㎡)	施設区分	使用終了予定 年	構造体耐久性調査		屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度評価	改修実施時期		
								実施時期	残存耐用年数									
錦田中学校	管理教室棟①-1	1971	46	RC	3,025	長寿命化	2051	2024		C	C	C	C	C	40	2024	2024大規模改修	
	特別教室棟②	1972	45	RC	1,451	長寿命化	2052	2024		C	A	C	C	C	57	2024	2024中規模改修	
	教室棟②	1981	36	RC	3,112	長寿命化	2049	2031		B	A	B	B	B	82	2031	2031小規模改修、2049解体	
	特別教室棟③	1973	44	S	386	一般	2037	実施しない		A	B	C	C	C	55	実施しない	2037改築	
	共同調理場①	2001	16	S	532	一般	2061	実施しない		A	A	A	A	A	100	実施しない	予防保全により適正管理	
	屋内運動場⑩	1976	41	S	1,255	一般	2040	実施しない		A	C	C	C	C	45	2025	2025小規模改修、2040建替え	
柔剣道場⑩	1989	28	S	750	一般	2050以降	実施しない		A	C	B	B	B	67	2031	2031小規模改修		
南中学校	教室棟⑨	1979	38	RC	1,830	長寿命化	2059	2026		B	C	B	B	B	65	2026	2026小規模改修	
	管理・教室棟⑩	1984	33	RC	3,556	長寿命化	2064	2026		C	C	B	B	B	62	2026	2026小規模改修	
	特別教室棟⑪	1970	47	RC	1,166	長寿命化	2050	2026		A	A	C	C	C	62	2026	2026中規模改修	
	体育館棟24-1	1998	19	S	3,281	一般	2058	実施しない		B	C	B	B	B	65	2038	2038小規模改修	
北中学校	教室棟⑬	1972	45	RC	648	長寿命化	2052	2027		C	B	C	C	C	50	2027	2027中規模改修	
	教室棟28	1978	39	RC	947	長寿命化	2058	2027		A	A	C	C	C	62	2027	2027中規模改修	
	教室棟29	1978	39	RC	1,741	長寿命化	2042	2027		A	A	C	C	C	62	2027	2027小規模改修、2042解体	
	管理棟32	2012	5	RC	786	長寿命化	2092	実施しない		A	C	A	A	A	83	実施しない	予防保全により適正管理	
	新南校舎	2016	1	RC	4,044	長寿命化	2096	実施しない		A	A	A	A	A	100	実施しない	予防保全により適正管理	
	共同調理場①	2001	16	S	532	一般	2061	実施しない		B	A	A	A	A	98	実施しない	予防保全により適正管理	
	屋内運動場⑭	1968	49	S	1,214	一般	2033	実施しない		B	B	C	C	C	53	実施しない	2033建替え	
	柔剣道場30-1	1986	31	S	647	一般	2050以降	実施しない		B	D	B	B	B	56	2023	2023小規模改修	
中郷中学校	管理・教室棟①	1970	47	RC	3,663	長寿命化	2050	2021		D	C	C	C	C	37	2021	2021大規模改修	
	特別教室棟①①	1994	23	RC	1,823	長寿命化	2074	2034		C	C	B	B	B	62	2034	2034小規模改修	
	屋内運動場⑨	1978	39	S	1,152	一般	2041	実施しない		B	C	C	C	C	43	2025	2025小規模改修、2041建替え	
	柔剣道場⑫	1994	23	S	586	一般	2054	実施しない		A	C	B	B	B	67	2034	2034小規模改修	
北上中学校	管理・教室棟①	1980	37	RC	4,715	長寿命化	2060	2023		D	C	C	B	B	46	2023	2023中規模改修	
	特別教室棟⑤	1980	37	RC	1,854	長寿命化	2060	2035		A	B	B	B	B	77	2035	2035小規模改修	
	技術棟②	1980	37	S	410	一般	2047	実施しない		B	B	B	B	B	75	2030	2030小規模改修、2047解体	
	屋内運動場③	1980	37	S	1,198	一般	2045	実施しない		B	C	B	B	B	65	2030	2030小規模改修、2045建替え	
	柔剣道場	2015	2	S	735	一般	2075	実施しない		A	A	A	A	A	100	実施しない	予防保全により適正管理	
中郷西中学校	管理棟①	1980	37	RC	1,252	長寿命化	2060	2020		D	C	B	B	B	59	2020	2020小規模改修	
	教室棟②	1980	37	RC	4,841	長寿命化	2060	2020		D	C	B	B	B	59	2020	2020小規模改修	
	共同調理場①	2001	16	S	532	一般	2061	実施しない		B	A	A	A	A	98	実施しない	予防保全により適正管理	
	特別教室棟③	1980	37	S	410	一般	2045	実施しない		B	B	B	B	B	75	実施しない	2045解体	
	屋内運動場④	1980	37	S	1,200	一般	2046	実施しない		A	C	B	B	B	67	2031	2031小規模改修、2046建替え	
	柔剣道場⑧	1992	25	S	593	一般	2052	実施しない		A	B	B	B	B	77	2036	2036小規模改修	
山田中学校	教室棟①	1991	26	RC	5,763	長寿命化	2071	2025		D	C	B	B	B	59	2025	2025小規模改修	
	管理棟②	1991	26	RC	2,841	長寿命化	2071	2033		B	C	B	B	B	65	2033	2033小規模改修	
	体育館棟(屋内運動場)④	1991	26	S	1,264	一般	2051	実施しない		C	B	B	B	B	72	2032	2032小規模改修	
	体育館棟(柔剣道場)④	1991	26	RC	1,195	長寿命化	2071	2032		C	B	B	B	B	72	2032	2032小規模改修	
	体育部室⑥	1991	26	RC	242	長寿命化	2071	2033								2033	2033小規模改修	

※A～D評価の基準は、三島市学校施設長寿命化計画を参照。A:良好 ～ D:劣化

【サービスの評価(各校)】

施設名称	立地状況						対策内容(受け入れ施設)
	所在地	駐車場	地域	都市計画	立地適正化計画	コメント(周辺施設)	
東小学校	東町10-1	40	旧市内地域	市街化区域	中心拠点周辺	東幼稚園、東コミュセン、エコセンター	放課後児童クラブ(2019年度受入れ予定) 東地区コミュセン、エコセンター
西小学校	緑町7-7	30	旧市内地域	市街化区域	中心拠点周辺	西コミュセン、緑町佐野保育園	第2放課後児童クラブ(2019年度受入れ予定) 西地区コミュセン
南小学校	富田町6-1	35	旧市内地域	市街化区域		南中、南幼稚園、青木保育園、おんすいち作業所、佐野あゆみの里、南コミュセン	第3放課後児童クラブ(2018年度学校内新設) 南地区コミュセン
北小学校	文教町1-4-8	72	旧市内地域	市街化区域		北中、北幼稚園、北コミュセン	
錦田小学校	谷田966	30	錦田地域	市街化調整区域	地域拠点周辺 (谷田玉沢線)	錦田公民館、錦田こども園	第1放課後児童クラブ、第2放課後児童クラブ (2018年度受入れ)
徳倉小学校	徳倉4-1-45	29	北上地域	市街化区域	地域拠点周辺 (幸原町・徳倉周辺)	徳倉幼稚園、旧北上公民館、すこやかセンター	
坂小学校	市山新田163-2	11	錦田地域	市街化調整区域		坂幼稚園、坂公民館	
佐野小学校	佐野238	25	北上地域	市街化調整区域		伊豆佐野保育園	
中郷小学校	梅名453	39	中郷地域	市街化区域		中郷文化プラザ	
沢地小学校	沢地127-1	25	北上地域	市街化調整区域		沢地幼稚園、さわじ作業所	放課後児童クラブ(2018年度受入れ)
向山小学校	谷田1946	29	錦田地域	市街化調整区域			第3放課後児童クラブ(2019年度受入れ予定)
北上小学校	徳倉844-1	30	北上地域	市街化調整区域	地域拠点 (萩IC)	北上文化プラザ	北上高齢者すこやかセンター(いきがい教室)
山田小学校	川原ヶ谷812	32	錦田地域	市街化区域		山田中、老人福祉センター、旭ヶ丘幼稚園	
長伏小学校	長伏226-5	34	中郷地域	市街化調整区域		長伏プール	
錦田中学校	谷田1505	43	錦田地域	市街化調整区域			
南中学校	富田町6-18	20	旧市内地域	市街化区域		南小、南幼稚園、青木保育園、おんすいち作業所、佐野あゆみの里、(南コミュセン)	
北中学校	文教町2-32-60	45	旧市内地域	市街化区域		北小、北幼稚園、北コミュセン	北地区コミュセン
中郷中学校	大場250-1	9	中郷地域	市街化区域	地域拠点周辺 (大場駅周辺)		
北上中学校	徳倉767-2	47	北上地域	市街化調整区域	地域拠点周辺 (萩IC)	北上文化プラザ	
中郷西中学校	梅名854-1	80	中郷地域	市街化調整区域		中郷文化プラザ、松本幼稚園	
山田中学校	川原ヶ谷842-4	30	錦田地域	市街化調整区域		山田小、老人福祉センター、旭ヶ丘幼稚園	

『建物基本台帳』と『公共施設保全計画の単位』の関係

施設分類	施設名	所管課名	建物基本台帳				公共施設保全計画の単位			
			建物名	構造	建築年	床面積 (㎡)	建物名	構造	建築年	床面積 (㎡)
小学校	東小学校	教育総務課	教室棟②-1	RC	1955	1,773	教室棟②	RC	1955	1,946
小学校	東小学校	教育総務課	教室棟②-2	RC	1956	92				
小学校	東小学校	教育総務課	昇降口⑩	RC	1956	81				
小学校	東小学校	教育総務課	管理・教室棟⑮-1	RC	1978	1,762	管理・教室棟⑮⑯	RC	1978	4,095
小学校	東小学校	教育総務課	管理棟⑮-2	RC	1978	579				
小学校	東小学校	教育総務課	管理・教室棟⑯	RC	1978	1,754				
小学校	東小学校	教育総務課	給食室⑭-1	RC	1978	213	給食室⑭	RC	1978	219
小学校	東小学校	教育総務課	給食ボイラー室⑭-2	RC	1984	6				
小学校	東小学校	教育総務課	屋内運動場⑬	S	1978	884	屋内運動場⑬	S	1978	1,005
小学校	東小学校	教育総務課	体育器具庫⑱	W	1979	72				
小学校	東小学校	教育総務課	ポンプ室	S	1991	10				
小学校	東小学校	教育総務課	更衣室棟⑳	S	2013	39				
小学校	西小学校	教育総務課	管理・教室棟②-1	RC	1975	2,150	管理・教室棟②	RC	1975	2,150
小学校	西小学校	教育総務課	管理・教室棟③	RC	1975	3,161	管理・教室棟③	RC	1975	3,161
小学校	西小学校	教育総務課	管理棟④	RC	1975	923	管理棟④	RC	1975	923
小学校	西小学校	教育総務課	給食室②-2	RC	1974	250	給食室②	RC	1974	258
小学校	西小学校	教育総務課	給食ボイラー室②-3	S	1983	8				
小学校	西小学校	教育総務課	屋内運動場⑩	S	1978	899	屋内運動場⑩	S	1978	1,045
小学校	西小学校	教育総務課	体育器具庫⑪	S	1979	50				
小学校	西小学校	教育総務課	便所⑫	RC	1985	7				
小学校	西小学校	教育総務課	プール付属室⑧	W	1975	38				
小学校	西小学校	教育総務課	用務員室	W	1975	32				
小学校	西小学校	教育総務課	自転車置場	S	1976	19				
小学校	南小学校	教育総務課	教室棟⑭	RC	1974	1,718	教室棟⑭	RC	1974	1,718
小学校	南小学校	教育総務課	教室棟21-1	RC	1978	3,154	教室棟21	RC	1978	3,550
小学校	南小学校	教育総務課	教室棟21-2	RC	1979	332				
小学校	南小学校	教育総務課	渡り廊下24	RC	1979	64				
小学校	南小学校	教育総務課	管理棟⑲	RC	1976	721	管理棟⑲	RC	1976	721
小学校	南小学校	教育総務課	給食室22-1	RC	1978	236	給食室22	RC	1978	245
小学校	南小学校	教育総務課	給食ボイラー室22-2	RC	1984	9				
小学校	南小学校	教育総務課	屋内運動場⑳	S	1978	909	屋内運動場⑳	S	1978	1,039
小学校	南小学校	教育総務課	体育器具庫23	RC	1996	62				
小学校	南小学校	教育総務課	プール付属室⑰	W	1975	39				
小学校	南小学校	教育総務課	プール付属室⑱	RC	1975	9				
小学校	南小学校	教育総務課	倉庫25	S	2010	20				
小学校	北小学校	教育総務課	教室棟⑫	RC	2008	4,778	教室棟⑫	RC	2008	4,923
小学校	北小学校	教育総務課	渡り廊下⑱	S	2009	107				
小学校	北小学校	教育総務課	渡り廊下⑲	RC	2009	38				
小学校	北小学校	教育総務課	管理棟⑭	RC	2008	2,414	管理棟⑭	RC	2008	2,414
小学校	北小学校	教育総務課	特別教室棟⑬	RC	2008	1,866	特別教室棟⑬	RC	2008	1,866
小学校	北小学校	教育総務課	給食棟⑮	RC	2008	1,329	給食棟⑮	RC	2008	1,329

小学校	北小学校	教育総務課	屋内運動場⑩	RC	2009	1,334						
小学校	北小学校	教育総務課	体育器具庫⑬	RC	2009	102	屋内運動場⑩	RC	2009		1,482	
小学校	北小学校	教育総務課	プール付属室⑭	RC	2009	46						
小学校	錦田小学校	教育総務課	教室棟⑮	RC	2002	3,975	教室棟⑮	RC	2002		3,975	
小学校	錦田小学校	教育総務課	管理棟⑯-1	RC	2002	1,979	管理棟⑯	RC	2002		1,979	
小学校	錦田小学校	教育総務課	給食調理室⑯-2	RC	2002	498	給食調理室⑯	RC	2002		786	
小学校	錦田小学校	教育総務課	専用食堂⑯-3	RC	2002	288						
小学校	錦田小学校	教育総務課	体育館棟⑰-1	RC	2002	1,253						
小学校	錦田小学校	教育総務課	体育館棟⑰-2	RC	2002	1,246	体育館棟⑰	RC	2002		2,592	
小学校	錦田小学校	教育総務課	体育器具庫⑰	RC	2002	48						
小学校	錦田小学校	教育総務課	プール付属室⑱	RC	2002	45						
小学校	徳倉小学校	教育総務課	管理・教室棟①-1	RC	1968	757						
小学校	徳倉小学校	教育総務課	管理・教室棟①-2	RC	1969	2,456						
小学校	徳倉小学校	教育総務課	昇降口①-3	S	1983	8	管理・教室棟①	RC	1968		3,228	
小学校	徳倉小学校	教育総務課	給食室(牛乳保冷庫)②	S	1985	3						
小学校	徳倉小学校	教育総務課	給食室(トイレ)①-4	S	1998	4						
小学校	徳倉小学校	教育総務課	屋内運動場⑦	S	1981	951						
小学校	徳倉小学校	教育総務課	体育器具庫④	W	1971	24	屋内運動場⑦	S	1981		1,013	
小学校	徳倉小学校	教育総務課	プール専用付属室③	W	1970	38						
小学校	坂小学校	教育総務課	校舎棟⑭	RC	1987	1,325						
小学校	坂小学校	教育総務課	渡り廊下⑮	RC	1987	31	校舎棟⑭	RC	1987		1,458	
小学校	坂小学校	教育総務課	渡り廊下⑯	RC	1986	4						
小学校	坂小学校	教育総務課	給食室⑬	RC	1986	98						
小学校	坂小学校	教育総務課	特別教室棟⑪	RC	1979	723	特別教室棟⑪	RC	1979		723	
小学校	坂小学校	教育総務課	屋内運動場⑫	RC	1981	1,469						
小学校	坂小学校	教育総務課	倉庫⑥	W	1969	36	屋内運動場⑫	RC	1981		1,541	
小学校	坂小学校	教育総務課	プール専用付属室⑱	S	1987	18						
小学校	坂小学校	教育総務課	トイレ⑰	S	1987	18						
小学校	佐野小学校	教育総務課	管理・教室棟⑨-1	RC	1997	4,150						
小学校	佐野小学校	教育総務課	地域開放室⑨-2	RC	1997	157	管理・教室棟⑨	RC	1997		4,697	
小学校	佐野小学校	教育総務課	給食調理室⑨-3	RC	1997	235						
小学校	佐野小学校	教育総務課	学校食堂⑨-4	RC	1997	155						
小学校	佐野小学校	教育総務課	屋内運動場⑥-1	S	1985	790						
小学校	佐野小学校	教育総務課	地域開放室⑥-2	S	1985	104	屋内運動場⑥	S	1985		952	
小学校	佐野小学校	教育総務課	体育器具庫⑩	RC	1997	18						
小学校	佐野小学校	教育総務課	プール専用付属室⑱	W	2014	40						
小学校	中郷小学校	教育総務課	教室棟⑩-1	RC	1971	749	教室棟⑩	RC	1971		1,940	
小学校	中郷小学校	教育総務課	教室棟⑩-2	RC	1974	1,191						
小学校	中郷小学校	教育総務課	管理・教室棟21	RC	1987	2,564						
小学校	中郷小学校	教育総務課	渡り廊下22	RC	1987	18	管理・教室棟21	RC	1987		2,588	
小学校	中郷小学校	教育総務課	渡り廊下23	RC	1987	2						
小学校	中郷小学校	教育総務課	渡り廊下24	RC	1987	4						
小学校	中郷小学校	教育総務課	給食室⑳	S	1987	186	給食室⑳	S	1987		186	

小学校	中郷小学校	教育総務課	屋内運動場⑬	S	1983	1,072	屋内運動場⑬	S	1983	1,258
小学校	中郷小学校	教育総務課	体育器具庫30	RC	2004	33				
小学校	中郷小学校	教育総務課	プール専用付属室25	RC	2001	18				
小学校	中郷小学校	教育総務課	プール専用付属室26	RC	2001	91				
小学校	中郷小学校	教育総務課	倉庫28	S	2001	13				
小学校	中郷小学校	教育総務課	倉庫29	S	2001	5				
小学校	中郷小学校	教育総務課	屋外便所27	S	2001	26				
小学校	沢地小学校	教育総務課	管理・教室棟①-1	RC	1973	1,250	管理・教室棟①	RC	1973	3,047
小学校	沢地小学校	教育総務課	管理・教室棟①-2	RC	1974	1,797				
小学校	沢地小学校	教育総務課	管理・教室棟⑧	RC	1975	1,735	管理・教室棟⑧	RC	1975	1,735
小学校	沢地小学校	教育総務課	給食室②-1	RC	1973	161				
小学校	沢地小学校	教育総務課	給食室②-2	RC	1978	14	給食室②	RC	1973	180
小学校	沢地小学校	教育総務課	給食室②-3	RC	1978	5				
小学校	沢地小学校	教育総務課	屋内運動場⑩	S	1977	868				
小学校	沢地小学校	教育総務課	プール専用付属室④	W	1973	38				
小学校	向山小学校	教育総務課	管理・教室棟①-1	RC	1975	1,883	管理・教室棟①	RC	1975	2,903
小学校	向山小学校	教育総務課	管理・教室棟①-2	RC	1976	1,020				
小学校	向山小学校	教育総務課	給食室①-3	RC	1975	197	給食室①	RC	1975	207
小学校	向山小学校	教育総務課	給食荷受室③	RC	2010	10				
小学校	向山小学校	教育総務課	教室棟⑤	RC	1976	2,195	教室棟⑤	RC	1976	2,195
小学校	向山小学校	教育総務課	教室棟⑫	RC	1988	543				
小学校	向山小学校	教育総務課	屋内運動場⑧	S	1977	888	屋内運動場⑧	S	1977	990
小学校	向山小学校	教育総務課	ボイラー室②	S	1983	7				
小学校	向山小学校	教育総務課	体育器具庫⑬	S	1990	31				
小学校	向山小学校	教育総務課	体育器具庫⑭	S	1991	16				
小学校	向山小学校	教育総務課	プール専用付属室⑨	W	1976	38				
小学校	向山小学校	教育総務課	倉庫⑩	S	1982	10				
小学校	北上小学校	教育総務課	管理・教室棟①-1	RC	1977	1,400				
小学校	北上小学校	教育総務課	管理・教室棟①-2	RC	1978	1,769				
小学校	北上小学校	教育総務課	教室棟⑫-1	RC	1980	1,361	教室棟⑫	RC	1980	2,190
小学校	北上小学校	教育総務課	教室棟⑫-2	RC	1981	829				
小学校	北上小学校	教育総務課	給食室②-1	RC	1977	203	給食室②	RC	1977	212
小学校	北上小学校	教育総務課	給食用ボイラー室②-2	RC	1992	9				
小学校	北上小学校	教育総務課	屋内運動場⑧	S	1979	907	屋内運動場⑧	S	1979	1,048
小学校	北上小学校	教育総務課	体育器具庫⑮	RC	1985	42				
小学校	北上小学校	教育総務課	体育器具庫⑬	S	1981	19				
小学校	北上小学校	教育総務課	プール専用付属室⑥	W	1978	38				
小学校	北上小学校	教育総務課	用務員室	W	1982	32				
小学校	北上小学校	教育総務課	倉庫⑭	RC	1981	10				
小学校	山田小学校	教育総務課	管理棟①-1	RC	1977	922				
小学校	山田小学校	教育総務課	管理・教室棟①-2	RC	1978	2,341				
小学校	山田小学校	教育総務課	教室棟①-3	RC	1980	1,368	教室棟①-3	RC	1980	1,725
小学校	山田小学校	教育総務課	教室棟①-4	RC	1981	357				

小学校	山田小学校	教育総務課	給食室②	RC	1977	201	給食室②	RC	1977	201
小学校	山田小学校	教育総務課	屋内運動場⑦	S	1979	885	屋内運動場⑦	S	1979	1,005
小学校	山田小学校	教育総務課	体育器具庫⑥	W	1978	24				
小学校	山田小学校	教育総務課	プール専用付属室⑤	W	1977	38				
小学校	山田小学校	教育総務課	倉庫⑧	S	1981	38				
小学校	山田小学校	教育総務課	倉庫⑨	S	2010	20				
小学校	長伏小学校	教育総務課	管理・教室棟①	RC	1978	1,516	管理・教室棟①	RC	1978	1,685
小学校	長伏小学校	教育総務課	昇降口棟⑤	RC	1978	169				
小学校	長伏小学校	教育総務課	教室棟③	RC	1979	2,985	教室棟③	RC	1979	3,036
小学校	長伏小学校	教育総務課	渡り廊下⑧	S	1979	51				
小学校	長伏小学校	教育総務課	給食室②-1	RC	1978	205	給食室②	RC	1978	215
小学校	長伏小学校	教育総務課	給食室(ボイラー室)②-2	RC	1985	10				
小学校	長伏小学校	教育総務課	屋内運動場⑥	S	1979	905	屋内運動場⑥	S	1979	1,056
小学校	長伏小学校	教育総務課	体育器具庫④	W	1979	72				
小学校	長伏小学校	教育総務課	プール専用付属室⑦	S	1981	33				
小学校	長伏小学校	教育総務課	用務員室	W	1978	46				
中学校	錦田中学校	教育総務課	管理教室棟①-1	RC	1971	1,152	管理教室棟①	RC	1971	3,025
中学校	錦田中学校	教育総務課	管理教室棟①-2	RC	1972	1,851				
中学校	錦田中学校	教育総務課	管理・教室棟①-3	RC	1982	22				
中学校	錦田中学校	教育総務課	特別教室棟②	RC	1972	1,451	特別教室棟②	RC	1972	1,451
中学校	錦田中学校	教育総務課	特別教室棟③	S	1973	386	特別教室棟③	S	1973	386
中学校	錦田中学校	教育総務課	教室棟⑫	RC	1981	2,665	教室棟⑫	RC	1981	3,112
中学校	錦田中学校	教育総務課	昇降口棟⑩	RC	1981	447				
中学校	錦田中学校	教育総務課	共同調理場①	S	2001	532	共同調理場①	S	2001	532
中学校	錦田中学校	教育総務課	柔剣道場⑯-1	S	1989	487	柔剣道場⑯	S	1989	750
中学校	錦田中学校	教育総務課	クラブハウス⑯-2	S	1989	213				
中学校	錦田中学校	教育総務課	昇降口・便所⑯-3	S	1989	50				
中学校	錦田中学校	教育総務課	屋内運動場⑩	S	1976	969	屋内運動場⑩	S	1976	1,255
中学校	錦田中学校	教育総務課	体育部室⑰	RC	1996	192				
中学校	錦田中学校	教育総務課	用務員室	W	1981	53				
中学校	錦田中学校	教育総務課	倉庫⑭	S	1981	41				
中学校	南中学校	教育総務課	特別教室棟⑮	RC	1970	1,166	特別教室棟⑮	RC	1970	1,166
中学校	南中学校	教育総務課	教室棟⑲	RC	1979	1,830	教室棟⑲	RC	1979	1,830
中学校	南中学校	教育総務課	管理・教室棟⑳-1	RC	1984	3,499	管理・教室棟⑳	RC	1984	3,556
中学校	南中学校	教育総務課	配膳室⑳-2	S	2001	57				
中学校	南中学校	教育総務課	体育館棟24-1	S	1998	1,382	体育館棟24	RC	1998	3,281
中学校	南中学校	教育総務課	体育館棟24-2	RC	1998	533				
中学校	南中学校	教育総務課	体育館棟24-3	RC	1998	1,106				
中学校	南中学校	教育総務課	体育器具庫25	RC	1998	80				
中学校	南中学校	教育総務課	体育部室⑪	RC	1967	55				
中学校	南中学校	教育総務課	体育部室23	RC	1987	125				
中学校	北中学校	教育総務課	教室棟⑱	RC	1972	648	教室棟⑱	RC	1972	648
中学校	北中学校	教育総務課	教室棟28-1	RC	1978	938	教室棟28	RC	1978	947
中学校	北中学校	教育総務課	教室棟28-2	S	2001	9				

中学校	北中学校	教育総務課	教室棟29	RC	1978	1,741	教室棟29	RC	1978	1,741
中学校	北中学校	教育総務課	管理棟32-1	RC	2011	779	管理棟32	RC	2011	786
中学校	北中学校	教育総務課	渡り廊下33-1	S	2011	7				
中学校	北中学校	教育総務課	新南校舎	RC	2017	4,044	新南校舎	RC	2017	4,044
中学校	北中学校	教育総務課	共同調理場①	S	2001	532	共同調理場①	S	2001	532
中学校	北中学校	教育総務課	柔剣道場30-1	S	1986	614	柔剣道場30	S	1986	647
中学校	北中学校	教育総務課	柔剣道場(トイレ)30-2	S	1986	33				
中学校	北中学校	教育総務課	屋内運動場⑭	S	1968	896	屋内運動場⑭	S	1968	1,214
中学校	北中学校	教育総務課	体育器具庫⑭-1	S	1970	51				
中学校	北中学校	教育総務課	便所⑭-2	S	1980	16				
中学校	北中学校	教育総務課	体育部室31	RC	1985	251	管理・教室棟①	RC	1970	3,663
中学校	中郷中学校	教育総務課	管理・教室棟①-1	RC	1970	1,409				
中学校	中郷中学校	教育総務課	管理・教室棟①-2	RC	1971	2,245				
中学校	中郷中学校	教育総務課	管理・教室棟①-3	RC	1984	9	特別教室棟⑪	RC	1994	1,823
中学校	中郷中学校	教育総務課	特別教室棟⑪	RC	1994	1,823				
中学校	中郷中学校	教育総務課	柔剣道場⑫	S	1994	586	柔剣道場⑫	S	1994	586
中学校	中郷中学校	教育総務課	屋内運動場⑨	S	1978	980	屋内運動場⑨	S	1978	1,152
中学校	中郷中学校	教育総務課	プール専用付属室⑭	S	2003	20				
中学校	中郷中学校	教育総務課	体育部室⑬	RC	1996	152				
中学校	北上中学校	教育総務課	管理・教室棟①-1	RC	1980	3,014	管理・教室棟①	RC	1980	4,715
中学校	北上中学校	教育総務課	管理・教室棟①-2	RC	1986	360				
中学校	北上中学校	教育総務課	教室棟④-1	RC	1980	1,331				
中学校	北上中学校	教育総務課	教室棟④-2	RC	2001	10				
中学校	北上中学校	教育総務課	特別教室棟⑤	RC	1980	1,854	特別教室棟⑤	RC	1980	1,854
中学校	北上中学校	教育総務課	技術棟②	S	1980	410	技術棟②	S	1980	410
中学校	北上中学校	教育総務課	柔剣道場	S	2013	735	柔剣道場	S	2013	735
中学校	北上中学校	教育総務課	屋内運動場③	S	1980	982	屋内運動場③	S	1980	1,198
中学校	北上中学校	教育総務課	体育部室⑥	RC	1979	170				
中学校	北上中学校	教育総務課	用務員室	W	1980	46	管理棟①	RC	1980	1,252
中学校	中郷西中学校	教育総務課	管理棟①	RC	1980	1,252				
中学校	中郷西中学校	教育総務課	教室棟②-1	RC	1980	1,173				
中学校	中郷西中学校	教育総務課	特別教室棟②-2	RC	1980	2,032				
中学校	中郷西中学校	教育総務課	教室棟②-3	RC	1985	450				
中学校	中郷西中学校	教育総務課	教室棟②-4	S	2001	33	教室棟②	RC	1980	4,841
中学校	中郷西中学校	教育総務課	教室棟②-5	RC	1980	1,153				
中学校	中郷西中学校	教育総務課	特別教室棟③	S	1980	410				
中学校	中郷西中学校	教育総務課	柔剣道場⑧	S	1992	593	柔剣道場⑧	S	1992	593
中学校	中郷西中学校	教育総務課	共同調理場①	S	2001	532	共同調理場①	S	2001	532
中学校	中郷西中学校	教育総務課	屋内運動場④	S	1980	981	屋内運動場④	S	1980	1,200
中学校	中郷西中学校	教育総務課	体育部室⑥	RC	1979	170				
中学校	中郷西中学校	教育総務課	体育部室⑦	RC	1985	22				
中学校	中郷西中学校	教育総務課	倉庫⑨	S	2001	27				
中学校	山田中学校	教育総務課	教室棟①	RC	1991	5,758	教室棟①	RC	1991	5,763
中学校	山田中学校	教育総務課	プロパン庫⑤	RC	1991	5				

中学校	山田中学校	教育総務課	管理棟②-1	RC	1991	2,615	管理棟②	RC	1991	2,841
中学校	山田中学校	教育総務課	管理棟(配膳室)②-2	RC	2001	10				
中学校	山田中学校	教育総務課	管理棟③	RC	1991	216				
中学校	山田中学校	教育総務課	体育館棟(柔剣道場)④-9	RC	1991	507	体育館棟(柔剣道場)④	RC	1991	1,195
中学校	山田中学校	教育総務課	体育館棟(昇降口)④-1	RC	1991	240				
中学校	山田中学校	教育総務課	体育館棟(木工金工室)	RC	1991	358				
中学校	山田中学校	教育総務課	体育館棟(部室)④-4	RC	1991	31				
中学校	山田中学校	教育総務課	体育館棟(部室)④-5	RC	1991	25				
中学校	山田中学校	教育総務課	体育館棟(玄関)④-6	RC	1991	34	体育館棟(屋内運動場)④	S	1991	1,264
中学校	山田中学校	教育総務課	体育館棟(屋内運動場)④-2	S	1991	1,072				
中学校	山田中学校	教育総務課	体育館棟(打合せ室)④-7	S	1991	167				
中学校	山田中学校	教育総務課	体育館棟(器具庫)④-8	S	1991	25				
中学校	山田中学校	教育総務課	体育部室⑥	RC	1991	242				

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	幼稚園		
施設所管課	子ども保育課	施設分類	幼稚園(学校等施設)
目的	幼児教育		
写真			

【サービスの評価(幼稚園全体)】

サービス内容	幼児教育の提供 ※給食なし(弁当持参) ※対象は3歳～5歳				
	運営時間	8時30分～14時00分 ※預かり保育14時～17時	休館日	毎週土・日、祝日、年末年始、夏季・冬季・春季休暇	
利用状況	主な評価項目(2018年度)				
	定員	利用者数	充足率	評価	備考
	1,335	731	54.8%	C	2018.5.1基準

利用状況	コメント	
	<ul style="list-style-type: none"> ・共働き世帯の増加(フルタイム)、核家族化の進行などの社会状況の変化により、希望者が減少している。また対象者である子どもの数が減少している。 ・公立幼稚園の継続入所含めた入所の申し込み者数の推移 (2015年)975人(2016年)915人(2017年)829人 ・東幼稚園、北幼稚園、錦田幼稚園などの新しい幼稚園でも、充足率が下がってきている。このため、空きスペースが出始めている。 ・幼稚園の預かり保育について <ul style="list-style-type: none"> 多い園(錦田幼稚園):1日当たり平均20人。 少ない園(西幼稚園、大場幼稚園):1日当たり平均1.3人。 トータル平均で見ると、1園当たり大体6人ほどの利用。 利用率が低い理由として、預かりの時間が短く、パートタイムであっても迎えに間に合わない。 <p>【私立幼稚園等の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園は3園で、定員595人に対して、入所者数537人で90.2%の入所率 ・民間の認定こども園が2園で、定員210人に対して、入所者数200人の95.2%の入所率 <ul style="list-style-type: none"> ・全体では定員2,140人に対して、入所者数1,468人の68.5%。 	
	将来予測	
	少子化により、対象者は減少していくと考えられる。	
コスト	<ul style="list-style-type: none"> ・園児数が少ない園は、一人当たりの経費が高い ・すべての施設が直営 	
立地状況	<ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園や保育園を含めて、4地区にバランスよく配置されている。 ・道路状況、仕事場や居住地などを考慮したときに、送迎しやすい場所に立地していることが望ましい。 	
問題点	☆充足率の低い園がある	
対策の可能性	項目	コメント
	統合等	私立を含めて、充足率がすでに68.5%なので、統合を検討する必要がある。 ※充足率が低いので、残りの施設で受け入れが可能と考えられる。私立幼稚園は市内に3園あり(休園中の1園を含まず)。 ※残す園については、私立と市立の違い(指導内容など)を明確にする。
	民営化	充足率(ニーズ)が低いため、民営化は難しいと考えられる。(受け手がない)
	複合化	利用者が減少していることから、必要とする面積も減少しており、学校等の他の公共施設の空きスペースへ入ることも可能と思われる。
	複合化(受け入れ)	利用者数が減少していることから、空いているスペースがあり、他の公共施設の受け入れが可能と思われる。
対策内容	☆私立幼稚園の充足率を上昇させるため、地区ごとに基幹となる園を残し、その他の園は統合を検討する。 ☆存続させる園について、空きスペースがあれば、複合化を受け入れる。 ☆現在の市民ニーズあった新たな市民サービスの実施を検討する。	

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	保育園		
施設所管課	子ども保育課	施設分類	保育園(子育て支援施設)
目的	子育て支援		
写真			

【サービスの評価(保育園全体)】

サービス内容	幼児預かり ※給食提供あり。 ※対象は1歳未満～				
	運営時間	7時30分～18時00分 ※延長19時まで。 ※土曜日は時短	休館日	毎週日曜日及び祝日、年末年始	
利用状況	主な評価項目(2018年度)				
	定員	利用者数	充足率	評価	備考
	525	553	105.3%	A	待機児童が発生している 2018.4.1基準
	コメント				
	・共働き世帯の増加(フルタイム)、核家族化の進行などの社会状況の変化により、希望者が増えている。 一方で対象者である子どもの数そのものは減少している。 【申し込み数の推移について】 (2016年度)2,009人、(2017年度)2,040人、(2018年度)2,169人 【待機児童の状況について】 (2016年度)待機児童は14人。隠れ待機児童は107人。 (2017年度)待機児童は9人。隠れ待機児童は57人。 (2018年度)待機自動は3人。隠れ待機児童は107人。 ※隠れ待機児童:待機児童の定義に該当しないが入所できていない児童 【私立保育園等の状況】 ・若葉保育園については、三島市分の定員45人に対して40人が入所していて、88.9%の入所率。 ・民間の私立保育園は12園。 定員1,205人に対して1,260人が入所していて、入所率104.6%。 ・民間の認定こども園は2園。 定員141人に対して135人が入所していて、95.7%の入所率 ・新制度で設置された0・1・2歳児のみを預かる小規模保育事業所は3園 定員57人に対して入所者数45人で、78.9%の入所率。 ・全体では定員1,973人に対して、入所数が2,033人で103.0%の入所率。(平成29年度末の数字では、全体で定員が1,892人に対して、入所者数は2,047人で、108.2%の入所率。)				

将来予測									
利用状況	三島市子ども・子育て支援事業計画では、少子化に伴う保育対象者の減少により、平成31年度に待機児童が解消されるとしているが、共働き世帯の増加による入所申込率の上昇により、しばらくは保育需要が供給を上回る見込み。保育需要が供給の範囲内になる時期は想定が困難な状況。								
コスト	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園に比べて高コスト(給食を提供している) ・すべての施設が直営 ・伊豆佐野保育園が借地、錦田保育園が一部借地。 								
立地状況	<ul style="list-style-type: none"> ・私立保育園や幼稚園を含めて、4地区にバランスよく配置されている。 ・道路状況、仕事場や居住地などを考慮したときに、送迎しやすさは園ごとにばらつきがある。 								
問題点	☆保育対象者数の減を入所申込率の増が上回る状況がいつまで続くか想定が困難であるが、将来的な園児数の減少に対し、現在から対策を考える必要がある。								
対策の可能性	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>コメント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>統合等</td> <td>私立を含めて充足率が100%を超えているので、当分は、統合等は難しいと考えられる。将来的には認定こども園化等による幼稚園との統廃合が考えられる。</td> </tr> <tr> <td>複合化</td> <td>対象年齢が多く、そのため保育室も数が必要。また、小さい子には、専用の小さいトイレが必要となり改修にも費用がかかる。このため、複合化は難しい、またはメリットが少ないと思われる。</td> </tr> <tr> <td>民営化</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・国の補助金について、公立保育園の設置については対象外だが、私立については対象となっている。 ・現時点では保育需要が高いが、少子化により保育需要の低下が見込まれるため、民営化は困難になると考えられる。 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	コメント	統合等	私立を含めて充足率が100%を超えているので、当分は、統合等は難しいと考えられる。将来的には認定こども園化等による幼稚園との統廃合が考えられる。	複合化	対象年齢が多く、そのため保育室も数が必要。また、小さい子には、専用の小さいトイレが必要となり改修にも費用がかかる。このため、複合化は難しい、またはメリットが少ないと思われる。	民営化	<ul style="list-style-type: none"> ・国の補助金について、公立保育園の設置については対象外だが、私立については対象となっている。 ・現時点では保育需要が高いが、少子化により保育需要の低下が見込まれるため、民営化は困難になると考えられる。
	項目	コメント							
	統合等	私立を含めて充足率が100%を超えているので、当分は、統合等は難しいと考えられる。将来的には認定こども園化等による幼稚園との統廃合が考えられる。							
	複合化	対象年齢が多く、そのため保育室も数が必要。また、小さい子には、専用の小さいトイレが必要となり改修にも費用がかかる。このため、複合化は難しい、またはメリットが少ないと思われる。							
民営化	<ul style="list-style-type: none"> ・国の補助金について、公立保育園の設置については対象外だが、私立については対象となっている。 ・現時点では保育需要が高いが、少子化により保育需要の低下が見込まれるため、民営化は困難になると考えられる。 								
対策内容	<p>☆保育事業に関しては民間事業者を主と考え、市立保育園については地区ごとに基幹となる園を残し、その他の園は民営化を検討する。民営化が難しい場合は、利用者数の推移を見ながら統合を検討する。</p> <p>☆現在の市民ニーズにあった新たな市民サービスの実施を検討する。</p>								

【サービスの評価(各園)】

○利用状況(詳細)について

施設名称	利用状況(2018年度)				
	定員(人)	利用者数(人)	充足率(%)	一人当たり面積(m ²)	評価
東幼稚園	120	84	70.0%	16.5	B
西幼稚園	90	10	11.1%	47.0	C
南幼稚園	65	53	81.5%	8.7	A
北幼稚園	235	132	56.2%	14.5	C
錦田幼稚園	270	159	58.9%	12.1	C
徳倉幼稚園	120	83	69.2%	8.1	B
坂幼稚園	65	14	21.5%	11.6	C
松本幼稚園	120	73	60.8%	5.4	B
大場幼稚園	65	27	41.5%	13.7	C
旭ヶ丘幼稚園	65	41	63.1%	8.1	B
沢地幼稚園	120	55	45.8%	7.6	C
平均	121	66	54.8%	13.9	C

○コストについて

施設名称	利用状況(2017年度)				コスト(2017年度) 単位:千円								
	定員(人)	利用者数(人)	充足率(%)	一人当たり面積(m ²)	支出					収入	年間経費(支出-収入)	一人当たり経費	評価
					管理委託料	光熱水費	人件費	借地料	その他支出	使用料等			
東幼稚園	120	92	76.7%	15.1	604	693	42,000	0	1,734	7,135	37,896	2.1	中
西幼稚園	90	27	30.0%	17.4	177	203	24,000	0	508	2,094	22,794	4.3	高
南幼稚園	65	37	56.9%	12.5	243	279	25,800	0	697	2,869	24,150	3.3	高
北幼稚園	235	160	68.1%	11.9	1,051	1,206	55,000	0	3,016	12,410	47,863	1.5	中
錦田幼稚園	270	183	67.8%	10.5	1,202	1,380	61,200	15,184	3,450	14,194	53,038	1.5	中
徳倉幼稚園	120	88	73.3%	7.7	578	663	40,200	0	1,658	6,825	36,274	2.1	中
坂幼稚園	65	18	27.7%	9.1	118	135	18,600	0	338	1,396	17,795	5.1	高
松本幼稚園	120	88	73.3%	4.5	578	663	37,000	0	1,658	6,825	33,074	1.9	中
大場幼稚園	65	22	33.8%	16.8	144	165	20,800	0	414	1,706	19,817	4.6	高
旭ヶ丘幼稚園	65	33	50.8%	10.1	216	248	26,400	0	621	2,559	24,926	3.9	高
沢地幼稚園	120	74	61.7%	5.7	486	558	37,800	0	1,395	5,739	34,500	2.4	中
平均	121	75	61.6%	11.0	491	563	35,345	1,380	1,408	5,796	32,012	2.2	

※一人当たりの経費は、(支出-収入)÷(利用者数×運営日数195)で算出

○立地状況及び対策内容について

施設名称	立地状況					対策内容	
	所在地	駐車場	地域	都市計画	立地適正化計画		コメント
東幼稚園	東町10-12	9台	旧市内地域	市街化区域	中心拠点	国道1号線をはじめ、主要道路に近い。 東小と同敷地。	☆現状維持(南幼稚園との統合を検討) 【旧市内地区基幹幼稚園】
西幼稚園	栄町2-19	3台	旧市内地域	市街化区域	中心拠点	接道は、交通量があるものの狭い。 駐車場はやや離れた位置にある。	☆北幼稚園に統合を検討
南幼稚園	青木265	無し	中郷地域	市街化区域	中心拠点周辺	接道は車がすれ違えない程に狭隘な道路。 南小、南中の近くに立地。	☆青木保育園、東幼稚園に統合を検討
北幼稚園	文教町1-4-1	28台	旧市内地域	市街化区域	中心拠点周辺 文教エリア	三島駅北口に近く、県道に面しており、歩道も整備されている。北小と同敷地内に立地し、駐車場は大きい。	☆現状維持(西幼稚園との統合を検討) 【旧市内地区基幹幼稚園】
錦田幼稚園	谷田271-1	62台	錦田地域	市街化区域	地域拠点 (谷田玉沢線周辺)	錦田保育園との合築。駐車場は大きいですが、接道が狭隘で送迎時に渋滞する。	☆現状維持(坂幼稚園及び旭ヶ丘幼稚園との統合を検討) 【錦田地区基幹幼稚園】
徳倉幼稚園	徳倉4-1-8	6台	北上地域	市街化区域	地域拠点周辺 (幸原町・徳倉周辺)	徳倉小と同敷地。	☆現状維持(沢地幼稚園との統合を検討) 【北上地区基幹幼稚園】
坂幼稚園	市山新田153-1	無し	錦田地域	市街化調整区域		接道は狭いが、車通りは少ないため、徒歩で送迎はしやすい。	☆錦田幼稚園に統合を検討
松本幼稚園	松本99-1	無し	中郷地域	市街化区域		平成30年度中に駐車場を3台程度整備予定。 接道は、狭いが工事車両が行き来する。	☆現状維持(大場幼稚園との統合を検討) 【中郷地区基幹幼稚園】
大場幼稚園	大場365	20台	中郷地域	市街化調整区域		開田院の駐車場を使用させてもらっている。 大場・函南ICに近い。	☆松本幼稚園に統合を検討
旭ヶ丘幼稚園	旭ヶ丘23-31	無し	錦田地域	市街化区域		住宅街に在るため、車送迎に向かない。	☆錦田幼稚園に統合を検討
沢地幼稚園	沢地257	無し	北上地域	市街化調整区域		加茂ICに近いため、伊豆縦貫道からの接続が見込める。	☆徳倉幼稚園に統合を検討

※存続させる基幹幼稚園については、充足率だけではなく、建築物の規模や劣化度、立地利便性を考慮して決定する。

【建築物の評価】

施設名称	基本情報			管理方針		調査				実施方針
	建築年 (築年数)	構造	床面積 (㎡)	施設区分	使用終了予定年	構造体耐久性調査		大規模改修実施予定 時期	総合劣化度	
						実施時期	残存耐用 年数			
東幼稚園	2012(6)	RC	1,387	長寿命化	2092	2052		2052	16.1	☆予防保全により、適切に管理
西幼稚園	1978(40)	S	470	一般	2038	実施しない			29.6	☆2038年頃までに建物解体の上、土地を売却
南幼稚園	1983(35)	S	461	一般	2032	実施しない			44.2	☆2032年頃に建物解体の上、土地を売却
北幼稚園	2011(7)	RC	1,909	長寿命化	2091	2051		2051	10.0	☆予防保全により、適切に管理
錦田幼稚園	2010(8)	RC	1,918	長寿命化	2090	2050		2050	13.6	☆予防保全により、適切に管理
徳倉幼稚園	1971(47)	RC	676	長寿命化	2051	2017	20年	2,032.00	40.4	☆2032年頃を目途に大規模改修実施
坂幼稚園	1968(50)	S	163	一般	2028	実施しない			32.9	☆2028年頃に建物解体
松本幼稚園	1979(39)	S	394	一般	2039	5年以内		5年以内	57.7	☆5年以内を目途に大規模改修実施 ☆2039年頃に建替え ※建替えに合わせて移転を検討。中郷地区の中心よりで駐車場が用意できる場所へ
大場幼稚園	1970(48)	S	369	一般	2030	実施しない			39.1	☆2030年頃に建物解体
旭ヶ丘幼稚園	1974(44)	S	332	一般	2034	実施しない			28.5	☆2034年頃に建物解体の上、土地を売却
沢地幼稚園	1975(43)	S	419	一般	2035	実施しない			33.5	☆2035年頃に建物解体

※統合する時期

建物の老朽化度、受け入れ施設の空き状況などを勘案して決める。

また、公立幼稚園は入園希望の3歳児が10人未満の場合は学級を編制しないため、実際の入園状況も勘案し判断する。

※統合後

市街化区域にある園は解体の上、売却。

【サービスの評価(各園)】

○利用状況(詳細)について

施設名称	利用状況(2018年度)				
	定員(人)	利用者数(人)	充足率(%)	一人当たり面積(m ²)	評価
加茂川町保育園	120	112	93.3%	7.2	A
伊豆佐野保育園	45	51	113.3%	7.9	A
緑町佐野保育園	60	64	106.7%	5.9	A
錦田保育園	120	139	115.8%	10.4	A
青木保育園	90	97	107.8%	6.2	A
光ヶ丘保育園	90	90	100.0%	7.1	A
平均	88	92	105.3%	7.4	A

○コストについて

施設名称	利用状況(2017年度)				コスト(2017年度) 単位:千円								
	定員(人)	利用者数(人)	充足率(%)	一人当たり面積(m ²)	支出					収入	年間経費(支出-収入)	一人当たり経費	評価
					管理委託料	光熱水費	人件費	借地料	その他支出	使用料等			
加茂川町保育園	120	120	100.0%	6.7	650	2,727	131,400	0	11,475	22,549	123,703	4.3	高
伊豆佐野保育園	45	53	117.8%	7.6	287	1,204	58,600	1,413	5,067	9,959	56,612	4.5	高
緑町佐野保育園	60	66	110.0%	5.7	357	1,500	67,200	0	6,311	12,402	62,966	4.0	高
錦田保育園	120	142	118.3%	10.2	769	3,227	137,600	0	13,578	26,683	128,491	3.8	高
青木保育園	90	101	112.2%	5.9	547	2,295	94,200	0	9,657	18,979	87,720	3.6	高
光ヶ丘保育園	90	90	100.0%	7.1	487	2,045	85,000	0	8,606	16,912	79,226	3.7	高
平均	88	95	109.0%	7.2	516	2,166	95,667	236	9,116	17,914	89,786	3.9	

※一人当たりの経費は、(支出-収入)÷(利用者数×運営日数240)

○立地状況及び管理方針について

施設名称	立地状況						対策内容
	所在地	駐車場	地域	都市計画	立地適正化計画	コメント	
加茂川町保育園	加茂川町5-30	10台	旧市内地域	市街化区域	中心拠点		☆現状維持
伊豆佐野保育園	佐野110-1	10台	北上地域	市街化調整区域			☆光ヶ丘保育園に統合又は民営化を検討
緑町佐野保育園	緑町6-6	30台	旧市内地域	市街化区域	中心拠点	接道は狭い。 朝の車の通行は警察の許可証が必要。	☆青木保育園に統合又は民営化を検討
錦田保育園	谷田271-1	23台	錦田地域	市街化区域	地域拠点 (谷田玉沢線周辺)	錦田幼稚園と合築。 接道は狭く、送迎時は渋滞する。	☆現状維持
青木保育園	青木323	5台	中郷地域	市街化区域		接道は狭い。	☆南幼稚園、緑町佐野保育園との統合(認定こども園化)を検討
光ヶ丘保育園	光ヶ丘19-2	5台	北上地域	市街化区域		駐車場が道路に面しスペースが小さいため、大型車は一部が道路にはみ出す可能性がある。	☆現状維持(伊豆佐野保育園との統合を検討)

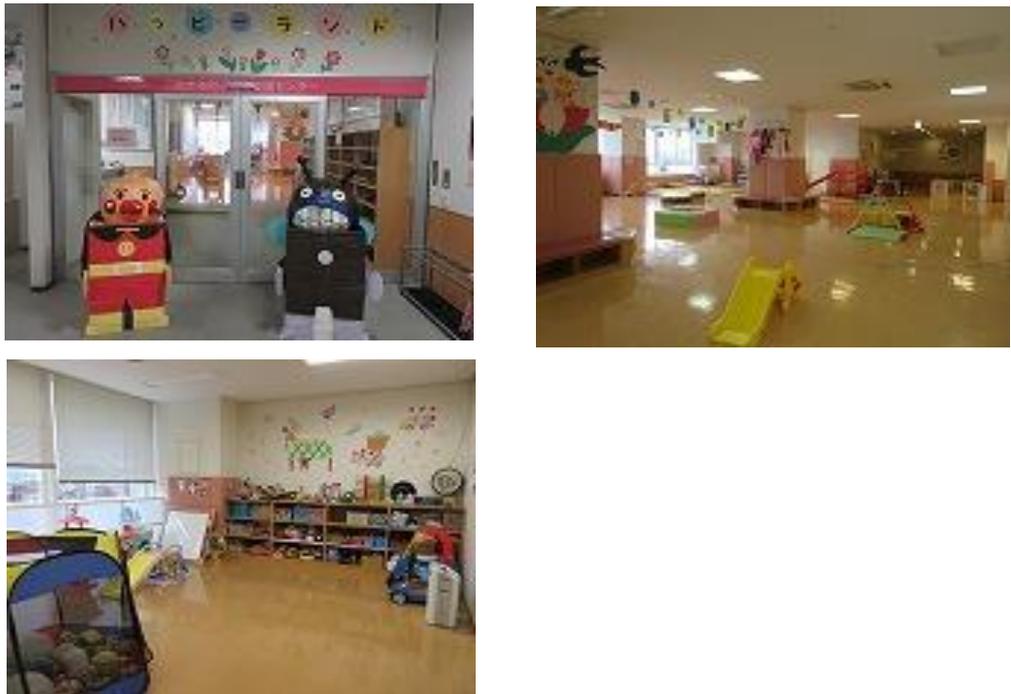
【建築物の評価】

施設名称	基本情報			管理方針		調査				実施方針
	建築年 (築年数)	構造	床面積 (㎡)	施設区分	使用終了予定年	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期	総合劣化度	
						実施時期	残存耐用年数			
加茂川町保育園	1995(23)	RC	805	長寿命化	2075	2034		2034	32.8	☆2034年頃に構造体耐久性調査を行い、結果に基づき大規模改修を実施
伊豆佐野保育園	1981(37)	S	404	一般	2041	実施しない		実施しない	38.8	☆大規模改修は実施しないで、保育利用しながらの中規模修繕で対応する。 ☆2041年頃までに統合又は民営化後、建物解体の上、土地を返却
緑町佐野保育園	1966(52)	RC	375	長寿命化	2046	2017	20年	2031	17.9	☆2031年頃を目途に大規模改修の実施 ☆2046年頃までに統合又は民営化後、建物解体の上、土地を売却
錦田保育園	2010(8)	RC	1,449	長寿命化	2090	2050		2050	14.2	☆予防保全により、適切に管理していく。
青木保育園	1972(46)	S	597	一般	2032	実施しない		実施しない	48.7	☆2032年頃に建替え(場所は要検討)
光ヶ丘保育園	1975(43)	RC	643	長寿命化	2055	2033		2033	45.1	☆2033年頃を目途に構造体耐久性調査を行い、結果に基づき大規模改修を実施

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	本町子育て支援センター		
施設所管課	子育て支援課	施設分類	子育て支援施設
開設年	2005年	総延床面積(㎡)	688(本町タワーの4階フロアを区分所有)
目的	子育て支援、中心市街地の活性化		
写真			

【サービスの評価】

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・交流広場(親子で遊ぶ場所を提供) ※無料 ・子育て相談(子育てに関して、気軽に相談を受ける) ・短時間保育(預かり)1日最高3時間まで ※有料1時間600円 					
	運営時間	9時30分～17時30分	休館日	水曜日、年末年始		
	駐車台数	0台				
利用状況	主な評価項目					
	遊戯室・交流広場	年間利用者数(人)				評価
		2015年度	2016年度	2017年度	2005年度(最大時)	
		30,453	30,206	27,606	38,193	B
	短時間保育室(定員9人)	年間利用者数(人)				評価
		2015年度	2016年度	2017年度	2006年度(最大時)	
1,521		1,165	1,207	1,628	B	

	年間利用件数(件)				評価	
	2015年度	2016年度	2017年度	2015年度 (最大時)		
	育児相談室 (2部屋あり)	992	880	981	992	A
利用状況	コメント					
	<p>・熱中症や不審者への対策により、屋外で遊ばせにくい環境となり、核家族化や地域コミュニティの弱体化により、気軽に相談や一時的に子どもを預ける人が近くにいない等、本施設に対する市民ニーズは高いと思われる。</p> <p>【利用者数の減少について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化が進んでいることや、女性の就労が増えたことで低年齢から保育園へ就園する児童が増加し、支援センターを利用する機会が減少している。 ・地域子育て支援センター運営を私立保育園に委託(国県市の補助あり)している。市内11施設あり、それぞれ特色ある行事や講座を開催している。 ・近年、近隣市町に同種の施設が完成した。無料駐車場がある新しく便利な近隣市町の施設に、市内外の利用者が流れていると思われる。 ・2016年度の交流広場の利用者は30,206人で、そのうち市外の方が5,485人。市外の利用者は年々減っている。 <p>【駐車場について(専用の駐車場がない)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本町タワータワーズショップパーキング。1時間200円。 ※1階のスーパー等の利用金額が1,000円以上で1時間無料。 ・市営中央駐車場を利用しても減免にはしていない。距離があるため利用も少ない。 ・利用者の半数以上が車を利用。利用は本町タワー駐車場が多く、満車の場合、近隣駐車場まで歩いている。 					
	将来予測					
	少子高齢化、他市町の同種施設の影響、駐車場の問題等により、本施設の利用者はさらに減少していくと考えられる。					
	コスト	施設運営形態				
直営						
2017年度 支出(千円)						
管理委託料		光熱水費	人件費	借地料	その他支出	
7,199		1,521	22,145	0	1,300	
収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費		評価	
使用料等						その他収入
1,789	0	30,376	1.02		中	
立地状況	所在地		地域	都市計画	立地適正化計画	
	本町3-29		旧市内地域	市街化区域	中心拠点	
	周辺駅・バス停					
	広小路駅から徒歩3分					
	コメント					
	<p>・幼児を連れて利用する施設なので、自動車で行きやすい場所に立地していることが望ましいが、主要地方道三島富士線は混んでいることが多い。また近くに専用の広い駐車場を新たに作れるほどの用地もない。</p> <p>【商店街の振興について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本施設を利用するにあたって、商店街で買い物をする利用者は半数以下。また、買い物の多くはタワー1階のスーパーであり、商店街への振興に効果は少ないと思われる。 					

問題点	☆専用の広い駐車場がない ☆利用者数は減少傾向である ☆コストが少し高い	
対策の可能性	項目	コメント
	統合	本施設の近くにある生涯学習センター(児童センター)へ統合について ・児童センターと子育て支援センターでは、目的やサービス内容(児童センターは18才まで、支援センターは主に未就学児が対象)、根拠法令が異なるため、一つにはできない。 ・子育て支援センターのスペースを新たに取れるほど、生涯学習センターに空きスペースはない。
	移動	街中で駐車場完備の公共施設へ移動する。候補としては、保健センターの建物が考えられる。
	複合化	新庁舎建設に合わせ、庁舎へ複合化
	運営形態の検討	コスト高を解消するため、指定管理者制度の導入や業務委託を検討
対策内容	☆保健センターの建物への移動を検討(保健センター機能は2031年に新庁舎へ複合化予定) ☆指定管理者制度導入、業務委託を検討。 ☆各地区の子育て支援策の充実(北上文化プラザ、中郷文化プラザには交流広場があるが、錦田地区にはない)	

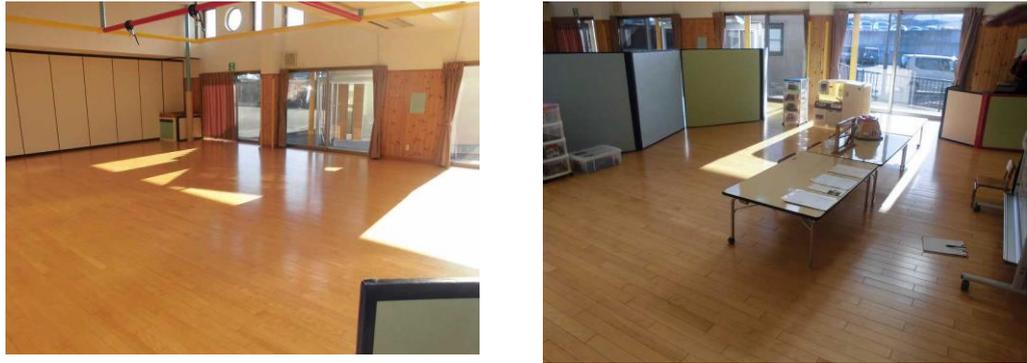
【建築物の評価】

名称	本町タワー		
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)
	2004(13)	SRC	518
	備考		
本町タワーの4階フロアを占有している。			
管理方針	施設区分	使用終了予定年	
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期
	実施時期	残存耐用年数	
	実施しない		2021年以降(管理組合)
実施方針	☆専有部分(内装、空調など)の修繕は市で実施。共用部分の修繕は管理組合が実施。 ☆移動後は、売却を検討		

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	発達支援センター		
施設所管課	発達支援課	施設分類	子育て支援施設
開設年	2013年	総延床面積(m ²)	406
目的	発達障がい児に対する支援。		
写真			

【サービスの評価】

サービス内容	発達や成長に関して配慮が必要な就学前の子どもやその保護者を対象に、相談支援や教室支援(2才まで)を実施。 2018年度に発達支援センター業務が加わり学齢期以降の相談にも対応する。					
	運営時間	9:00から17:00	休館日	土、日及び祝日		
	駐車台数	20台(錦田幼稚園、錦田保育園と共用)				
利用状況	主な評価項目(2017年度)					
	教室支援	年間利用者数	年間運営日数	1日あたり平均利用者数	定員(1度に入れる人数)	評価
		1,714	205	8.4	16人(親子8組)	
	相談支援	年間利用件数(件)				評価
		2015年度	2016年度	2017年度	2016年度(最大時)	
		328	527	511	527	
コメント						
<p>【教室支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 親子で一緒に参加してもらい、遊び等の支援を通じ、保護者に正しく理解してもらうことを目的とする。 定員は、概ね1日に最大親子8組を設定。登録制で現在、約40組が登録し、月～金に割振り、実施。 定員超えで待機している子はいない。(1日に2コース開催等に対応。) 2018年12月に錦田放課後児童クラブが錦田小学校校舎内へ移転し、建物全体を新たに発達支援センターとして定義した。 利用者一人当たりの面積 48.3m² (406m²/8.4人) <p>【相談支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 別棟(第2支援室)は毎日、2～3組に対し相談支援を実施。 						

利用状況	将来予測					
	人口減少に伴い、対象者の減少も考えられるが、障がいに対する理解促進や診断技術等の向上により、一定程度の対象者が生じることが想定される。また2018年度以降は対象年齢を拡大するため、利用者の増加が予想される。					
コスト (2017年度)	施設運営形態					
	直営					
	2017年度 支出(千円)					
	管理委託料	光熱水費	人件費	借地料	その他支出	
	0	0	27,769	0	2,415	
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費		評価
	使用料等	その他収入				
	0	0	30,184	11.03		高
	備考					
	管理委託料及び光熱水費について、現在、教育総務課が支払っている。2019年度からは発達支援課で支出予定。					
立地状況	所在地	地域	都市計画	立地適正化計画		
	谷田271-1	錦田地域	市街化区域	地域拠点(谷田玉沢線周辺)		
	周辺駅・バス停					
	東海バス「遺伝研坂下」 下車5分					
	コメント					
	<ul style="list-style-type: none"> ・主に、幼児を連れて利用する施設なので、自動車での来所者が多く、また、幼稚園、保育園と同一敷地内にあり、関係者にわかりやすい場所に立地していると思われる。 ・路線バスの本数も比較的あり、公共交通機関での来所も可能で、立地状況として望ましい。 					
問題点	<p>☆専門職員を確保して、対応する必要があるため、コストが高くなる。</p> <p>☆児童発達支援事業所(はったばた)と離れており、同一課内であるが速やかな連携や共通理解が図りにくい。</p>					
対策の可能性	項目	コメント				
	民営化	教室支援については、現在、市が実施している頻度で同様の支援を実施している民間事業所等はなく、早期療育の必要性の観点から、現状で市が事業を実施していく必要がある。相談支援については、今後、学齢期以降の相談にも対応することに加え、困難ケースに対応することも求められてくるため、市が事業を実施していく必要があると考える。				
	広域化	発達に困難さを抱える児童への支援については、各市町がそれぞれ実情に応じ、必要な支援の充実に努めており、現状で、広域化で対応する動きは見られない。				
	サービス内容の見直し	専門職員の確保等でコストが他の施設と比べ高額であるが、適正な人員で必要な支援につなげられるよう、常に見直しを図っていく。				
	統合(受入れ)	事務の効率化のため、児童発達支援事業所(はったばた)と統合場所は、立地状況を考慮すると錦田がふさわしいと思われる。 ※発達支援センターの建物に、児童発達支援事業所分をすべて入れることは難しいので、増築や別棟建設、または完全な新築が必要となる。				
複合化	施設や事業の特性上、他施設との複合化は難しいと考えられる。					

対策内容	児童発達支援事業所が2034年に建て替えの時期を迎えるため、発達支援センター敷地内等に増築や別棟等を建設し、統合化を図る。
------	---

【建築物の評価】

名称	発達支援センター		
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)
	2010(7)	RC・地上1	406
管理方針	施設区分	使用終了予定年	
	長寿命化施設	2090	
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期
	実施時期	残存耐用年数	
	2050	/	2050
実施方針	☆予防保全により、適正に管理していく。		

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	児童発達支援事業所		
施設所管課	発達支援課	施設分類	子育て支援施設
開設年	1974年	総延床面積 (㎡)	312
目的	発達障がい児に対する支援		
写真			

【サービスの評価】

サービス内容	発達や成長に関して配慮が必要な就学前の子どもを対象に教室支援(3～5才まで)を実施。					
	運営時間	9時～14時	休館日	土曜日・日曜日・祝日・年末年始		
	駐車台数	13台				
利用状況	主な評価項目(2017年度)					
	登録者数	年間利用者数	年間運営日数	1日あたり平均利用者数	定員(1度に入れる人数)	評価
	31	4,220	224	18.8	24	B

利用状況	コメント					
	<ul style="list-style-type: none"> ・発達や成長に配慮が必要な幼児に様々な遊びや活動を通じ、社会参加や自立に向けた「生きる力」を育む。 ・現状では、定員を超えて、待機している子はいないが、利用に係る相談はある。 ・一人当たりの面積(312㎡÷18.8人)は16.6㎡/人 					
	将来予測					
	人口の減少に伴い、対象者も減少していくと考えられるが、障がいに関する理解促進と診断技術の向上等により一定程度の支援対象者が生じることも予想される。					
コスト	施設運営形態					
	直営					
	2017年度 支出(千円)					
	管理委託料	光熱水費	人件費	借地料	その他支出	
	139	716	41,461	0	1,413	
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費		評価
	使用料等	その他収入				
	0	17,385	26,344	6.24		高
立地状況	所在地		地域	都市計画	立地適正化計画	
	梅名23-1		中郷地域	市街化調整区域		
	周辺駅・バス停					
	ふれあい号 八反畑幼稚園下車 1分					
	コメント					
	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児が利用する施設なので、送迎等で自動車を利用する機会が多く、駐車スペースがある程度確保できる場所に立地していることが望ましい。 					
問題点	<ul style="list-style-type: none"> ☆発達に特徴のある幼児の安全確保に留意しつつ、支援を行うために一定数の専門職員を配置する必要があるため、コストが高い。 ☆発達支援センターと離れており、同一課内ではあるが、速やかな連携や共通理解が図りにくい面がある。 ☆公共交通機関が少なく、自家用車や送迎サービス等がないと利用が困難な場合があると思われる。 ☆旧幼稚園園舎を転用しているため、建物の形態が、発達支援事業に合っていない。(調理室がないため、各市に設置が求められている「児童発達支援センター」の要件を満たすことができない。) 					

	項目	コメント
対策の可能性	民営化	児童発達支援事業所については市内にNPO法人運営が1カ所、放課後等デイサービスと併せて民間事業者運営が3カ所あり。現行の実施主体で市の方向性に沿って事業の実施や委託等を行う体制が整備されておらず、一概に民営化することは困難と考える。
	広域化	県の障害福祉計画により、計画期間内に各市に1カ所以上、児童発達支援センターの設置が求められている。
	サービス内容の見直し	発達に特徴のある幼児の安全確保に留意しつつ、支援を行うために一定数の専門職員を配置する必要があるためコストが高いが、適正な人員で安全にサービスが提供できるよう、常に見直しを図っていく。
	統合	同一課内で速やかな連携と共通理解を図るため、発達支援センターとの統合が望ましい。場所は、立地状況を考慮すると錦田がふさわしいと思われる。
	複合化	施設や事業の特性上、他施設との複合化は難しいと考えられる。
対策内容	☆発達支援センターへ統合（発達支援センター敷地内等に増築や別棟等を建設）	

【建築物の評価】

名称	児童発達支援事業所			
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)	
	1974(43)	S・地上1	312	
管理方針	施設区分	使用終了予定年		
	一般施設	2034		
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期	総合劣化度
	実施時期	残存耐用年数		
	実施しない		実施しない	20.0
実施方針	☆2034年頃に発達支援センターへ統合後、建物解体。 ※幼稚園から用途変更するときに改修しているので、大規模改修は実施しない。			

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	放課後児童クラブ		
施設所管課	教育総務課	施設分類	子育て支援施設
目的	子育て支援		
写真			

【サービスの評価(全体)】

サービス内容	小学生の放課後預かり ・対象は、小学校1年生～6年生				
	運営時間	13時～18時 (学校長期休業時は8時～18時)	休館日	日曜日及び土曜日(毎月の第1土曜日を除く)、祝日、年末年始	
利用状況	主な評価項目(2018年度)				
	定員	利用者数	充足率	評価	備考
	1,104	1,002	90.8%	A	利用者は受入可能数を下回っているが、学区単位での受入となるため、待機児童あり

利用状況	コメント	
	<ul style="list-style-type: none"> ・共働き世帯の増加(フルタイム)、核家族化の進行などの社会状況の変化により、需要が高まっている。 ・2018年度に開所している21クラブのうち、1つは指定管理者が運営、公営で運営しているのは20クラブ(21支援の単位)。 ・公設公営の放課後児童クラブの入館者数 2014年度:大体750人から770人までの間で推移 2015年度:953人 2016年度:980人、待機者51人、 2017年度:985人、待機者33人 2018年度:1,002人、待機者22人(待機登録を行った人数) ※児童福祉法の改正により、2015年4月から小学6年生までが対象。 ・放課後児童クラブの最低基準を定めた条例において、専用区画の面積は児童1人あたりおおむね1.65㎡以上となっている。2019年度までの経過措置の中で解消していく。 	
	将来予測	
	少子高齢化により子どもの人数は減少していく見込みだが、女性の就業率が年々高まっており今後しばらくの間は放課後児童クラブの需要は増えていくと思われる。	
コスト	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての施設で借地なし ・一人当たりのコストは、他の公共施設と比べて、非常に安価 	
立地状況	各小学校の敷地内に併設されている。	
問題点	<ul style="list-style-type: none"> ☆児童1人あたりの面積が条例で定めた最低基準に満たない施設がある。(面積が不足している。) ☆施設数の増加に比例した支援員数の確保が難しい状況である。 	
対策の可能性	項目	コメント
	複合化	小学生を預かっているので、小学校舎内に新設・複合化するのが最も合理的であると考えられるが、支援学級の増加等もあり、余裕教室の確保が難しい。また学校敷地内に児童クラブ支援員、保護者用の駐車スペースの確保が難しい状況である。
	民営化	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的に学習塾などが、学童保育を実施しようという動きがある。 ・市町によっては、民間委託やNPO運営を活用している。 ・三島市でも、いくつかの社会福祉法人が学童保育を開始している。
対策内容	<ul style="list-style-type: none"> ☆児童1人あたりの面積の適正化を図るため、小学校の空きスペースを活用していく。(小学校に空き教室がない場合は、建物を新設) ☆並行して、民間活力の活用を検討する。 	

【サービスの評価(各クラブ)】

○利用状況(詳細)について

施設名称	利用状況(2018年度)					
	定員(人)	利用者数(人)	充足率(%)	一人当たり面積(㎡)	評価	備考
東放課後児童クラブ	40	43	107.5%	2.3	A	
北第一放課後児童クラブ	49	71	144.9%	1.7	A	
北第二放課後児童クラブ	55	62	112.7%	5.9	A	
錦田放課後児童クラブ	58	67	115.5%	1.2	A	2018.12.6発達支援センターに用途変更
坂放課後児童クラブ	45	35	77.8%	2.8	B	
徳倉第一放課後児童クラブ	44	45	102.3%	3.8	A	
徳倉第二放課後児童クラブ	70	41	58.6%	1.9	C	
向山第一放課後児童クラブ	40	0			A	2018年度は第一クラブを休止し、2017年度に校舎内に整備した第三クラブ(面積90㎡ 定員55人)を利用中
向山第二放課後児童クラブ	50	50	100.0%	4.6	A	
中郷第一・第二放課後児童クラブ	96	91	94.8%	0.0	A	
平均	55	51	92.3%	2.7	A	

○コストについて

施設名称	利用状況(2017年度)				コスト(2017年度) 単位:千円										
	定員(人)	利用者数(人)	充足率(%)	一人当たり面積(m ²)	支出					収入			年間経費(支出-収入)	一人当たり経費	評価
					管理委託料	指定管理料	光熱水費	人件費	その他支出	使用料等	その他収入	補助金収入			
東放課後児童クラブ	40	52	130.0%	1.53	67	0	123	5,020	297	1,710	0	2,288	1,509	0.12	低
北第一放課後児童クラブ	49	75	153.1%	1.31	69	0	178	6,275	428	2,466	0	3,300	1,184	0.06	低
北第二放課後児童クラブ	55	63	114.5%	1.89	110	0	149	5,020	360	2,072	0	2,772	795	0.05	低
錦田放課後児童クラブ	58	70	120.7%	5.22	279	0	166	5,020	400	2,302	0	2,080	1,483	0.08	低
坂放課後児童クラブ	45	37	82.2%	2.24	0	2,305	0	0	0	0	0	1,628	677	0.07	低
徳倉第一放課後児童クラブ	44	74	168.2%	1.32	69	0	175	7,530	422	2,434	0	3,256	2,506	0.13	低
向山第一放課後児童クラブ	40	56	140.0%	1.41	65	0	133	5,020	320	1,842	0	2,464	1,232	0.09	低
向山第二放課後児童クラブ	50	54	108.0%	2.05	67	0	128	5,020	308	1,776	0	2,376	1,371	0.10	低
中郷第一・第二放課後児童クラブ	96	91	94.8%	2.52	127	0	216	8,785	520	2,993	0	4,004	2,651	0.12	低
平均	53	64	119.9%	2.17	95	256	141	5,299	339	1,955	0	2,685	1,490	0.09	

※一人当たりの経費は、(支出-収入)÷(利用者数×運営日数252)

※坂児童クラブについては、指定管理者制度を導入しています。人件費欄には、指定管理料の金額を記入してあります。

○立地状況及び対策内容について

施設名称	立地状況					対策内容
	所在地	地域	都市計画	立地適正化計画	コメント	
東放課後児童クラブ	東町10-1	旧市内地域	市街化区域	中心拠点周辺		☆2019年に東小の空き教室へ複合化 ※普通教室65㎡×2室=130㎡を予定
北第一放課後児童クラブ	文教町1-4-8	旧市内地域	市街化区域			☆現状維持
北第二放課後児童クラブ	文教町1-4-8	旧市内地域	市街化区域			☆現状維持
錦田放課後児童クラブ	谷田271	錦田地域	市街化調整区域	地域拠点周辺 (谷田玉沢線)		☆2018年に錦田小余裕教室へ複合化
坂放課後児童クラブ	市山新田163-2	錦田地域	市街化調整区域			☆現状維持
徳倉第一放課後児童クラブ	徳倉4-1-39	北上地域	市街化区域	地域拠点周辺 (幸原町・徳倉周辺)		☆現状維持
徳倉第二放課後児童クラブ	徳倉4-1-39	北上地域	市街化区域	地域拠点周辺 (幸原町・徳倉周辺)		☆2018年に新設 ☆2044年頃に廃止予定
沢地放課後児童クラブ	沢地127-1	北上地域	市街化調整区域			☆2016年に学校余裕教室へ複合化
向山第一放課後児童クラブ	谷田1946	錦田地域	市街化調整区域			☆2019年 学校余裕教室に新たにクラブを整備後、廃止
向山第二放課後児童クラブ	谷田1946	錦田地域	市街化調整区域			☆現状維持
中郷第一・第二放課後児童クラブ	梅名449-1	中郷地域	市街化区域			☆現状維持

【建築物の評価】

施設名称	基本情報			管理方針		調査			実施方針	
	建築年 (築年数)	構造	床面積 (㎡)	施設区分	使用終了予定年	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期		総合劣化 度
						実施時期	残存耐用年 数			
東放課後児童クラブ	1994(24)	S	79	一般	2019	実施しない	/	実施しない	16.4	☆2019年に学校へ複合化後、建物解体
北第一放課後児童クラブ	2009(8)	RC	98	長寿命化	2089	2049	/	2049		☆2049年頃に大規模改修 ※体育館の改修に併せて実施
北第二放課後児童クラブ	2014(4)	W	119	一般	2054	実施しない	/	実施しない	10.0	☆予防保全により適切に管理
錦田放課後児童クラブ	2009(9)	RC	366	長寿命化	2089	2049	/	2049	10.0	☆学校校舎内に移転後、引き続き発達支援センターとして使用
坂放課後児童クラブ	2003(15)	S	83	一般	2063	実施しない	/	2043	22.5	☆2043年頃に大規模改修
徳倉第一放課後児童クラブ	2007(11)	S	98	一般	2067	実施しない	/	2047	10.0	☆2047年頃に大規模改修
徳倉第二放課後児童クラブ	2017(1)	S	169	一般	2044	実施しない	/	実施しない	10.0	☆2044年頃に建物解体
沢地放課後児童クラブ	1992(26)	S	79	一般	2020	実施しない	/	実施しない	22.1	☆2020年頃建物解体予定
向山第一放課後児童クラブ	1991(27)	S	79	一般	2019	実施しない	/	実施しない	20.5	☆2019年に建物解体済
向山第二放課後児童クラブ	2010(8)	S	111	一般	2070	実施しない	/	2050	10.0	☆予防保全により適切に管理
中郷第一・第二放課後児童クラブ	2012(6)	S	229	一般	2072	実施しない	/	2052	10.0	☆予防保全により適切に管理

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	市立老人ホーム佐野楽寿寮		
施設所管課	地域包括ケア推進課	施設分類	保健福祉施設
開設年	1967年	総延床面積(㎡)	997
目的	生活に困窮している高齢者の支援(セーフティネット)		
写真	  		

【サービスの評価】

サービス内容	経済的な理由等により居宅において養護を受けることが困難な高齢者に対し、居住室、食事、介護を提供(対象者は原則65歳以上)				
	運営時間	24時間	休館日	なし	
	駐車台数	なし			
利用状況	主な評価項目(2017年度)				
	定員	入所者数	充足率	評価	備考
	50	15	30.0%	C	利用者一人当たりの面積は62㎡

利用状況	コメント					
	<ul style="list-style-type: none"> ・多床室であるため、集団生活に適さない方は入所できない。 ・和室であるため、高齢化によって身体的な負担が大きくなる。 ・他施設の養護老人ホームに措置している人数は15人(2018.3.31現在) 					
	将来予測					
	<ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者の増加、高齢化の進行により、潜在的な利用希望者は、増加傾向にあると思われる。 ・部屋の形態を改修(和室から洋室へ変更し、ベット使用を可能とする)しなければ、利用希望者は減少すると思われる。 					
コスト	施設運営形態					
	直営					
	2017年度 支出(千円)					
	管理委託料	光熱水費	人件費	借地料	その他支出	
	19,134	5,013	45,564	0	0	
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費		評価
	使用料等	その他収入				
	10,966	6	58,739	10.73		高
立地状況	所在地		地域	都市計画	立地適正化計画	
	谷田(小山押切)1260-2		錦田地域	市街化区域		
	周辺駅・バス停					
	小山中島バス停から徒歩10分					
	コメント					
	特になし					
問題点	<p>☆潜在的なニーズはあると思われるが、施設形態が利用対象者の実情に合っていないため、充足率が低い。</p> <p>☆利用者が少なく、高コストである</p>					
対策の可能性	項目	コメント				
	廃止	<p>市が直営で運営すると高コストになる。民間でできることは民間に任せるべき。</p> <p>※市が今の場所に改築する場合、もしくは建て直す場合、国や県の補助金はない。一方で、民設民営で新しく建てる場合に補助金はある。</p>				
		代替サービス				
	他市町の施設	<p>県が東部圏域として、総数の計画を立てている。近隣だと、伊豆の国市、小山町、沼津市等に養護老人ホームがあり、そこにあき等があれば、現在の入居者を引き受けていただくことが可能。</p>				
民営化	<p>施設規模を考えると、民間の受け手がないと思われる。民間としては、現施設を購入するよりも、新設した方が経済的であると思われる。</p>					
施設改修	<p>ベットが設置できるよう和室から洋室へ変更する。</p>					
対策内容	<p>☆廃止(検討委員会の結論に従い耐用年数終了を迎えるまでは存続)</p> <p>☆廃止までの期間、利用者数の増加を図るため、施設改修を行う。</p>					

【建築物の評価】

名称	本館A			
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)	
	1967(50)	WPC/RC・地上1	996	
管理方針	施設区分	使用終了予定年		
	長寿命化施設	2037		
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期	総合劣化度
	実施時期	残存耐用年数		
	2017	20年	実施しない	17.9
実施方針	<p>☆構造体耐久性調査の結果に従い、残り20年程度使用する。(2037年頃に建物解体予定) ※改修は2013～2014年度に実施済なので、大規模改修は実施しない。</p>			

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	老人福祉センター		
施設所管課	地域包括ケア推進課	施設分類	保健福祉施設
開設年	1983年	総延床面積(㎡)	1,315
目的	高齢者に外出、ふれあいの機会を提供し、生きがいを創出する		
写真			

【サービスの評価】

サービス内容	・浴場、ヘルストロン(電位治療器)、遊技場(カラオケ)の提供(その他、健康相談、講座・クラブ活動) ※定員200名、対象は60歳以上、利用料無料(一部有料)、無料送迎バスあり					
	運営時間	9時00分～16時00分	休館日	毎週日曜日及び国民の祝日及び年末年始		
	駐車台数	48台				
利用状況	主な評価項目					
	年間利用者数(人)				評価	備考
	2015年度	2016年度	2017年度	2016年度(最大時)		
	70,783	71,048	70,927	71,048	A	

利用状況	コメント				
	<ul style="list-style-type: none"> ・老人会の利用については、地区によって曜日が決まっている。 ・老人会とは別に個人での利用も可能。割合は個人の方が多。 ※2017年度総利用者に対する 個人利用割合88% 団体利用割合12%				
	将来予測				
	他に娯楽や居場所があり、また、60歳以上でも働いている方が増えているので、利用希望者は、今後の高齢者増加率ほどの伸びは期待できない。				
コスト	施設運営形態				
	指定管理				
	2017年度 支出(千円)				
	指定管理料		借地料		その他支出
	39,761		9,298		0
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費	評価
	使用料等	その他収入			
	0	0	49,059	0.69	中
立地状況	所在地		地域	都市計画	立地適正化計画
	川原ヶ谷839-1		錦田地域	市街化調整区域	
	周辺駅・バス停				
	老人福祉センターバス停から徒歩0分				
	コメント				
	丘の中腹に立地しているため、バスや自動車での来館者が多い。				
問題点	☆借地をしている。 ☆駐車場が狭い。				
対策の可能性	項目		コメント		
	移転		借地の解消や広い駐車場を整備するために移転することも考えられるが、建物の耐用年数がかなり残っているので難しい。		
	サービス内容の見直し		サービス内容が入浴やカラオケなど、専用の設備が必要となるものなので、設備改修に合わせて利用料金の見直しを検討する。		
	複合化		面積やボイラー等の設備を考えると、他の公共施設に入るのは難しい。		
対策内容	☆現状維持(設備の改修時に合わせて、利用料金制度の導入を検討する)				

【建築物の評価】

名称	本館A		
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)
	1983(34)	RC・地上1	1,315
管理方針	施設区分	使用終了予定年	
	長寿命化施設	2063	
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期
	実施時期	残存耐用年数	
	2023		2023
実施方針	☆2023年頃に構造体耐久性調査を行い、結果に基づき大規模修繕を実施する。		

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	北上高齢者すこやかセンター		
施設所管課	地域包括ケア推進課	施設分類	保健福祉施設
開設年	2002年	総延床面積 (㎡)	208
目的	60歳以上の方の心身の健康保持及び教養の向上を図ることにより、介護を必要とする状態になることを予防し、生きがいを見出すこと		
写真			

【サービスの評価】

サービス内容	・講座開催(生きがい教室。主に、指定管理者職員が講師を務める。)、貸館(作業スペース、軽運動スペース) ※対象は概ね60歳以上					
	運営時間	9時00分～17時00分		休館日	毎週日曜日、国民の祝日及び年末年始	
	駐車台数	0台				
利用状況	主な評価項目					
	年間利用者数(人)				評価	備考
	2015年度	2016年度	2017年度	2015年度(最大時)		
	9,498	9,353	9,090	9,498	A	

利用状況	コメント					
	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の範囲は、幸原、徳倉、萩あたりに限られる。 ・月1回以上利用している登録者数は211名 ・主に、指定管理者のスタッフが講師を務め、毎日、手芸、フラワー教室、体操、フラダンス、囲碁将棋などを行っている。(平成29年度の年間講座開催数は258件) 					
	将来予測					
	他に娯楽や居場所があり、また、60歳以上でも働いている方が増えているので、利用希望者は、今後の高齢者増加率ほどの伸びは期待できない。					
コスト	施設運営形態					
	指定管理					
	2017年度 支出(千円)					
	指定管理料		借地料		その他支出	
	9,164		0		0	
	収入(千円)		年間経費(支出-収入)	一人当たりの経費		評価
	使用料等	その他収入	0	0	9,164	1.01
立地状況	所在地		地域	都市計画	立地適正化計画	
	幸原町2-9-12		北上地域	市街化区域	地域拠点周辺(幸原町・徳倉)	
	周辺駅・バス停					
	徳倉バス停から徒歩7分					
	コメント					
	市境に立地している。					
問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・他の地区では、いきがい教室は学校の空き教室に設置されている。 ・市境に立地している。 					
対策の可能性	項目		コメント			
	複合化		北上小学校の空きスペースで対応できるか検討する。			
対策内容	☆現在の生きがい教室機能を維持し、北上小学校の空き教室に移転する。					

【建築物の評価】

名称	館舎		
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)
	2001(16)	RC・地上2	208
管理方針	施設区分	使用終了予定年	
	一般施設	2029	
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期
	実施時期	残存耐用年数	
	実施しない	/	実施しない
実施方針	☆2029年頃に事業を北上小の空き教室に移転。		

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	高齢者いきがいセンター		
施設所管課	地域包括ケア推進課	施設分類	保健福祉施設
開設年	1999年	総延床面積(m ²)	333
目的	高齢者の就業の促進		
写真			

【サービスの評価】

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の就業に必要な知識及び技能の講習 ・高齢者の就業支援を目的とした貸館(講習室、会議室、研修室) ※利用対象は55才以上				
	運営時間	8時30分～17時15分	休館日	毎週土・日曜日、国民の祝日及び年末年始	
	駐車台数	0台			
利用状況	主な評価項目(2017年度)				
	部屋名称	年間利用者数	年間件数	稼働率	回転率
	研修室	1,277	154	49.6%	21.0%
	講習室	138	135	32.8%	18.4%
	会議室	346	138	39.8%	18.9%
	和室	49	22	8.6%	3.0%
	合計・平均	1,810	449	32.7%	15.3%
	評価				
	C				
	コメント				
<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターの執務スペースがある。 ・講習は、指定管理者としてシルバー人材センターが開催している。 ・貸館について、高齢者の就業支援目的以外には使用できない。 ・利用者数について貸館によるものは58%、講習会によるものは42%。 ・会議室は、入会時の面接などに利用している。 					
将来予測					
今後、高齢者の増加に伴い、対象者は増加するが、定年年齢の延長等により利用者は今後の高齢者増加率ほどの伸びは期待できない。(H18の利用者数は約3,300人)					

コスト	施設運営形態				
	指定管理				
	2017年度 支出(千円)				
	指定管理料		借地料		その他支出
	2,005		0		0
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費	評価
	使用料等	その他収入			
0	0	2,005	1.11	中	
立地状況	所在地		地域	都市計画	立地適正化計画
	大宮町2-3-35		旧市内地域	市街化区域	中心拠点
	周辺駅・バス停				
	三嶋大社前バス停から徒歩5分				
	コメント				
	特になし				
問題点	☆駐車場の数が少ない ☆利用者が少ない ☆就労支援目的にしか利用できない。 ☆シルバー人材センターの執務室は、庁舎内にあった方が、市民の利便性が高いと考えられる。				
対策の可能性	項目	コメント			
	複合化	事務手続きに来る市民の利便性向上を図るため、また会議室を共有化し稼働率の向上を図るため、本庁舎内へ複合化する。			
	運営方法の見直し	利用者数を増加を図るため、就業促進だけでなく、健康相談、地域交流、生涯学習など多目的に利活用できる場に変更する。			
対策内容	☆新庁舎建設に合わせて、本庁舎へ複合化				

【建築物の評価】

名称	本館A		
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)
	1998(19)	S・地上1	333
管理方針	施設区分	使用終了予定年	
	一般施設	2032年(新庁舎建設予定時期)	
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期
	実施時期	残存耐用年数	
	実施しない		実施しない
実施方針	☆2032年頃に本庁舎への複合化後、建物・土地の売却を検討		

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	佐野あゆみの里(本棟)		
施設所管課	障がい福祉課	施設分類	保健福祉施設
開設年	2012年	総延床面積(㎡)	782
目的	日常に介護を必要とする障がい者に対する、自立の促進、生活の改善、身体能力の維持向上		
写真			

【サービスの評価】

サービス内容	主に昼間、排せつや食事の介護等を行うとともに、生活等に関する相談・助言、その他の必要な日常生活上の支援や、生産活動・創作的活動の機会の提供のほか、身体機能や生活能力の向上のために必要な援助				
	運営時間	8時45分～16時00分	休館日	土日・祝日・年末年始	
	駐車台数	10台			
利用状況	主な評価項目(2017年度)				
	定員	入所者数	充足率	評価	備考
	30	30	100.0%	A	利用者一人当たりの面積は26㎡
	コメント				
	<ul style="list-style-type: none"> 生活介護事業所は民間を含めて市内に6事業所ある。 本施設(市立)は、比較的重度の方や民間事業所等では受け入れが困難な方を受け入れている。 福祉避難所として、発災時の市内の情報拠点施設となり、その役割を担っていく必要があり、災害対策ネットワーク会議を毎月開催し、様々な問題を検討している。 就労移行支援事業は、平成27～29年度の利用者がなく、平成29年度末をもって廃止した。 就労移行支援事業は、市内では民間の2事業所が実施している。 				
	将来予測				
人口が減少していくに従い、対象者数も減少していくと考えられる。しかし、特別支援学校等の卒業後の利用先施設として、生活介護施設は増加していないため、利用者の減少は見込めない。					

コスト	施設運営形態					
	直営					
	2017年度 支出(千円)					
	管理委託料	光熱水費	人件費	借地料	その他支出	
	520	1,254	55,666	0	13,332	
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費		評価
	使用料等	その他収入				
	0	53,328	17,444	2.23		中
立地状況	所在地		地域	都市計画	立地適正化計画	
	新谷		中郷地域	市街化区域		
	周辺駅・バス停					
	三島田町駅・二日町駅(伊豆箱根鉄道)、富田町(東海バス)					
	コメント					
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関(循環バスを除く。)から少し遠いが、全体的には送迎しやすい場所である。 ・近くに屋外活動を行える場所として、中郷温水地(公園)がある。 					
問題点	<ul style="list-style-type: none"> ☆直営のため、人件費が高い。 ☆職員の不足(正規職員の減少)、高齢化(若い支援員の希望(応募)が少ない) 					
対策の可能性	項目	コメント				
	運営形態の見直し	業務委託により、コスト削減及びサービス向上の可能性はある。				
	民営化	本施設は、災害時には福祉避難所として市内の情報拠点となるほか、民間の事業所では受け入れが難しいケースに対応するなど、市営としての役割がある。また、難しいケースの方を受け入れる中で、区分によって自立支援給付費が変わる現法制度では、採算性の乏しい経営内容であることを理解し受諾していただくかなくてはならない。				
統合(受入れ)	問題行動等、障がい特性によりスペースを多く必要とする方を受け入れているので、スペースに余裕はないが、佐野あゆみの里南棟で実施している日中一時支援事業を受け入れることは、法的には支援員の業務区分を明確にすることにより可能である。					
対策内容	☆現状維持(業務委託の検討)					

【建築物の評価】

名称	本棟		
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)
	2012(6)	SRC・地上2	782
管理方針	施設区分	使用終了予定年	
	長寿命化施設	2092	
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期
	実施時期	残存耐用年数	
	2052		2052
実施方針	☆予防保全及び随時確認により、適切に管理していく。		

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	佐野あゆみの里(南棟)		
施設所管課	障がい福祉課	施設分類	保健福祉施設
開設年	1969年(設立当初は別用途)	総延床面積(㎡)	437
写真			

【サービスの評価】

<2階部分>

目的	障がい者家族の就労支援及び介護の一時的負担軽減				
サービス内容	日中において看護する者のいない障がい者の方に、活動の場を確保し、見守り等の支援を実施する。				
	運営時間	11時00分～19時00分	休館日	土日・祝日・年末年始	
	駐車台数	2台、佐野あゆみの里本棟駐車場を使用			
利用状況	主な評価項目(2017年度)				
	定員	登録者数	充足率	評価	備考
	12	12	100.0%	A	利用者一人当たり面積は18㎡

利用状況	コメント					
	佐野あゆみの里や日中活動支援事業所の利用者及び事業所利用の困難な方(在宅等)が利用。					
	将来予測					
	女性の就労率の増加や、障がいの多様化により今後も希望者は増えると考えられる。					
コスト	施設運営形態					
	直営					
	2017年度 支出(千円)					
	管理委託料	光熱水費	人件費	借地料	その他支出	
	172	637	8,053	0	1,806	
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費		評価
	使用料等	その他収入				
	0	1,806	8,862	2.83		高
立地状況	所在地		地域	都市計画	立地適正化計画	
	新谷		中郷地区	市街化区域		
	周辺駅・バス停					
	三島田町駅・二日町駅(伊豆箱根鉄道)、富田町(東海バス)					
	コメント					
	・公共交通機関(循環バスを除く。)から少し遠いが、全体的には送迎しやすい場所である。					
問題点	<p>☆建物の構造上、エレベータや昇降機がなく、設備にも問題があるため、障がいの程度によっては利用できない。</p> <p>☆定員数が12人と少ないが、定員数を増やすと支援員も増やさなくてはならない。これに伴い、コストがかかる。</p>					
対策の可能性	項目	コメント				
	廃止	市内外の23事業所で、日中一時支援事業を実施しているので、他の事業所で受け入れてもらう				
	統合	佐野あゆみの里本棟へ統合。本棟には、スペースを多く必要とする方が多くスペース的に余裕はないが、法的には支援員の業務区分を明確にすることにより可能である。				
対策内容	☆廃止(代替として、市内外の福祉事業所で受け入れてもらう)					

<1階部分>

目的	共生社会の強化				
サービス内容	地域交流室として使用				
利用状況	主な評価項目(2017年度)				
	部屋名称	年間利用者数	年間件数	稼働率	回転率
	地域交流室 (佐野あゆみの里南棟1階)	3,120人	227件	42.5%	20.7%
	評価				
	C				
	コメント				
	・利用の内訳について、佐野あゆみの里や地域の方、他の福祉サービス事業所保護者会等福祉関係者が利用している。				
コスト	光熱水費は市が負担している。				
問題点	☆地域交流室なので、地域の方や福祉団体にも利用していただいているが、あゆみの里利用者との交流事業実施による利用率が低い。				
対策の可能性	項目	コメント			
	廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流室の機能は、佐野あゆみの里本棟一階多目的室に移す。 ・福祉団体の利用については、佐野あゆみの里本棟、「おんすいち作業所」や「えがお」、社会福祉会館などの施設を利用してもらう。 			
対策内容	☆廃止				

【建築物の評価】

名称	南棟				
基本情報	建築年(築年数)	構造		面積(m ²)	
	1969(50)	SRC・地上2		437	
管理方針	施設区分	使用終了予定年			
	一般施設	2025			
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期	総合劣化度	
	実施時期	残存耐用年数			
	実施しない		実施しない	56.1	
実施方針	<p>☆2025年頃を目途に事業を廃止し、建物を解体。(老朽化が進んでいるので、できる限り早く)、 ☆土地について、新谷自治会が希望するのであれば、公民館用地として無償貸し付け。(希望しない場合は売却)</p>				

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	さわじ作業所		
施設所管課	障がい福祉課	施設分類	保健福祉施設
開設年	1997年	総延床面積 (㎡)	188
目的	障害者総合支援法による障害福祉サービス(就労継続支援B型)の提供		
写真			

【サービスの評価】

サービス内容	一般企業等で雇用されることが困難な障がいのある人のために、働く場を提供するとともに、就労に必要な知識及び能力の向上のための訓練を実施				
	運営時間	8時45分～15時50分	休館日	土曜日、日曜日、祝祭日	
	駐車台数	0台			
利用状況	主な評価項目(2017年度)				
	定員	入所者数	充足率	評価	備考
	20	24	120.0%	A	利用者一人当たり面積は8㎡
	コメント				
	<ul style="list-style-type: none"> ・就労移行支援事業は、市内では民間の2事業所が実施している。 ・スペースがかなり手狭であったため、別棟を建設及び改修し、利用者の使用スペースを広げた。(H30年3月 社会福祉協議会による) 				
	将来予測				
対象となる障がい者は増加傾向にあるが、民間施設も増加しているため利用は横ばいと考えられる。					

コスト	施設運営形態				
	社会福祉協議会が運営している				
	2017年度 支出(千円)				
	指定管理料		借地料		その他支出
	0		1,032		0
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費	評価
	使用料等	その他収入			
0	0	1,032			
立地状況	所在地		地域	都市計画	立地適正化計画
	沢地246-11		北上地域	市街化調整区域	
	周辺駅・バス停				
	沢地小学校前バス停から徒歩3分				
	コメント				
地区のイベント(お祭りなど)に参加するなど、地域に根付いている。					
問題点	☆運営に問題なし ☆借地をしている				
対策の可能性	項目		コメント		
	民営化(建物について)		実際に事業を運営している社会福祉協議会に建物を所有・管理してもらう方が合理的である		
対策内容	☆社会福祉協議会に売却等				

【建築物の評価】

名称	本棟			
基本情報	建築年(築年数)		構造	面積(m ²)
	1997(21)		S・地上1	188
管理方針	施設区分		使用終了予定年	
	一般施設		2057	
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期	総合劣化度
	実施時期	残存耐用年数		
	実施しない		社会福祉協議会の方針による	38.5
実施方針	☆2026年度までに社会福祉協議会へ売却等			

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	指定生活介護事業所 おんすいち		
施設所管課	障がい福祉課	施設分類	保健福祉施設
開設年	2006年	総延床面積(㎡)	192
目的	障害者総合支援法による障害福祉サービス(生活介護)の提供		
写真	  		

【サービスの評価】

サービス内容	常に介護を必要としている方に、日中、食事や排せつの介護を行うとともに、創作活動、生産活動の機会を提供				
	運営時間	8時45分～15時50分	休館日	土曜日、日曜日、祝祭日	
	駐車台数	0台			
利用状況	主な評価項目(2017年度)				
	定員	入所者数	充足率	評価	備考
	20	21	105.0%	A	利用者一人当たり面積は9㎡

利用状況	コメント				
	<ul style="list-style-type: none"> ・スペースがかなり手狭であったため、別棟を建設及び改修し、利用者の使用スペースを広げた。(H30年4月 社会福祉協議会による) ・生活介護事業所は市内に5事業所。特別支援学校高等部を卒業した後、就労等が難しい卒業生等の受け皿がまだまだ不足している。 				
	将来予測				
	対象となる障がい者は増加しているが、生活介護事業所は増加していないので、利用希望は増加していくと考えられる。				
コスト	施設運営形態				
	社会福祉協議会が運営している				
	2017年度 支出(千円)				
	指定管理料		借地料		その他支出
	0		0		0
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費	評価
	使用料等	その他収入			
0	0	0			
立地状況	所在地		地域	都市計画	立地適正化計画
	富田町3-19		旧市内地域	市街化調整区域	
	周辺駅・バス停				
	玉川バス停から徒歩5分				
	コメント				
	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場が狭く、保護者の送迎車が駐車できるスペースがほとんどない。 ・近くに屋外活動を行える場所として、中郷温水池(公園)がある。 ・地区のイベント(お祭りなど)に参加するなど、地域に根付いている。 				
問題点	☆問題なし				
対策の可能性	項目		コメント		
	民営化(建物について)		実際に事業を運営している社会福祉協議会に建物を所有・管理してもらう方が合理的である		
対策内容	☆社会福祉協議会に売却等				

【建築物の評価】

名称	本棟			
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)	
	2006(12)	S・地上1	192	
管理方針	施設区分	使用終了予定年		
	一般施設	2066		
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期	総合劣化度
	実施時期	残存耐用年数		
	実施しない		社会福祉協議会の方針による	18.9
実施方針	☆2026年度までに社会福祉協議会へ売却等			

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	保健センター		
施設所管課	健康づくり課	施設分類	保健福祉施設
開設年	1987年	総延床面積(m ²)	1,620
目的	<ul style="list-style-type: none"> 健康増進(健康相談、健康教育、健康診査、感染症予防対策等、地域保健に係る事業。) 大規模災害発生時には各救護所、各災害拠点病院、救護病院・医院との連絡調整を行う医療対策本部が設置される。 		
写真			

【市民サービスの評価】

サービス内容	受付窓口、執務室、書庫			
	運営時間	8時30分～17時15分	休館日	毎週土・日曜日、祝日及び年末年始
利用状況	主な評価項目(2017年度)			
	受付窓口	受付件数(人/日)		備考
		17.46		
	執務室	職員数(人)	1人あたりの床面積(m ²)	評価
38		43	C(過大)	

利用状況	コメント					
	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種の予診票発行、健康診査の手続き、母子手帳の交付など多くの窓口業務がある。 ・複合施設として三島食品衛生協会と一般社団法人歯科医師会の事務所が入っている。 ・妊婦や乳幼児の転入があった場合、本庁舎で手続き後、保健センターで妊婦検診受診券や予防接種予診票の発行が必要となる。また不妊治療の申請をする場合、戸籍謄本や納税証明書が必要なため、本庁舎での発行して、再度保健センターでの手続きとなる。 ・本館は、東部保健所から譲り受けた建物であり、保健センターとして建築されたものではないので、使い勝手が悪い。(2棟に分かれている。小さい部屋がたくさんある等。) ・過去に所管していた犬や猫に関する手続きに市民が間違えて来館することがある。 ・保健センターに馴染みのない市民は本庁舎にあるものと思い込んでいることがある。 					
	将来予測					
	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化により、子どもに関する手続き数は減り、高齢者に関する手続き数は増えると考えられる。 ・職員数は、人口減少に伴い、減少していくと考えられる。 					
コスト	施設運営形態					
	直営					
	2017年度 支出(千円)					
	管理委託料	光熱水費	人件費	借地料	その他支出	
	2,320	2,278	5,513	0	0	
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費		評価
	使用料等	その他収入				
252	80	9,779				
立地状況	所在地		地域	都市計画	立地適正化計画	
	南二日町8-35		旧市内地域	市街化区域	中心拠点	
	周辺駅・バス停					
	南二日町駅から徒歩1分					
	コメント					
	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の健診など、利用者は子供連れで来る機会が多いので、周辺道路には歩道が整備されていることが望ましいが、南二日町駅から本施設までの区間は歩道が整備されていない。 ・近くに工場があり、悪臭がする。 					
問題点	<ul style="list-style-type: none"> ☆本庁舎と離れているため、各種手続き場所が分散し、移動などの不便が生じることから、市民サービスの低下となる。 ☆災害発生時に設置される医療対策本部が災害対策本部と離れている。 ☆周辺の歩道が整備されておらず、利用者に不便を掛けている。 ☆スペース的に、余裕がある。 					
対策の可能性	項目	コメント				
	複合化	市民の利便性向上及び事務の効率化を図るため、本庁舎内へ複合化				
	複合化(受入れ)	スペースを有効利用するため、空いているスペースに他の公共施設を受入れ				
対策内容	☆新庁舎建設に合わせて、本庁舎へ複合化					

サービス内容	健康相談、健康診査、イベント及び講座等の開催(会議室、ホールなど) ※会議室等の一般への貸し出しはしていない。				
	駐車台数	32台			
利用状況	主な評価項目(2014年度)				
	部屋名称	年間利用者数	年間件数	稼働率	回転率
	母子手帳交付室	809	188	51.5%	17.2%
	大会議室	1,153	66	18.1%	6.0%
	フロア・和室・歯科指導室	13,283	179	49.0%	16.3%
	会議室	679	31	8.5%	2.8%
	調理室	1,449	42	11.5%	3.8%
	和室	47	11	3.0%	1.0%
	フロア	355	56	15.3%	5.1%
	合計・平均	17,775	573	22.4%	7.5%
	評価				
	C				
	コメント				
	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場は32台分あるが、健診などの時は足りず、南二日町グラウンドの駐車場を借りている。グラウンドから保健センターまでの道が狭く危険であり、利用者に迷惑を掛けている。(駐車場の必要台数は60台分程度) ・フロア(ホール)は、母子健診、各種イベント・講演会などで利用している。 ・高齢化が進むことを考えると、疾病及び介護予防のためには食と運動をキーワードとした健康づくりをより身近で受けられる体制も必要であり、運動場や体育館、調理室などが備わっている学校等を保健センターの分室として利用することも検討する必要がある。 				
将来予測					
・少子高齢化により、イベントの参加者数は、子どもに関するものは減り、高齢者に関するものは増えると考えられる。					
問題点	<ul style="list-style-type: none"> ☆駐車場が不足している ☆会議室等の利用率が低い ☆高齢化社会に対応するため、地域に密着した健康づくりの体制が必要 				
対策の可能性	項目	コメント			
	複合化	会議室等の稼働率向上及び駐車場不足の解消を図るため、本庁舎へ複合化し、会議室等や駐車場を共有			
	複合化	地域に密着した体制づくりとして、中学校の空いた教室に分室を作る			
	サービス内容の見直し	会議室等の稼働率向上のため、一般の方へ貸出し			
サービス内容の見直し	駐車場不足に対応するため、イベント等を他の公共施設等で開催				
対策内容	<ul style="list-style-type: none"> ☆新庁舎建設に合わせて、本庁舎へ複合化 ☆中学校の空きスペースを活用して分室を作れないか検討 				

【建築物の評価】

名称	保健センターA(東館)		
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)
	1986(31)	RC・地上2	819
管理方針	施設区分	使用予定年度	
	一般施設	2067年	
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期
	実施時期	残存耐用年数	
	2032		2032
実施方針	☆2031年頃に新庁舎へ複合化後、別用途(本町センター機能)として利用予定。この移動に伴い、大規模改修を行う。		

名称	保健センターB(西館)		
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)
	1987(30)	RC・地上2	800
管理方針	施設区分	使用予定年度	
	一般施設	2031年(新庁舎建設予定時期)	
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期
	実施時期	残存耐用年数	
	実施しない		実施しない
実施方針	2031年頃に新庁舎に複合化したのち、建物は解体し、解体後の土地に本町センター機能施設のための駐車場整備を検討		

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	社会福祉会館		
施設所管課	福祉総務課	施設分類	保健福祉施設
開設年	1974年	総延床面積 (㎡)	1,174
目的	社会福祉事業の振興と市民の福祉活動の育成発展		
写真	 		

【サービスの評価】

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> 福祉の振興を目的とした貸館(講習室、会議室、研修室) ※無料 地域福祉全般の相談対応(指定管理者である社会福祉協議会が実施) 				
	運営時間	9時～21時	休館日	祝日及び12月29日から翌1月3日	
	駐車台数	3台			
利用状況	主な評価項目(2017年度)				
	部屋名称	年間利用者数	年間件数	稼働率	回転率
	和室	1,423	170	-	16.4%
	第2会議室	1,829	251	-	24.3%
	ボランティアセンター	988	121	-	11.7%
	第1会議室	4,605	287	-	27.7%
	訓練室	1,599	159	-	15.4%
	大会議室	13,817	390	-	37.7%
	合計・平均	24,261	1378	-	22.2%
	相談窓口	年間相談件数		備考	
	1,379件				
評価					
C					

利用状況	コメント					
	<p>【貸館】</p> <ul style="list-style-type: none"> 貸出しは福祉団体が優先となる。 大会議室の利用内訳は、市役所関係が103件・5,314人、市役所に事務局がある団体が35件・1,651人 ボランティアセンターは、登録されている福祉系のボランティア団体(20~30団体)の活動場所及び備品置き場として利用されている。(ボランティア活動の準備、手芸、広報みしまの音読録音など。) 団体事務室は、民生委員、日赤、保護司会などの団体の作業場所及び荷物置き場として利用されている。 <p>【相談対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会福祉協議会の執務スペースがある。 身体障害者福祉会が障害者相談窓口を開設している。 社会福祉会館(社会福祉協議会)に設置している相談窓口は、行政の福祉サービスでは対応できない事項の相談対応を任せており、利用者にそのまま社会福祉会館にいつでもらう場合もあるので、庁舎に近接もしくは複合化されていた方が利便性が高い。 <p>【介護保険サービス】</p> <p>3階では、社会福祉協議会が介護保険などの収益サービスを行っている。</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> この建物に法的な設置義務はない 					
	将来予測					
	人口の減少に伴い、利用者も減少していくと考えられる。					
コスト	施設運営形態					
	指定管理					
	2017年度 支出(千円)					
	指定管理料		借地料		その他支出	
	16,924		0		1,199	
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費		評価
	使用料等	その他収入				
	293	154	17,676	0.73		中
立地状況	所在地		地域	都市計画	立地適正化計画	
	南本町20-30		旧市内地域	市街化区域	中心拠点	
	周辺駅・バス停					
	三島田町駅から徒歩5分					
	コメント					
	特になし					
問題点	<p>☆本庁舎と離れており、市民の利便性が低い。</p> <p>☆利用率が低い。</p> <p>☆利用者用の駐車場がほとんどない。</p>					
対策の可能性	項目	コメント				
	複合化	市民の利便性向上を図るため、また会議室を共有化することにより利用率の向上を図るため、本庁舎内へ複合化				
対策内容	☆貸館事業を整理・縮小の上、本庁舎へ複合化					

【建築物の評価】

名称	館舎		
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)
	1973(44)	RC・地上4	1174
管理方針	施設区分	使用終了予定年	
	一般施設	2031年(新庁舎建設予定時期)	
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期
	実施時期	残存耐用年数	
	実施しない		実施しない
実施方針	☆☆2031年頃に新庁舎に複合化したのち、建物を解体上、土地を売却		

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	生涯学習センター		
施設所管課	生涯学習課	施設分類	生涯学習関連施設
開設年	1997年	総延床面積 (㎡)	14,138
目的	地域の生涯学習の推進、地域のコミュニティづくり並びに教養文化活動等の活性化		
写真			

【サービスの評価】

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・貸館（講義室、会議室、ホール、ギャラリー、音楽室、美術室、パソコン室、料理教室） ・各種講座の開催 ・児童センター（遊戯室・軽運動室） ・図書館（貸本、閲覧、学習スペース） ・青少年相談 			
	運営時間	9時～21時	休館日	月曜日・年末年始
	駐車台数	116台		

主な評価項目(2017年度)					
利用状況	部屋名称	年間利用者数	年間件数	稼働率	回転率
	講義室	27,276	239	77.9%	51.4%
	多目的ホール	18,220	261	85.0%	56.4%
	市民ギャラリー	26,016	185	60.3%	53.0%
	第1研修室	4,535	275	89.6%	59.7%
	第2研修室	4,203	271	88.3%	56.4%
	第3研修室	3,654	267	87.0%	57.9%
	第4研修室	6,998	249	81.1%	49.9%
	和室	3,755	203	66.1%	37.8%
	外国語パソコン教室	5,466	262	85.3%	47.6%
	料理講習室	4,724	195	63.5%	32.2%
	美術室	7,507	278	90.6%	59.7%
	手芸室	6,884	275	89.6%	59.2%
	音楽室	7,185	300	97.7%	74.3%
	講師控室(4室)	1,549			
	合計・平均	127,972	3,260	81.7%	53.5%
	評価				
A					
図書館 受付窓口 (2017年度)		年間受付件数	運営日数	件数(人/日)	備考
		404,239	285	1418.38	入館者数と開館日
児童センター	年間利用件数(件)				評価
	2015年度	2016年度	2017年度	2004年度 (最大時)	
	53,083	51,993	48,548	55,145	A

利用状況	コメント					
	<ul style="list-style-type: none"> ・複合施設となっている ・主な利用状況 講義室・多目的ホール:発表会等の学習イベント 音楽室:防音で夜間利用が多い。若者やしゃぎりの練習で主に利用されている。 5階研修室等:生涯学習団体が学習活動の場所として利用されている。 和室・料理講習室:飲食が可能のため昼食場所に使われることもある ・児童センターは、保護者同伴で、一時預かりは実施していない。 ・屋外立体駐車場について、平成26年度の利用台数は13万8,514台で地下の駐車場の稼働時期の平成22年度と対比すると136%増加している。 ・地下の駐車場跡地を倉庫として利用するためには、設備の撤去や改修に約1億9千万円の経費が掛かる。 					
	将来予測					
	<ul style="list-style-type: none"> ・人口の減少に伴い、利用者も減少していくと考えられる。 ・図書館の蔵書を保管するためのスペースが増加していく。 					
コスト	施設運営形態					
	直営					
	2017年度 支出(千円)					
	管理委託料	光熱水費	人件費	借地料	その他支出	
	43,466	24,855	43,345	5,215	14,703	
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費		評価
	使用料等	その他収入				
13,306	1551	116,727	0.66		中	
立地状況	所在地		地域	都市計画	立地適正化計画	
	大宮町1-8-38		旧市内地域	市街化区域	中心拠点	
	周辺駅・バス停					
	三島駅南口から徒歩約 7分					
	コメント					
	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館など、市全域から多くの人が訪れる施設なので、市の中心地域で交通の便が良いところに立地していることが望ましい、現在地は、街の中心地域にあり、三島駅南口から徒歩約 7分と好立地である。但し、自動車については主要道に面していないので、多少利便性が悪い。 ・多くの人が訪れる施設であるため、周辺(商店街や飲食店など)の賑わいに寄与している。 					
問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・地下駐車場が未利用状態である。(改修費が高額なので利用にあたっては費用対効果を検討する必要がある) ・借地をしている。 ・図書館について、蔵書が年々増えていくので、保管スペースが足りなくなってきている。 					

	項目	コメント
対策の可能性	移動	図書は、他の公共施設の空きスペース(廃園になった幼稚園の建物など)へ移動
	統合・複合化(受け入れ)	地下駐車場を改修して倉庫として利用(利用団体の荷物置き場、コミュニティセンターの防災備蓄品や埋蔵文化財など)
	運営形態の見直し	コストの削減を図るため、指定管理者制度を導入したいが、三島市の生涯学習事業を遂行する上で、生涯学習主管課がセンターの運営(貸室利用等)をする必要がある。
	移転	現在地は利便性の良く、また立地適正化計画の中心拠点にあるので、借地を解消する目的だけで移転するのは難しい。
対策内容	☆現状維持 ☆地下駐車場跡地の活用について、倉庫を主に費用対効果の面から検討(2025年頃までに)	

【建築物の評価】

名称	本館A			
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)	
	1996(21)	SRC・地上5地下1	12,001	
管理方針	施設区分	使用終了予定年		
	長寿命化施設	2076		
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期	総合劣化度
	実施時期	残存耐用年数		
	2036		2036	54.9
実施方針	☆2036年頃に構造体耐久性調査を行い、結果に基づき大規模改修を行う。			

名称	屋外立体駐車場			
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)	
	2012(5)	RC・地上2	2,157	
管理方針	施設区分	使用終了予定年		
	長寿命化施設	2092		
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期	総合劣化度
	実施時期	残存耐用年数		
	2052		2052	10
実施方針	☆予防保全により、適切に管理していく。			

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	中郷文化プラザ		
施設所管課	生涯学習課	施設分類	生涯学習関連施設
開設年	1996年	総延床面積(㎡)	1,774
目的	地域の生涯学習の推進ならび地域のコミュニティづくり		
写真	  		

【サービスの評価】

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・貸館(講堂、和室、調理室)、各種講座の開催 ・市民サービスコーナー(行政手続きの受付窓口) ・図書館中郷分館 ・子育て交流室(親子で遊ぶ場所):H29年度に視聴覚室を改修 			
	運営時間	9時～21時 (日・祝日は17時まで)	休館日	毎週月曜日および年末年始
	駐車台数	78台		

主な評価項目(2017年度)					
部屋名称	年間利用者数	年間件数	稼働率	回転率	
視聴覚室	873	33	7.9%	3.9%	
会議室	3,744	258	52.5%	30.3%	
展示コーナー	8,445	350	70.1%	41.1%	
多目的ホール	19,978	694	92.9%	81.6%	
調理室	3,486	262	46.3%	30.8%	
実習室	3,796	255	58.7%	30.0%	
和室	3,726	223	50.5%	26.2%	
合計・平均	44,048	2,075	54.1%	34.8%	
評価					
B					
市民サービスコーナー 受付窓口 (2017年度)	年間受付件数	運営日数	件数(人/日)	備考	
	8,324	243	34.26	市民課6,643件 課税課1,681件	
図書館 受付窓口 (2017年度)	年間受付件数	運営日数	件数(人/日)	備考	
	31,041	291	106.67		
子育て交流室	年間利用件数(件)				評価
	2015年度	2016年度	2017年度	〇〇年度 (最大時)	
備考					
2017.3.17から児童遊戯室を子育て支援交流室へ用途変更					
コメント					
<ul style="list-style-type: none"> ・主な利用団体としては、中郷公民館女性学級・成人教室・少年教室、一般自主サークル、町内会、青少年団体、学校PTAなどがある。 ・高齢者、子供、女性グループのサークル活動の拠点として支援育成し、地域コミュニティの活性化を推進することを目的とする。 ・全体的な利用者数は、主な利用団体の高齢化に伴い、ここ数年減少傾向。 					
将来予測					
<ul style="list-style-type: none"> ・人口の減少に伴い、利用者も減少していくと考えられる。 ・図書館の蔵書を保管するためのスペースが増加していく。 					

コスト	施設運営形態				
	直営				
	2017年度 支出(千円)				
	管理委託料	光熱水費	人件費	借地料	その他支出
	3,325	3,906	38,098	14,938	0
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費	評価
	使用料等	その他収入			
98	12	60,157	0.72	中	
立地状況	所在地		地域	都市計画	立地適正化計画
	梅名353-1		中郷地域	市街化調整区域	
	周辺駅・バス停				
	大場駅から車で8分、徒歩20分				
	コメント				
・中郷地域の地域拠点に立地していることが望ましいが、多少、西に外れている。					
問題点	☆借地をしている(借地期限H36.7.14まで)				
対策の可能性	項目		コメント		
	複合化		学校への複合化については、現在複合施設であることと、駐車場の需要が増加していること、この2点から面積的に難しい。		
	移転		借地をしており、また現在地は立地適正化計画の地域拠点内ではないので、建替え時に移転を検討する		
対策内容	☆現状維持 ☆建替え時には、移転を検討する。(建替え予定時期は本計画期間外)				

【建築物の評価】

名称	本館A				
基本情報	建築年(築年数)		構造	面積(m ²)	
	1996(21)		RC・地上2	1,774	
管理方針	施設区分		使用終了予定年		
	長寿命化施設		2076		
調査	構造体耐久性調査			大規模改修実施時期	総合劣化度
	実施時期	残存耐用年数			
	2036			2036	23.7
実施方針	☆2036年頃に構造体耐久性調査を行い、結果に基づき大規模改修を行う。				

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	北上文化プラザ		
施設所管課	生涯学習課	施設分類	生涯学習関連施設
開設年	2007年	総延床面積 (㎡)	1,815
目的	地域の生涯学習の推進ならび地域のコミュニティづくり		
写真	  		

【サービスの評価】

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> 貸館(多目的ホール、和室、調理室、実習室、研修室)、各種講座の開催 市民サービスコーナー(行政手続きの受付窓口) 図書室(兼団体打ち合わせスペース) 子育て交流室(親子で遊ぶ場所) ホール(展示コーナー) 			
	運営時間	8時30～21時 (月曜日・祝日は9時～17時)	休館日	毎週日曜日及び年末年始
	駐車台数	95台		

主な評価項目(2017年度)					
部屋名称	年間利用者数	年間件数	稼働率	回転率	
実習室	5,179	350	72.1%	40.4%	
調理室	2,601	212	45.5%	24.1%	
研修室1	3,068	241	63.1%	27.1%	
研修室2	6,199	474	87.5%	53.7%	
研修室3	4,807	340	70.8%	38.9%	
研修室4	2,609	269	58.7%	30.8%	
和室1	1,907	170	45.2%	20.1%	
和室2	1,906	170	45.2%	19.6%	
和室3	867	90	22.4%	10.6%	
多目的ホール	18,905	859	97.4%	96.2%	
合計・平均	48,048	3,175	60.8%	36.1%	
評価					
B					
市民サービスコーナー 受付窓口 (2017年度)	年間受付件数	運営日数	件数(人/日)	備考	
	7,140	293	24.37	住民票9,334件 税証明1,732件	
子育て交流室	年間利用件数(件)				評価
	2015年度	2016年度	2017年度	2013年度 (最大時)	
	7,371	7,250	5,169	8,253	C
コメント					
<ul style="list-style-type: none"> ・多目的ホールは、卓球、ダンス、体操などの軽運動や合唱などの場として利用されている。 ・その他の部屋は、会議、打合せ、着付け、手芸、ハーモニカ、ギター、ヨガ、大正琴、絵画・書道、料理などで利用されている。 ・主な利用団体は、自主サークルと公民館主催講座が多く、学校PTAや町内会等も利用している。 ・全体的な利用者数は、ここ数年減少傾向。 					
将来予測					
高齢化率は上昇傾向ではあるが、人口の減少に伴い、利用者も減少していくと考えられる。					

利用状況

コスト	施設運営形態				
	直営				
	2017年度 支出(千円)				
	管理委託料	光熱水費	人件費	借地料	その他支出
	2,803	1,649	20,528	13,388	0
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費	評価
	使用料等	その他収入			
41	6	38,321	0.63	中	
立地状況	所在地		地域	都市計画	立地適正化計画
	萩312		北上地域	市街化区域	地域拠点(三島萩IC周辺)
	周辺駅・バス停				
	萩芙蓉台バス停から徒歩5分、北上文化プラザ着(きたうえ号)				
	コメント				
・北上地域の地域拠点に立地している。					
問題点	☆和室の利用率が低い ☆借地をしている				
対策の可能性	項目	コメント			
	複合化	学校への複合化については、面積的に難しい			
	複合化(受け入れ)	利用率の低い和室3に他の市民サービスを受入れることについては、受け入れ可能な市民サービスが考えにくい。			
	移転	借地をしているので、建て替え時に移転することも考えられる。一方で、現在地は立地適正化計画の地域拠点内であり、公民館の立地に適していると考えられる。			
対策内容	☆現状維持				

【建築物の評価】

名称	本館		
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)
	1996(21)	RC・地上2	1,536
管理方針	施設区分	使用終了予定年	
	長寿命化施設	2076	
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期
	実施時期	残存耐用年数	
	2036		2036
実施方針	☆2036年頃に構造体耐久性調査を行い、結果に基づき大規模改修を行う。		

名称	多目的ホール		
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)
	2007(10)	RC・地上2	278
管理方針	施設区分	使用終了予定年	
	長寿命化施設	2087	
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期
	実施時期	残存耐用年数	
	2047		2047
実施方針	☆2047年頃に構造体耐久性調査を行い、結果に基づき大規模改修を行う。		

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	錦田公民館		
施設所管課	生涯学習課	施設分類	生涯学習関連施設
開設年	1981年	総延床面積 (㎡)	557
目的	地域の生涯学習の推進ならび地域のコミュニティづくり		
写真	 		

【サービスの評価】

サービス内容	貸館（講堂、和室、調理室等）、各種講座の開催				
	運営時間	9時～21時 (月曜日、祝日は17時まで)	休館日	毎週日曜日・年末年始	
	駐車台数	36台			
利用状況	主な評価項目 (2017年度)				
	部屋名称	年間利用者数	年間件数	稼働率	回転率
	和室	9,620	437	84.9%	50.1%
	調理室	1,773	191	44.2%	21.9%
	図書室	4,508	404	75.6%	46.3%
	児童室	326	36	8.7%	4.1%
	東和室	1,225	151	36.9%	17.3%
	講堂	9,573	507	88.8%	58.1%
	合計・平均	27,025	1,726	56.5%	33.0%
	評価				B

利用状況	コメント					
	<ul style="list-style-type: none"> ・主な利用団体は、女性学級、成人教室、自主サークル、自治会。利用目的は生涯学習の実践、地域コミュニティづくり。 ・和室は、囲碁、会議、着付け、茶道、ヨガ、ハーモニカなどで利用 ・講堂は、ホールや会議室として利用 ・全体的な利用者数は、ここ数年横ばい。 ・駐車場が足りないとの苦情が寄せられている。 					
	将来予測					
	人口の減少に伴い、利用者も減少していくと考えられる。					
コスト	施設運営形態					
	直営					
	2017年度 支出(千円)					
	管理委託料	光熱水費	人件費	借地料	その他支出	
	2,220	749	9,688	4,617	0	
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費		評価
	使用料等	その他収入				
0	0	17,274	0.64		中	
立地状況	所在地		地域	都市計画	立地適正化計画	
	谷田(並木)973-1		錦田地域	市街化調整区域	地域拠点(谷田玉沢線周辺)	
	周辺駅・バス停					
	並木町バス亭から徒歩1分					
	コメント					
	・錦田地域の地域拠点に立地している。					
問題点	<ul style="list-style-type: none"> ☆稼働率の低い部屋がある。 ☆借地をしている。 					
対策の可能性	項目	コメント				
	複合化	面積的には、錦田小学校及び錦田中学校への複合化が可能と考えられるが、4地区のバランスを考えると、公民館の建物を廃止してしまうことは難しい。				
	現状維持(改修)	男子トイレと身障者用トイレの洗浄便器の導入や和室の利便性向上により利用率の向上を図る。				
	複合化(受け入れ)	稼働率の低い部屋に他の市民サービスを受入れる。(子育て交流室など)				
移転	借地をしているので、建て替え時に移転することも考えられるが、現在地は立地適正化計画の地域拠点内であり、また小学校の隣で、コミュニティの中心にあるので、公民館の立地に適していると考えられる。					

対策内容	☆現状維持 ・男子トイレと身障者用トイレの改修及び和室の利便性向上により稼働率の向上を図る。
------	---

【建築物の評価】

名称	公民館			
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)	
	1980(38)	RC・地上2階	557	
管理方針	施設区分	使用終了予定年		
	長寿命化施設	2060		
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期	総合劣化度
	実施時期	残存耐用年数		
	5年以内		5年以内	11.3
実施方針	☆5年以内に構造体耐久性調査を行い、結果に基づき大規模改修を行う。 ※屋根や外壁の改修は実施済なので、トイレや内装、設備について行う。			

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	坂公民館		
施設所管課	生涯学習課	施設分類	生涯学習関連施設
開設年	1975年	総延床面積 (㎡)	552
目的	地域の生涯学習の推進ならび地域のコミュニティづくり		
写真			

【サービスの評価】

サービス内容	貸館 (講堂、和室、調理室、実習室、地域交流室)、各種講座の開催			
	運営時間	9時～21時 (月・祝日は17時まで)	休館日	毎週日曜日および年末年始
	駐車台数	40台		

利用状況	主な評価項目(2017年度)				
	部屋名称	年間利用者数	年間件数	稼働率	回転率
	実習室	2,943	115	30.1%	12.6%
	会議室	2,807	198	45.8%	21.7%
	地域交流室	284	52	14.1%	5.7%
	調理室	2,493	135	28.5%	14.8%
	講堂	4,698	412	78.8%	45.2%
	合計・平均	13,225	912	39.5%	20.0%
	評価				
	C				
	コメント				
	<ul style="list-style-type: none"> ・坂地区、約600世帯、1,400人余りを対象とした施設だが、近年は坂地区以外の利用者もある。利用者の8割が市街地の人。周辺の町内会は自前の公民館があるので、あまり利用していない。 ・児童室については、講堂利用者の控室として使用しており、原則として貸し出しはしていない。 ・利用団体は生涯学級、自主サークル、自治会、青少年団体、小学校・幼稚園のPTAなど。 				
	将来予測				
	人口の減少に伴い、利用者も減少していくと考えられる。				
コスト	施設運営形態				
	直営				
	2017年度 支出(千円)				
	管理委託料	光熱水費	人件費	借地料	その他支出
	2,364	673	4,070	0	0
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費	評価
	使用料等	その他収入			
	0	2	7,105	0.54	中
立地状況	所在地		地域	都市計画	立地適正化計画
	三ツ谷新田125		錦田地域	市街化調整区域	
	周辺駅・バス停				
	坂小学校前バス停から徒歩2分				
	コメント				
	・坂地域の中心に立地している。(学校、幼稚園とまとまって立地している。)				
問題点	☆全体的に利用率が低い(地元の方の利用が少ない)				

	項目	コメント
対策の可能性	廃止	以下の理由により廃止は難しい。 ・地域の文化活動の維持及び発展の拠点であり、坂地区の連携、団結の象徴となっている。 ・錦田地区には文化プラザがないが、錦田公民館と坂公民館の2つがあることで地区間のバランスが取れている。
	複合化	坂小学校の面積は小さい(体育館を除くと約2,000㎡)ので、複合化は難しい。
	複合化(受入れ)	全体的に利用率が低いので、複合化の受け入れが可能と思われる。
対策内容	☆現状維持	

【建築物の評価】

名称	公民館			
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(㎡)	
	1974(44)	RC・地上2	454	
管理方針	施設区分	使用終了予定年		
	長寿命化施設	2054		
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期	総合劣化度
	実施時期	残存耐用年数		
	2017	20年以上	5年以内	22.6
実施方針	☆5年以内を目途に大規模改修を実施 ☆2037年頃に、構造体耐久性調査を再度実施予定			

名称	調理室			
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(㎡)	
	1990(28)	S・地上1	99	
管理方針	施設区分	使用終了予定年		
	一般施設	2050		
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期	総合劣化度
	実施時期	残存耐用年数		
	実施しない		2030	27.3
実施方針	☆2030年頃に大規模改修を実施			

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	箱根の里		
施設所管課	生涯学習課	施設分類	生涯学習関連施設
開設年	1987年	総延床面積(㎡)	3,589
目的	社会性豊かな、心身ともにたくましい人間の育成		
写真			

【サービスの評価】

サービス内容	宿泊施設(宿泊室、浴室、食堂、プレイルーム・研修室)、(キャンプ施設)、プラネタリウム			
	運営時間	8時15分～17時00分	休館日	毎週月曜日及び年末年始
	駐車台数	普通車54台・大型10台		
利用状況	主な評価項目(2017年度)			
	部屋名称	年間利用者数	年間件数	稼働率
	宿泊棟	20,344	73	47.8%
	キャンプ場	3,164	223	19.9%
	合計	23,508	296	
	評価			
C				

利用状況	コメント					
	<ul style="list-style-type: none"> ・利用団体が集中するのは初夏から秋が多い。 ・主な利用者は市内外の小中学校や少年団が多く、市外のスポーツ団体などの利用も増加している。 ・市外の利用と市内の利用の割合は、市内64%、市外36%である。 ・利用料金は、市外の方が市内に比べ多少高く設定してある。 					
	将来予測					
	今後、利用団体数が多少減少するものの、各団体の構成員の人数が少子化により減少することが予想される。					
コスト	施設運営形態					
	直営					
	2017年度 支出(千円)					
	管理委託料	光熱水費	人件費	借地料	その他支出	
	5,003	3,272	27,663	608	18,523	
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費		評価
	使用料等	その他収入				
2,555	363	52,151	2.22		中	
立地状況	所在地		地域	都市計画	立地適正化計画	
	三島市字北原菅4710-1		錦田地域	市街化調整区域		
	周辺駅・バス停					
	見晴学園前バス停下車徒歩40分					
	コメント					
	特になし					
問題点	<p>☆主に利用されるのが夏のみなので、利用効率が悪い。</p> <p>☆直営なので、高コストである。</p>					
対策の可能性	項目	コメント				
	広域化	<p>・広域連携として、近隣市町で同等施設を廃止し、箱根の里を利用している自治体等に負担を求めるなど、協議を進めていくことなどが考えられる。</p>				
	民営化	<p>運営の効率化や収益性のあるサービスの追加等により、経費の削減を図るため必要が出てくるので、民営化を検討(児童の自然教室など自然に親しむことや集団生活を体験することなどは残す。)</p> <p>※運営の方針などや地元自治会との関係性などに苦慮すること、また市内小中学校の自然教室活動に対し制限が生じることになると思われる。</p> <p>民営化することで、社会教育施設ではなくなり、少年の船など少年育成研修内容の見直し・縮小が懸念される。</p>				

対策の可能性	運営形態の見直し	コスト削減及びサービスの質の向上を図るため、指定管理者制度を導入した市町のメリット、デメリットを調査し、市民サービスが低下しないように導入を検討する。
	サービス内容の見直し①	閑散期における利用者を促進するため、新規イベント開発を検討する。また、利用者の負担増を検討する必要がある。
	サービス内容の見直し②	夏のみの開所とする。(職員も夏のみ箱根の里にしていることにする)
	現状維持	民営化や指定管理者制度の導入により、市内幼稚園、小中学校の自然教室に対する利用の制限が生じる可能性がある。 主催事業に対する経費が高くなり、参加の人数が減少することが考えられる。
対策内容	☆民営化を含めたあり方の検討	

【建築物の評価】

名称	少年自然の家			
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)	
	1986(31)	SRC・地上3	3,104	
管理方針	施設区分	使用終了予定年		
	一般施設	未定		
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期	総合劣化度
	実施時期	残存耐用年数		
	未定		未定	55.2
実施方針	☆民間事業者の方針による			

名称	キャンプ場など			
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)	
	1986(31)	S・地上1	485	
管理方針	施設区分	使用終了予定年		
	一般施設	未定		
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期	総合劣化度
	実施時期	残存耐用年数		
	未定		未定	56.1
実施方針	☆民間事業者の方針による			

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	総合防災センター		
施設所管課	危機管理課	施設分類	コミュニティ・防災関連施設
建築年	1997年	総延床面積(㎡)	676
目的	防災拠点、地域のコミュニティづくり		
写真			

【サービスの評価】

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に、災害対策本部室として使用される。 ・平常時は、貸館(防災研修室、和室研修室、炊出し訓練室)として使用している。 ・防災倉庫 				
	運営時間	9時～21時	休館日	年末年始	
	駐車台数	11台			
利用状況	主な評価項目(2017年度)				
	部屋名称	年間利用者数	年間件数	回転率	備考
	防災研修室	4,860	277	28.1%	一般貸出のみカウント
	和室研修室	1,151	141	13.3%	一般貸出のみカウント
	炊出し訓練室	27	3	0.3%	一般貸出のみカウント
合計	6,038	421	13.9%		

利用状況	コメント					
	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティFM放送局が3階に入っている。 ・その機能から災害対策本部は、本庁舎内又は本庁舎のすぐ近くにあるべき。 ・貸館について、市の業務による利用も含めると、その回転率は、防災研修室:66.7%、和室:41.5%であり、高い利用率となっている。 					
	将来予測					
	災害対策本部室として、将来も必要なスペースはそれほど変わらないと思われる。					
コスト	施設運営形態					
	直営					
	2017年度 支出(千円)					
	管理委託料	光熱水費	人件費	借地料	その他支出	
	6,669	3,394	17,097	0	0	
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費	評価	
	使用料等	その他収入				
0	3,528	23,632				
立地状況	所在地		地域	都市計画	立地適正化計画	
	大社町1-10		旧市内地域	市街化区域	中心拠点	
	周辺駅・バス停					
	三島田町駅から徒歩5分 市役所前バス停から徒歩1分					
	コメント					
	災害時に被害(浸水、道路分断など)を受けにくい場所が望ましい。					
問題点	☆本庁舎と別の棟にある(すぐ近くだが、同じ敷地内でない)					
対策の可能性	項目	コメント				
	統合	災害時は迅速な対応が求められることから、災害対策本部は本庁舎と同じ建物にあるべきである。このため、本庁舎へ統合することが望ましい。 ※災害時に、市民の方に情報を迅速に伝えるためには、コミュニティFM放送局も災害対策本部と同じ建物にあった方がよい。				
対策内容	☆新庁舎建設に合わせて、本庁舎へ統合					

【建築物の評価】

名称	総合防災センター			
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)	
	1996(21)	RC・地上3地下1	676	
管理方針	施設区分	使用終了予定年		
	未定	未定		
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期	総合劣化度
	実施時期	残存耐用年数		
	未定		未定	34.7
実施方針	<p>☆2032年頃に新庁舎へ複合化したのち、次の2案について検討する。 ①建物は解体上、土地を売却 ②多用途に変更(駐車場がない)</p>			

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	東地区コミュニティ防災センター		
施設所管課	危機管理課	施設分類	コミュニティ・防災関連施設
開設年	1985	総延床面積(m ²)	408
目的	地域のコミュニティづくり、災害対策		
写真	  		

【サービスの評価】

サービス内容	貸館(会議室・炊出し室)				
	運営時間	9時00分～21時00分	休館日	なし	
	駐車台数	0台			
利用状況	主な評価項目(2017年度)				
	施設名称	年間利用者数	年間件数	回転率	備考
	展示教育室(和室)	4,981	336	31.2%	
	本部室	199	19	1.8%	
	防災会議室	5,364	299	27.8%	
	炊出し訓練室	30	5	0.5%	
合計	10,574	659	15.3%	部屋数4・1日3回で算出 年間359日	

利用状況	評価					
	C					
	コメント					
	<p>・災害機能より、地域でのいろいろな団体の利用(コミュニティの場)という形になっている。 ※主な団体は、自治会、子ども会、しゃぎり、体育振興会、婦人会、スポーツ少年団など ・旧市内の自治会は、自治会が独自に公民館等を保有していない場合が多い。</p>					
	将来予測					
	人口の減少に伴い利用者也減少すると考えられる。					
コスト	施設運営形態					
	指定管理					
	2017年度 支出(千円)					
	指定管理料		管理委託料	借地料	光熱水費	その他支出
	350		127	987	505	0
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費		評価
	使用料等	その他収入				
	0	0	1,969	0.19		低
立地状況	所在地		地域	都市計画	立地適正化計画	
	東本町2-10-5		旧市内地域	市街化区域	中心拠点	
	周辺駅・バス停					
	三島田町駅から徒歩6分					
	コメント					
	地域コミュニティの中心に立地している					
問題点	☆利用率が低い ☆借地をしている					
対策内容の可能性	項目		コメント			
	複合化		地域コミュニティの場としての機能を考えると、学校に複合化するのが最も合理的と考えられる。			
対策内容	☆東小学校へ複合化					

サービス内容	災害備蓄品の保管(1階部分)	
利用状況	主な評価項目	
	・毛布、テント、飲料水、非常食などを保管 ※運営に必要な資機材は各学校の防災倉庫に保管	
	将来予測	
	劣化により使用不可となった資機材を整理することにより、必要なスペースも減少すると考えられる	
立地状況	在庫管理や入替・更新作業、また災害時に希望者へ配布するときの効率性を考えると、災害対策本部から近い場所にある程度まとまった形で保管すべき。	
問題点	☆借地をしている	
対策内容の可能性	項目	コメント
	複合化	車が横付けできる場所に、これだけの備蓄品をすべて収容できるだけの空きスペースがある学校はない。いくつかの施設に分散させれば、スペース的には収容が可能だが、分散させると在庫管理や入替・更新に係る作業が困難となる。また、希望者に配布するときにも非効率となる。
	新設	倉庫を新設する。 ※コミセン改修費や生涯学習センター地下駐車場跡の改修費とどちらが安価か、経費を比較する必要がある。
対策内容	☆生涯学習センターへの複合化を検討 ※費用対効果の検討が必要	

【建築物の評価】

名称	東地区コミュニティ防災センター		
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)
	1985(32)	RC・地上3	408
管理方針	施設区分	使用終了予定年	
	一般施設	2029	
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期
	実施時期	残存耐用年数	
	実施しない		実施しない
実施方針	☆2029年頃に建物を解体の上、土地を返還。		

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	西地区コミュニティ防災センター		
施設所管課	危機管理課	施設分類	コミュニティ・防災関連施設
開設年	1984	総延床面積(㎡)	482
目的	地域のコミュニティづくり、災害対策		
写真			

【サービスの評価】

サービス内容	貸館(会議室・炊出し室)				
	運営時間	9時00分～21時00分	休館日	なし	
	駐車台数	0台			
利用状況	主な評価項目(2017年度)				
	施設名称	年間利用者数	年間件数	回転率	備考
	本部室	967	113	10.5%	
	小会議室(和室)	1,033	91	8.4%	
	防災会議室	3,037	121	11.2%	
	炊出し訓練室	402	37	3.4%	
合計	5,439	362	8.4%	部屋数4・1日3回で算出 年間359日	

利用状況	評価				
	C				
	コメント				
	<ul style="list-style-type: none"> ・災害機能より、地域でのいろいろな団体の利用(コミュニティの場)という形になっている。 ※主な団体は、自治会、子ども会、しゃぎり、体育振興会、婦人会、スポーツ少年団など ・旧市内の自治会は、自治会が独自に公民館等を保有していない場合が多い。 				
	将来予測				
	人口の減少に伴い利用者也減少すると考えられる。				
	施設運営形態				
	指定管理				
	2017年度 支出(千円)				
	コスト	指定管理料	管理委託料	借地料	光熱水費
350		192	0	478	0
収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費	評価	
使用料等					その他収入
0		0	1,020	0.19	低
立地状況	所在地	地域	都市計画	立地適正化計画	
	緑町6-6	旧市内地域	市街化区域	中心拠点	
	周辺駅・バス停				
	三島広小路駅から徒歩5分				
	コメント				
	地域コミュニティの中心に立地している				
問題点	☆利用率が低い				
対策内容の可能性	項目	コメント			
	複合化	地域コミュニティの場としての機能を考えると、学校に複合化するのが最も合理的と考えられる。			
対策内容	☆西小学校へ複合化				

サービス内容	災害備蓄品の保管(1階部分)	
利用状況	主な評価項目	
	・毛布、テント、飲料水、非常食などを保管 ※運営に必要な資機材は各学校の防災倉庫に保管	
	将来予測	
	劣化により使用不可となった資機材を整理することにより、必要なスペースも減少すると考えられる	
立地状況	在庫管理や入替・更新作業、また災害時に希望者へ配布するときの効率性を考えると、災害対策本部から近い場所にある程度まとまった形で保管すべき。	
問題点	☆問題なし	
対策内容の可能性	項目	コメント
	複合化	車が横付けできる場所に、これだけの備蓄品をすべて収容できるだけの空きスペースがある施設はない。いくつかの施設に分散させれば、スペース的には収容が可能だが、分散させると在庫管理や入替・更新に係る作業が困難となる。また、希望者に配布するときにも非効率となる。
	新設	生涯学習センターの地下駐車場跡を倉庫に改修して利用する。ただし改修費に多額の費用がかかるため、コミセン改修費との比較検討を行う必要がある。
対策内容	☆生涯学習センターへ複合化を検討 ※費用対効果の検討が必要	

【建築物の評価】

名称	西地区コミュニティ防災センター		
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)
	1984(33)	RC・地上3	482
管理方針	施設区分	使用終了予定年	
	一般施設	2029	
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期
	実施時期	残存耐用年数	
	実施しない		実施しない
実施方針	☆2029年頃に建物解体の上、土地を売却		

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	南地区コミュニティ防災センター		
施設所管課	危機管理課	施設分類	コミュニティ・防災関連施設
開設年	1987	総延床面積(㎡)	400
目的	地域のコミュニティづくり、災害対策		
写真	 		

【サービスの評価】

サービス内容	貸館(会議室・炊出し室)				
	運営時間	9時00分～21時00分	休館日	なし	
	駐車台数	0台			
利用状況	主な評価項目(2017年度)				
	施設名称	年間利用者数	年間件数	回転率	備考
	展示教育室(和室)	2,487	156	14.5%	
	本部室	415	74	6.9%	
	防災会議室	2,457	273	25.3%	
	炊出し訓練室	85	11	1.0%	
	合計	5,444	514	11.9%	部屋数4・1日3回で算出 年間359日
	評価				
	C				
	コメント				
<ul style="list-style-type: none"> ・災害機能より、地域でのいろいろな団体の利用(コミュニティの場)という形になっている。 ※主な団体は、自治会、子ども会、しゃぎり、体育振興会、婦人会、スポーツ少年団など ・旧市内の自治会は、自治会が独自に公民館等を保有していない場合が多い。 					
将来予測					
人口の減少に伴い利用者も減少すると考えられる。					

コスト	施設運営形態					
	指定管理					
	2017年度 支出(千円)					
	指定管理料		管理委託料	借地料	光熱水費	その他支出
	350		127	1,825	345	0
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費		評価
	使用料等	その他収入				
	0	0	2,647	0.49		低
立地状況	所在地		地域	都市計画	立地適正化計画	
	中田町11-3		旧市内地域	市街化区域	中心拠点周辺	
	周辺駅・バス停					
	三島田町駅から徒歩4分					
	コメント					
	地域コミュニティの中心に立地している					
問題点	☆利用率が低い ☆借地をしている					
対策内容の可能性	項目		コメント			
	複合化		地域コミュニティの場としての機能を考えると、学校に複合化するのが最も合理的と考えられる。			
対策内容	☆南小学校へ複合化					

サービス内容	災害備蓄品の保管(1階部分)	
利用状況	主な評価項目	
	<ul style="list-style-type: none"> ・毛布、テント、飲料水、非常食などを保管 ※運営に必要な資機材は各学校の防災倉庫に保管 	
	将来予測	
	劣化により使用不可となった資機材を整理することにより、必要なスペースも減少すると考えられる	
立地状況	在庫管理や入替・更新作業、また災害時に希望者へ配布するときの効率性を考えると、災害対策本部から近い場所にある程度まとまった形で保管すべき。	
問題点	☆借地をしている	
対策内容の可能性	項目	コメント
	複合化	<p>車が横付けできる場所に、これだけの備蓄品をすべて収容できるだけの空きスペースがある施設はない。いくつかの施設に分散させれば、スペース的には収容が可能だが、分散させると在庫管理や入替・更新に係る作業が困難となる。また、希望者に配布するときにも非効率となる。</p> <p>生涯学習センターの地下駐車場跡を倉庫に改修して利用する。ただし改修費に多額の費用がかかるため、コミセン改修費との比較検討を行う必要がある。</p>
	新設	<p>倉庫を新設する。</p> <p>※コミセン改修費や生涯学習センター地下駐車場跡の改修費とどちらが安価か、経費を比較する必要がある。</p>
対策内容	<p>☆生涯学習センターへ複合化を検討</p> <p>※費用対効果の検討が必要</p>	

【建築物の評価】

名称	南地区コミュニティ防災センター		
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)
	1988(29)	RC・地上3	400
管理方針	施設区分	使用終了予定年	
	一般施設	2029	
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期
	実施時期	残存耐用年数	
	実施しない		実施しない
実施方針	☆2029年頃に建物を解体の上、土地を返還。		

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	北地区コミュニティ防災センター		
施設所管課	危機管理課	施設分類	コミュニティ・防災関連施設
開設年	1983	総延床面積(㎡)	276
目的	地域のコミュニティづくり、災害対策		
写真	 		

【サービスの評価】

サービス内容	貸館(会議室・炊出し室)			
	運営時間	9時00分～21時00分	休館日	なし
	駐車台数	0台		
利用状況	主な評価項目(2017年度)			
	施設名称	年間利用者数	年間件数	回転率
	展示室			
	研修室	1,542	198	18.4%
	合計	1,542	198	18.4%
		部屋数1・1日3回で算出 年間359日		
	評価			
	C			
	コメント			
	<ul style="list-style-type: none"> ・災害機能より、地域でのいろいろな団体の利用(コミュニティの場)という形になっている。 ※主な団体は、自治会、子ども会、しゃぎり、体育振興会、婦人会、スポーツ少年団など ・旧市内の自治会は、自治会が独自に公民館等を保有していない場合が多い。 			
将来予測				
人口の減少に伴い利用者も減少すると考えられる。				

コスト	施設運営形態				
	消防北分遣所が管理				
	2017年度 支出(千円)				
	指定管理料	管理委託料	借地料	光熱水費	その他支出
	0	127	0	0	0
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費	評価
	使用料等	その他収入			
0	0	127	0.08	低	
立地状況	所在地	地域	都市計画	立地適正化計画	
	文教町2-1-32	旧市内地域	市街化区域	中心拠点周辺	
	周辺駅・バス停				
	よろい坂バス停から徒歩1分				
	コメント				
	地域コミュニティの中心に立地している				
問題点	☆利用率が低い				
対策内容の可能性	項目	コメント			
	複合化	地域コミュニティの場としての機能を考えると、学校に複合化するのが最も合理的と考えられる。			
対策内容	☆北中学校へ複合化				

サービス内容	災害備蓄品の保管(1階部分)				
利用状況	主な評価項目				
	・毛布、テント、飲料水、非常食などを保管 ※運営に必要な資機材は各学校の防災倉庫に保管				
	将来予測				
立地状況	劣化により使用不可となった資機材を整理することにより、必要なスペースも減少すると考えられる				
立地状況	在庫管理や入替・更新作業、また災害時に希望者へ配布するときの効率性を考えると、災害対策本部から近い場所にある程度まとまった形で保管するべき。				
問題点	☆利用率が低い				

対策内容の可能性	項目	コメント
	複合化	車が横付けできる場所に、これだけの備蓄品をすべて収容できるだけの空きスペースがある施設はない。いくつかの施設に分散させれば、スペース的には収容が可能だが、分散させると在庫管理や入替・更新に係る作業が困難となる。また、希望者に配布するときにも非効率となる。
		生涯学習センターの地下駐車場跡を倉庫に改修して利用する。ただし改修費に多額の費用がかかるため、コミセン改修費との比較検討を行う必要がある。
新設	倉庫を新設する。 ※コミセン改修費や生涯学習センター地下駐車場跡の改修費とどちらが安価か、経費を比較する必要がある。	
対策内容	☆生涯学習センターへ複合化を検討 ※費用対効果の検討が必要	

【建築物の評価】

名称	北地区コミュニティ防災センター			
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)	
	1983(34)	RC・地上2	276	
	備考			
建物の残りのスペースは北分遣所が使用している				
管理方針	施設区分	使用終了予定年		
	一般施設	2029		
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期	総合劣化度
	実施時期	残存耐用年数		
	実施しない		実施しない	56.7
実施方針	☆2029年頃に富士山南東消防組合に無償貸与			

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	市民活動センター		
施設所管課	地域協働・安全課	施設分類	コミュニティ・防災関連施設
開設年	2005年	総延床面積(㎡)	581(本町タワーの4階フロアを区分所有)
目的	NPO・ボランティア活動の支援		
写真			

【サービスの評価】

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・貸館(会議室、活動スペース、印刷機、複写機、紙折り機) ・ボランティア活動に関する相談(ボランティア団体の立ち上げ、活動団体の紹介など) 			
	運営時間	9時00分 ~ 21時00分	休館日	年末年始
	駐車台数	0台		
利用状況	主な評価項目(2017年度)			
	部屋名称	年間利用者数	年間件数	稼働率
	第1会議室(21人) 第2会議室(30人) 第3会議室(24人)の合計	20,722	2,150	67.3%
	評価			
	A			

利用状況	コメント				
	<ul style="list-style-type: none"> ・登録団体は、ボランティア団体や町内会、老人会、子供会など 【駐車場について(専用の駐車場がない)】 ・本町タワー Towers ショッピングパーク。1時間200円。上限金額無し。 ※1階のスーパーを利用すると駐車券の免除を受けられる。 ・利用者は徒歩または自転車が多い。車利用者はタワー内の商店で買い物をして割引を受けている。 				
	将来予測				
人口は減少するが、高齢者は増加するので、需要はそれほど減らないと考えられる。					
コスト	施設運営形態				
	直営				
	2017年度 支出(千円)				
	管理委託料	光熱水費	人件費	借地料	その他支出
	2,196		4,499		
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費	評価
	使用料等	その他収入			
146	129	6,420	0.31	低	
立地状況	所在地	地域	都市計画	立地適正化計画	
	本町3-29	旧市内地域	市街化区域	中心拠点	
	周辺駅・バス停				
	三島広小路駅から徒歩3分				
	コメント				
	<p>街中にあり、三島広小路駅から徒歩3分の距離なので、自転車や徒歩で来館しやすい。一方で、主要地方道三島富士線は混んでいることが多く、専用の駐車場がないので、自動車では利用しづらい。</p> <p>【商店街の振興について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タワー内で買い物をして帰る方が多いと思われる。(商店街を利用している方は少ないと思われる。) 				
問題点	<ul style="list-style-type: none"> ☆利用率は高く、問題ない。 ☆子育て支援センターの方針に左右される 				
対策内容の可能性	項目	コメント			
	移動	子育て支援センターに合わせて、保健センターの建物へ移動を検討			
対策内容	☆保健センターの建物への移動を検討(保健センター機能は2031年に新庁舎へ複合化)				

【建築物の評価】

名称	活動センター			
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)	
	2004(13)	SRC	581	
	備考			
本町タワーの4階フロアを占有している。				
管理方針	施設区分	使用終了予定年		
	一般施設			
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期	総合劣化度
	実施時期	残存耐用年数		
	実施しない		2020年以降(管理組合)	14.6
実施方針	☆専有部分(内装、空調など)の修繕は市で実施。共用部分の修繕は管理組合が実施。 ☆移動後は、売却を検討			

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	市営住宅		
施設所管課	建築住宅課	施設分類	市営住宅施設
目的	生活困窮者の支援		
写真			

【サービスの評価(全体)】

サービス内容	生活困窮者への住居の提供				
利用状況	主な評価項目(2018年度)				
	全戸数	入居戸数	充足率	評価	備考
	730	644	88.2%	A	南二日町住宅の全面改善事業等の仮移転の住居等の用途としている政策空き家が47戸あり、残りの39戸が空き家。
	コメント				
<ul style="list-style-type: none"> ・入居希望者はおおよそ80世帯で、斡旋できるのは年間約30戸前後。待機期間が長期化する傾向にある。 ・入居希望者が高齢化していることから、交通の便がよいところ(南二日町、日の出、藤代、谷田住宅など)は人気があり、逆に便の悪いところ(柳郷地、山田住宅など)は希望者が少なく、空きがある。 ・単身世帯の希望者が増えている。 ・国は平成14年以降、新規団地の建設を認めていない。 					

将来予測											
利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的格差の拡大により、低所得者は増加しており、今後も入居希望者は増加すると考えられる。 ・長期的には人口減少していくが、入居希望者の高齢・単身化が進み、上記の理由からも急激な市営住宅の需要の減少はしないと考えられる。 										
コスト	<ul style="list-style-type: none"> ・借地はない ・すべての施設が直営 ・収益施設 										
立地状況	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の高齢化が予想されるので、食料品、日用品の購入場所や公共交通機関の近くに立地している方がよい。 ・梅名西住宅が市街化調整区域にある 										
問題点	☆利便性の悪い立地にある施設並びに、風呂等の設備がない施設については、入居希望者が少ない。										
対策内容の可能性	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>コメント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>拡充・縮小</td> <td>建て替え時に、利便性の高い場所は拡大、少ない場所は縮小する。</td> </tr> <tr> <td>施設改修</td> <td>建替え及び大規模改修時には、風呂などの設備を整備する。</td> </tr> <tr> <td>複合化(受け入れ)</td> <td>建替え時に、複合化を検討する ※建替え時に福祉施設などを複合化すると補助が受けやすい。</td> </tr> <tr> <td>民間の賃貸住宅</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス付高齢者向け住宅整備事業(市内は今現在、6棟。) ・住宅確保要配慮者円滑入居賃貸住宅事業、住宅確保要配慮者向け賃貸住宅の登録制度や登録住宅の改修、住宅確保要配慮者のマッチング、入居支援 ※注意:市営住宅は家賃収入を得ており、民間の賃貸住宅の利用補助などに施策を転換すると財政負担が増加することを考慮しなければならない。 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	コメント	拡充・縮小	建て替え時に、利便性の高い場所は拡大、少ない場所は縮小する。	施設改修	建替え及び大規模改修時には、風呂などの設備を整備する。	複合化(受け入れ)	建替え時に、複合化を検討する ※建替え時に福祉施設などを複合化すると補助が受けやすい。	民間の賃貸住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス付高齢者向け住宅整備事業(市内は今現在、6棟。) ・住宅確保要配慮者円滑入居賃貸住宅事業、住宅確保要配慮者向け賃貸住宅の登録制度や登録住宅の改修、住宅確保要配慮者のマッチング、入居支援 ※注意:市営住宅は家賃収入を得ており、民間の賃貸住宅の利用補助などに施策を転換すると財政負担が増加することを考慮しなければならない。
	項目	コメント									
	拡充・縮小	建て替え時に、利便性の高い場所は拡大、少ない場所は縮小する。									
	施設改修	建替え及び大規模改修時には、風呂などの設備を整備する。									
	複合化(受け入れ)	建替え時に、複合化を検討する ※建替え時に福祉施設などを複合化すると補助が受けやすい。									
民間の賃貸住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス付高齢者向け住宅整備事業(市内は今現在、6棟。) ・住宅確保要配慮者円滑入居賃貸住宅事業、住宅確保要配慮者向け賃貸住宅の登録制度や登録住宅の改修、住宅確保要配慮者のマッチング、入居支援 ※注意:市営住宅は家賃収入を得ており、民間の賃貸住宅の利用補助などに施策を転換すると財政負担が増加することを考慮しなければならない。										
対策内容	☆希望の多い施設については現状維持・拡大、希望の少ない施設については、縮小・廃止 ☆建替え時に複合施設の受け入れを検討する										

【建築物の評価】

建築物の状況	別添のとおり ・計画期間内(今後30年間)に公営住宅法上廃止できる施設は少ない。
実施方針	三島市公営住宅等長寿命化計画に基づき、建築物を管理する。

補足説明	<ul style="list-style-type: none"> ・公営住宅法では耐用年数が70年経過すれば廃止可能 ・公営住宅法では耐用年数の70年の2分の1、かつ35年を経過した建物は建て替えが可能 ・平成22年度に三島市公営住宅等長寿命化計画を策定。
------	---

【サービスの評価(各住宅)】

2018.3月末現在

施設名称	床面積 (㎡)	利用状況(2018年度)		
		全戸数(戸数)	入居戸数(戸数)	充足率(%)
谷田住宅	1,668	27	27	100.0%
梅名西住宅	2,166	27	25	92.6%
梅名北住宅	3,146	42	42	100.0%
徳倉住宅	1,390	24	24	100.0%
日の出町住宅	5,151	72	70	97.2%
千枚原住宅	1,753	34	33	97.1%
藤代住宅	4,927	93	86	92.5%
光ヶ丘住宅	8,252	112	108	96.4%
南二日町住宅	6,347	98	64	65.3%
山田住宅	4,127	60	48	80.0%
中住宅	815	12	12	100.0%
柳郷地住宅	7,725	102	80	78.4%
加茂住宅	1,826	27	25	92.6%
合計・平均	49,292	730	644	88.2%

※南二日町住宅の入居戸数について、全面改善工事のため、B棟(32戸)が減となっている

【建築物の状況(各住宅)】

施設名称	建物名称	床面積(㎡)	総延床面積(㎡)	築年数	構造
谷田住宅	住宅C	1,512	1,668	14	RC
梅名西住宅	住宅A	909	2,166	24	RC
梅名西住宅	住宅B	1,176		23	RC
梅名北住宅	住宅A	400	3,146	28	RC
梅名北住宅	住宅B	801		27	RC
梅名北住宅	住宅C	813		26	RC
梅名北住宅	住宅D	888		25	RC
徳倉住宅	住宅A	576	1,390	22	RC
徳倉住宅	住宅B	389		22	RC
徳倉住宅	住宅C	389		21	RC
日の出町住宅	住宅A	1,109	5,151	31	RC
日の出町住宅	住宅B	1,602		29	RC
日の出町住宅	住宅C	1,068		28	RC
日の出町住宅	住宅D	1,095		28	RC
千枚原住宅	住宅A	700	1,753	20	RC
千枚原住宅	住宅B	1,012		19	RC
藤代住宅	住宅H	925	4,927	49	RC
藤代住宅	住宅I	924		48	RC
藤代住宅	住宅J	2,785		10	RC
光ヶ丘住宅	住宅A	1,934	8,252	47	RC
光ヶ丘住宅	住宅B	2,087		46	RC
光ヶ丘住宅	住宅C	2,041		45	RC
光ヶ丘住宅	住宅D	2,075		44	RC
南二日町住宅	住宅A	2,524	6,347	42	RC
南二日町住宅	住宅B	1,743		41	RC
南二日町住宅	住宅C	1,743		40	RC

施設名称	建物名称	床面積(m ²)	総延床面積(m ²)	築年数	構造
山田住宅	住宅A	1,133	4,127	38	RC
山田住宅	住宅B	756		38	RC
山田住宅	住宅C	1,133		39	RC
山田住宅	住宅D	756		39	RC
中住宅	住宅A	755	815	37	RC
柳郷地住宅	住宅A	842	7,725	36	RC
柳郷地住宅	住宅B	673		35	RC
柳郷地住宅	住宅C	410		35	RC
柳郷地住宅	住宅D	1,878		34	RC
柳郷地住宅	住宅E	1,879		32	RC
柳郷地住宅	住宅F	1,468		31	RC
加茂住宅	住宅A	999	1,826	17	RC
加茂住宅	住宅B	698		16	RC

『建物基本台帳』と『公共施設保全計画の単位』の関係

施設分類	施設名	所管課名	建物基本台帳				公共施設保全計画の単位			
			建物名	構造	建築年	床面積(㎡)	建物名	構造	建築年	床面積(㎡)
市営住宅	谷田住宅	建築住宅課	住宅C	RC	2003	1,512	住宅C	RC	2003	1,668
市営住宅	谷田住宅	建築住宅課	集会所A	W	2003	58				
市営住宅	谷田住宅	建築住宅課	ポンプ室B	ステンレス鋼板製	2003	6				
市営住宅	谷田住宅	建築住宅課	物置D	RC	2003	27				
市営住宅	谷田住宅	建築住宅課	物置E	RC	2003	13				
市営住宅	谷田住宅	建築住宅課	物置F	RC	2003	16				
市営住宅	谷田住宅	建築住宅課	物置G	RC	2003	16				
市営住宅	谷田住宅	建築住宅課	自転車置場A	S	2003	10				
市営住宅	谷田住宅	建築住宅課	自転車置場B	S	2003	10				
市営住宅	梅名西住宅	建築住宅課	住宅A	RC	1993	909	住宅A	RC	1993	974
市営住宅	梅名西住宅	建築住宅課	集会所A	W	1993	57				
市営住宅	梅名西住宅	建築住宅課	ポンプ室A	ステンレス造平屋建	1993	8				
市営住宅	梅名西住宅	建築住宅課	住宅B	RC	1994	1,176	住宅B	RC	1994	1,192
市営住宅	梅名西住宅	建築住宅課	自転車置場A	S	1994	16				
市営住宅	梅名北住宅	建築住宅課	住宅A	RC	1989	400	住宅A	RC	1989	427
市営住宅	梅名北住宅	建築住宅課	物置E	PC板平屋建	1989	16				
市営住宅	梅名北住宅	建築住宅課	自転車置場A	S	1989	11				
市営住宅	梅名北住宅	建築住宅課	住宅B	RC	1990	801	住宅B	RC	1990	871
市営住宅	梅名北住宅	建築住宅課	ポンプ室A	鋼製パネル	1989	16				
市営住宅	梅名北住宅	建築住宅課	物置D	PC板平屋建	1989	22				
市営住宅	梅名北住宅	建築住宅課	物置F	PC板平屋建	1990	11				
市営住宅	梅名北住宅	建築住宅課	自転車置場B	S	1990	21				
市営住宅	梅名北住宅	建築住宅課	住宅C	RC	1991	813	住宅C	RC	1991	813
市営住宅	梅名北住宅	建築住宅課	物置A	PC板平屋建	1991	22				
市営住宅	梅名北住宅	建築住宅課	物置B	PC板平屋建	1991	11				
市営住宅	梅名北住宅	建築住宅課	自転車置場C	S	1991	16				
市営住宅	梅名北住宅	建築住宅課	住宅D	RC	1992	888	住宅D	RC	1992	1,131
市営住宅	梅名北住宅	建築住宅課	物置C	PC板平屋建	1992	11				
市営住宅	梅名北住宅	建築住宅課	物置G	PC板平屋建	1992	11				
市営住宅	梅名北住宅	建築住宅課	物置H	PC板平屋建	1992	11				
市営住宅	梅名北住宅	建築住宅課	自転車置場D	S	1992	16				
市営住宅	梅名北住宅	建築住宅課	集会所A	W	1992	49				
市営住宅	徳倉住宅	建築住宅課	住宅A	RC	1995	576	住宅A	RC	1995	593
市営住宅	徳倉住宅	建築住宅課	自転車置場A	S	1995	11				
市営住宅	徳倉住宅	建築住宅課	ポンプ室A	鋼製パネル	1995	6				
市営住宅	徳倉住宅	建築住宅課	住宅B	RC	1995	389	住宅B	RC	1995	398
市営住宅	徳倉住宅	建築住宅課	自転車置場B	S	1995	9				

施設分類	施設名	所管課名	建物基本台帳				公共施設保全計画の単位			
			建物名	構造	建築年	床面積(㎡)	建物名	構造	建築年	床面積(㎡)
市営住宅	徳倉住宅	建築住宅課	住宅C	RC	1996	389	住宅C	RC	1996	398
市営住宅	徳倉住宅	建築住宅課	自転車置場C	S	1996	9				
市営住宅	日の出町住宅	建築住宅課	住宅A	RC	1986	1,109	住宅A	RC	1986	1,167
市営住宅	日の出町住宅	建築住宅課	物置E	PC板平屋建	1986	21				
市営住宅	日の出町住宅	建築住宅課	物置F	PC板平屋建	1986	11				
市営住宅	日の出町住宅	建築住宅課	物置G	PC板平屋建	1986	11				
市営住宅	日の出町住宅	建築住宅課	自転車置場D	S	1986	15				
市営住宅	日の出町住宅	建築住宅課	ポンプ室A	鋼板パネル	1986	0				
市営住宅	日の出町住宅	建築住宅課	住宅B	RC	1988	1,602	住宅B	RC	1988	1,704
市営住宅	日の出町住宅	建築住宅課	物置A	PC板平屋建	1988	64				
市営住宅	日の出町住宅	建築住宅課	自転車置場C	S	1988	16				
市営住宅	日の出町住宅	建築住宅課	自転車置場E	S	1988	16				
市営住宅	日の出町住宅	下水道課	汚水ポンプ室	コンクリートブロック造	1988	7				
市営住宅	日の出町住宅	建築住宅課	住宅C	RC	1989	1,068	住宅C	RC	1989	1,126
市営住宅	日の出町住宅	建築住宅課	物置B	PC板平屋建	1989	43				
市営住宅	日の出町住宅	建築住宅課	自転車置場B	S	1989	16				
市営住宅	日の出町住宅	建築住宅課	住宅D	RC	1989	1,095	住宅D	RC	1989	1,153
市営住宅	日の出町住宅	建築住宅課	物置C	PC板平屋建	1989	21				
市営住宅	日の出町住宅	建築住宅課	物置D	PC板平屋建	1989	21				
市営住宅	日の出町住宅	建築住宅課	自転車置場A	S	1989	16				
市営住宅	千枚原住宅	建築住宅課	住宅A	RC	1997	700	住宅A	RC	1997	724
市営住宅	千枚原住宅	建築住宅課	自転車置場A	S	1997	9				
市営住宅	千枚原住宅	建築住宅課	自転車置場C	S	1997	9				
市営住宅	千枚原住宅	建築住宅課	ポンプ室A	ステンレス鋼板製	1997	6				
市営住宅	千枚原住宅	建築住宅課	住宅B	RC	1998	1,012	住宅B	RC	1998	1,030
市営住宅	千枚原住宅	建築住宅課	自転車置場B	S	1998	9				
市営住宅	千枚原住宅	建築住宅課	自転車置場D	S	1998	9				
市営住宅	藤代住宅	建築住宅課	住宅H	RC	1968	925	住宅H	RC	1968	1,011
市営住宅	藤代住宅	建築住宅課	物置A	RC	1968	32				
市営住宅	藤代住宅	建築住宅課	物置B	RC	1968	32				
市営住宅	藤代住宅	建築住宅課	ポンプ室A	RC	1968	8				
市営住宅	藤代住宅	建築住宅課	自転車置場A	S	1993	14				
市営住宅	藤代住宅	建築住宅課	住宅I	RC	1969	924	住宅I	RC	1969	1,001
市営住宅	藤代住宅	建築住宅課	物置C	RC	1969	32				
市営住宅	藤代住宅	建築住宅課	物置D	RC	1969	32				
市営住宅	藤代住宅	建築住宅課	自転車置場B	S	1993	14				
市営住宅	藤代住宅	建築住宅課	住宅J	RC	2007	2,785	住宅J	RC	2007	2,915
市営住宅	藤代住宅	建築住宅課	ポンプ室B	ステンレス鋼板製	2007	12				
市営住宅	藤代住宅	建築住宅課	自転車置場C	S	2008	20				
市営住宅	藤代住宅	建築住宅課	集会所A	S	2008	97				

施設分類	施設名	所管課名	建物基本台帳				公共施設保全計画の単位			
			建物名	構造	建築年	床面積(㎡)	建物名	構造	建築年	床面積(㎡)
市営住宅	光ヶ丘住宅	建築住宅課	住宅A	RC	1970	1,934	住宅A	RC	1970 (2012)	1,951
市営住宅	光ヶ丘住宅	建築住宅課	ポンプ室A	特殊コンクリートブロック 平屋建	1972	8				
市営住宅	光ヶ丘住宅	建築住宅課	自転車置場A		2012	8				
市営住宅	光ヶ丘住宅	建築住宅課	住宅B	RC	1971	2,087	住宅B	RC	1971 (2013)	2,095
市営住宅	光ヶ丘住宅	建築住宅課	自転車置場B		2013	8				
市営住宅	光ヶ丘住宅	建築住宅課	住宅C	RC	1972	2,041	住宅C	RC	1972 (2014)	2,049
市営住宅	光ヶ丘住宅	建築住宅課	自転車置場C		2014	8				
市営住宅	光ヶ丘住宅	建築住宅課	住宅D	RC	1973	2,075	住宅D	RC	1973 (2015)	2,085
市営住宅	光ヶ丘住宅	建築住宅課	自転車置場D		2015	10				
市営住宅	南二日町住宅	建築住宅課	住宅A	RC	1975	2,524	住宅A	RC	1975 (2017)	2,538
市営住宅	南二日町住宅	建築住宅課	物置A	コンクリートブロック平屋建	1975	0				
市営住宅	南二日町住宅	建築住宅課	物置D	コンクリートブロック造平屋建	1975	0				
市営住宅	南二日町住宅	建築住宅課	自転車置場A	S	1977	0				
市営住宅	南二日町住宅	建築住宅課	ポンプ室A	コンクリートブロック平屋建	1975	15				
市営住宅	南二日町住宅	建築住宅課	自転車置場C	S	2017	10				
市営住宅	南二日町住宅	建築住宅課	住宅B	RC	1976	1,743	住宅B	RC	1976	1,828
市営住宅	南二日町住宅	建築住宅課	物置B	コンクリートブロック平屋建	1976	42				
市営住宅	南二日町住宅	建築住宅課	物置E	コンクリートブロック造平屋建	1976	42				
市営住宅	南二日町住宅	建築住宅課	機械室A	コンクリートブロック造平屋建	1975	0				
市営住宅	南二日町住宅	建築住宅課	住宅C	RC	1977	1,743	住宅C	RC	1977	1,971
市営住宅	南二日町住宅	建築住宅課	物置C	コンクリートブロック平屋建	1977	42				
市営住宅	南二日町住宅	建築住宅課	物置F	コンクリートブロック造平屋建	1976	42				
市営住宅	南二日町住宅	建築住宅課	自転車置場B	S	1977	48				
市営住宅	南二日町住宅	建築住宅課	集会所A	S	1977	96				
市営住宅	山田住宅	建築住宅課	住宅A	RC	1979	1,133	住宅A	RC	1979	1,207
市営住宅	山田住宅	建築住宅課	物置A	ブロック平屋建	1979	24				
市営住宅	山田住宅	建築住宅課	物置B	ブロック平屋建	1979	24				
市営住宅	山田住宅	建築住宅課	自転車置場A	S	1979	26	住宅B	RC	1979	805
市営住宅	山田住宅	建築住宅課	住宅B	RC	1979	756				
市営住宅	山田住宅	建築住宅課	物置C	ブロック平屋建	1979	16				
市営住宅	山田住宅	建築住宅課	物置D	ブロック平屋建	1979	16				
市営住宅	山田住宅	建築住宅課	自転車置場B	S	1979	18				
市営住宅	山田住宅	建築住宅課	住宅C	RC	1978	1,133	住宅C	RC	1978	1,215
市営住宅	山田住宅	建築住宅課	物置E	ブロック平屋建	1978	24				
市営住宅	山田住宅	建築住宅課	物置F	ブロック平屋建	1978	24				
市営住宅	山田住宅	建築住宅課	自転車置場C	S	1978	26				
市営住宅	山田住宅	建築住宅課	ポンプ室A	ブロック平屋建	1978	8				
市営住宅	山田住宅	建築住宅課	住宅D	RC	1978	756	住宅D	RC	1978	900
市営住宅	山田住宅	建築住宅課	物置G	ブロック平屋建	1978	16				
市営住宅	山田住宅	建築住宅課	物置H	ブロック平屋建	1978	16				
市営住宅	山田住宅	建築住宅課	自転車置場D	S	1978	18				
市営住宅	山田住宅	建築住宅課	集会所A	S	1979	95				

施設分類	施設名	所管課名	建物基本台帳				公共施設保全計画の単位			
			建物名	構造	建築年	床面積(㎡)	建物名	構造	建築年	床面積(㎡)
市営住宅	中住宅	建築住宅課	住宅A	RC	1980	755	住宅A	RC	1980	815
市営住宅	中住宅	建築住宅課	プロパン庫	コンクリートブロック造	1980	6				
市営住宅	中住宅	建築住宅課	ポンプ室A	コンクリートブロック造	1980	7				
市営住宅	中住宅	建築住宅課	物置A	CB造 平屋建	1980	35				
市営住宅	中住宅	建築住宅課	自転車置場A	LSB造 平屋建	1980	13				
市営住宅	柳郷地住宅	建築住宅課	住宅A	RC	1981	842	住宅A	RC	1981	1,027
市営住宅	柳郷地住宅	建築住宅課	物置A	CB造 平屋建	1981	35				
市営住宅	柳郷地住宅	建築住宅課	自転車置場A	SB造 平屋建	1981	17				
市営住宅	柳郷地住宅	建築住宅課	集会所A	S造 平屋建	1985	132				
市営住宅	柳郷地住宅	建築住宅課	住宅B	RC	1982	673	住宅B、住宅C	RC	1982	1,153
市営住宅	柳郷地住宅	建築住宅課	住宅C	RC	1982	410				
市営住宅	柳郷地住宅	建築住宅課	物置B	CB造 平屋建	1982	26				
市営住宅	柳郷地住宅	建築住宅課	物置C	CB造 平屋建	1982	17				
市営住宅	柳郷地住宅	建築住宅課	自転車置場E	鉄骨造	1982	22				
市営住宅	柳郷地住宅	建築住宅課	機械室A	鉄筋コンクリート造	1981	0				
市営住宅	柳郷地住宅	建築住宅課	ポンプ室A	鋼板パネル	1981	0				
市営住宅	柳郷地住宅	建築住宅課	ポンプ室B	鋼板パネル	1982	0				
市営住宅	柳郷地住宅	建築住宅課	機械室B	鉄骨造	2011	5				
市営住宅	柳郷地住宅	建築住宅課	住宅D	RC	1983	1,878				
市営住宅	柳郷地住宅	建築住宅課	物置D	CB造 平屋建	1983	44	住宅D	RC	1983	1,878
市営住宅	柳郷地住宅	建築住宅課	物置E	CB造 平屋建	1983	35				
市営住宅	柳郷地住宅	建築住宅課	自転車置場D	鉄骨造	1983	39				
市営住宅	柳郷地住宅	建築住宅課	住宅E	RC	1985	1,879				
市営住宅	柳郷地住宅	建築住宅課	物置F	CB造 平屋建	1985	44	住宅E	RC	1985	1,996
市営住宅	柳郷地住宅	建築住宅課	物置G	CB造 平屋建	1985	35				
市営住宅	柳郷地住宅	建築住宅課	自転車置場B	S造 平屋建	1985	39				
市営住宅	柳郷地住宅	建築住宅課	住宅F	RC	1986	1,468	住宅F	RC	1986	1,553
市営住宅	柳郷地住宅	建築住宅課	物置H	コンクリートブロック平屋建	1986	35				
市営住宅	柳郷地住宅	建築住宅課	物置I	コンクリートブロック造	1986	26				
市営住宅	柳郷地住宅	建築住宅課	自転車置場C	鉄骨平屋建	1986	24				
市営住宅	加茂住宅	建築住宅課	住宅A	RC	2000	999	住宅A	RC	2000	1,094
市営住宅	加茂住宅	建築住宅課	自転車置場A	鉄骨造	2000	10				
市営住宅	加茂住宅	建築住宅課	ポンプ室A	ステンレス鋼板製	2000	5				
市営住宅	加茂住宅	建築住宅課	相談所	木造平屋建	2000	81				
市営住宅	加茂住宅	建築住宅課	住宅B	RC	2001	698	住宅B	RC	2001	732
市営住宅	加茂住宅	建築住宅課	物置A	PC板平屋建	2001	24				
市営住宅	加茂住宅	建築住宅課	自転車置場B	鉄骨造平屋建	2001	10				

【サービスの評価(各住宅)】

施設名称	床面積 (㎡)	利用状況(2017年度)2018.3月末現在			コスト(2017年度) 単位:千円						
		全戸数 (戸数)	入居戸数 (戸数)	充足率 (%)	支出				収入	年間経費 (支出-収入)	一戸当り経費
					管理委託料	光熱水費	人件費	その他支出	使用料等		
谷田住宅	1,668	27	27	100.0%	84	0	584	265	6,918	-5,985	-221.7
梅名西住宅	2,166	27	25	92.6%	99	9	584	2,331	7,631	-4,608	-184.3
梅名北住宅	3,146	42	42	100.0%	200	0	908	731	11,372	-9,533	-227.0
徳倉住宅	1,390	24	24	100.0%	107	0	519	1,371	6,317	-4,320	-180.0
日の出町住宅	5,151	72	70	97.2%	230	0	1,556	2,218	16,944	-12,940	-184.9
千枚原住宅	1,753	34	33	97.1%	87	0	735	1,186	7,166	-5,158	-156.3
藤代住宅	4,927	93	86	92.5%	212	0	2,009	1,464	16,889	-13,204	-153.5
光ヶ丘住宅	8,252	112	108	96.4%	239	0	2,420	1,197	22,251	-18,395	-170.3
南二日町住宅	6,347	98	64	65.3%	284	0	2,117	1,009	12,103	-8,693	-135.8
山田住宅	4,127	60	48	80.0%	326	0	1,296	2,598	12,601	-8,381	-174.6
中住宅	815	12	12	100.0%	54	0	260	1,136	3,275	-1,825	-152.1
柳郷地住宅	7,725	102	80	78.4%	444	0	2,204	3,160	24,749	-18,941	-236.8
加茂住宅	1,826	27	25	92.6%	141	0	584	1,086	7,646	-5,835	-233.4

※南二日町住宅の入居戸数について、全面改善工事のため、B棟(32戸)が減となっている

【サービスの評価(各住宅)】

施設名称	所在地	駐車場	地域	都市計画	立地適正化計画	コメント	対策内容
谷田住宅	谷田134-2	16	錦田地域	市街化区域	地域拠点周辺 (谷田地区遺伝研坂 下周辺)	・東海バス谷田バス停から1分 ・近くにスーパーがある	現状維持
梅名西住宅	梅名444	10	中郷地域	市街化調整区域		・伊豆箱根バスプラザ入口バス停 から3分 ・近くにコンビニがある	現状維持
梅名北住宅	梅名471-1	35	中郷地域	市街化区域		・伊豆箱根バス梅名バス停から3分 ・近くにスーパー(ポテト)がある	現状維持
徳倉住宅	徳倉3-17-15	16	北上地域	市街化区域	地域拠点周辺 (幸原町・徳倉)	・きたうえ号市営徳倉住宅バス停か ら徒歩1分 ・近くに買い物するところがない	現状維持
日の出町住宅	日の出町7-30	0	旧市内地域	市街化区域	中心拠点	・東海バス日の出町バス停から徒 歩3分 ・街中にある ・商店街が近くにある	拡大
千枚原住宅	千枚原3	18	北上地域	市街化区域		・富士急シティバス千枚原住宅入 口バス停から徒歩4分 ・スーパーは少し遠い。	現状維持
藤代住宅	藤代町6-1	68	中郷地域	市街化区域		・ふれあい号三角公園バス停から 徒歩1分 ・街中にある ・近くに買い物するところがない	拡大

施設名称	所在地	駐車場	地域	都市計画	立地適正化計画	コメント	対策内容
光ヶ丘住宅	光ヶ丘2-20-1	43	北上地域	市街化区域		<ul style="list-style-type: none"> ・富士急シティバス光ヶ丘二丁目バス停から徒歩2分 ・スーパーは少し遠い。 	縮小
南二日町住宅	南二日町21-12	5	旧市内地域	市街化区域		<ul style="list-style-type: none"> ・伊豆箱根鉄道二日町駅から徒歩4分 ・街中にある ・近くにコンビニがある 	拡大
山田住宅	旭ヶ丘29-1	28	錦田地域	市街化区域		<ul style="list-style-type: none"> ・伊豆箱根バス旭ヶ丘上バス停から徒歩5分 ・近くに買い物するところがない 	縮小
中住宅	中126-1	0	錦田地域	市街化区域		<ul style="list-style-type: none"> ・東海バス学校前バス停から徒歩5分 ・近くにコンビニがある 	現状維持
柳郷地住宅	柳郷地135-1	72	錦田地域	市街化区域		<ul style="list-style-type: none"> ・東海バス柳郷地団地バス停から徒歩1分 ・近くに買い物するところがない 	縮小
加茂住宅	加茂2-2	13	旧市内地域	市街化区域		<ul style="list-style-type: none"> ・伊豆箱根バス加茂入口バス停から徒歩4分 ・近くにスーパーがある 	現状維持

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	市民文化会館		
施設所管課	文化振興課	施設分類	文化施設
開設年	1991年	総延床面積 (㎡)	9,558
目的	文化の振興		
写真	  		

【サービスの評価】

サービス内容	自主文化事業の実施、貸館(大ホール、小ホール、会議室、練習室など) ※有料			
	運営時間	9:00～21:30(前後最大30分ずつ繰り上げ、繰り下げ可)	休館日	第3月曜日(祝日の場合、翌日)
	駐車台数	49台(主催者専用の駐車場であり、観客用の駐車場はない。)		

主な評価項目(2017年度)					
利用状況	部屋名称	年間利用者数	年間件数	利用率	回転率
	大ホール	117,368	266	72.8%	60.2%
	小ホール	47,432	283	73.1%	56.1%
	大会議室	18,793	286	72.9%	50.1%
	第1会議室	8,222	329	79.0%	56.8%
	第2会議室	6,971	300	75.8%	50.8%
	第3会議室	4,528	444	91.8%	66.6%
	和室	4,736	270	68.8%	36.9%
	特別会議室	2,231	139	37.6%	24.1%
	リハーサル室	16,635	537	96.2%	70.9%
	第1練習室	6,816	256	63.8%	37.2%
	第2練習室	5,167	333	78.1%	49.0%
	大ホール第1～5楽屋	6,600	660	大小ホールの附属施設であるので、ホール利用者以外に貸出はしない	
	小ホール第1～3楽屋	4,018	403		
	合計・平均	249,517	4,506	73.6%	50.8%
評価					
A					
コメント					
<ul style="list-style-type: none"> ・大小ホールの利用率は県東部地区ではトップクラス。(2016年度で大ホール1位、小ホール3位) ・自主文化事業は年20数本を実施。(2017年度:25本) ・三島駅から近いので、車を運転しない人も来場しやすい。一方で、利用者用の駐車場はない。(主催者用のみ)※車で来て近隣有料駐車場に駐車する人が多い。 ・予約受付開始日に施設予約が競合する場合、協議または抽選を実施している。利用率が高く、利用したい日程では予約を取りにくいとの意見が文化団体等から寄せられている。 ・市民ロビー・屋外広場を貸し出せるよう条例改正し、2018年4月より施行している。 					
将来予測					
人口の減少に従い、利用者数も減少していくと考えられるが、利便性が良いため、大きく変化しないと考えられる。					
コスト	施設運営形態				
	指定管理				
	2017年度 支出(千円)				
	指定管理料		借地料		その他支出
	105,326		45,175		270
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費	評価
	使用料等	その他収入			
	0	0	150,771	0.60	中

立地状況	所在地	地域	都市計画	立地適正化計画
	一番町20-5	旧市内地域	市街化区域	中心拠点
	周辺駅・バス停			
	三島駅から徒歩3分			
	コメント			
	市内外から利用者が訪れる施設なので、交通の便がよいところに立地していることが望ましい。現在地は三島駅から徒歩3分であり、立地として好ましいと思われる。			
問題点	☆借地料が高額である ☆来客用の駐車場がない(ただし三島駅から近い)			
対策内容の可能性	項目	コメント		
	移転	借地の解消及び駐車場拡大のため移転することが考えられるが、現在地は立地適正化計画の中心拠点内であり、また三島駅から徒歩3分という好立地なので、移転することは難しい。 (郊外に立地していても、大ホール・小ホール利用者すべての駐車場を確保できない。)		
	サービス内容の見直し	『三島市民文化会館改修基本計画(H28)』に基づき、設備等施設改修を行う。 市民ロビー、屋外広場を貸し出しできるよう条例を改正し、平成30年4月より施行(貸し出しを開始)し、空きスペースの活用を行っている。		
	複合化(受入れ)	文化振興基本計画等で市の文化の拠点として位置付けており、市民が気軽に集えるロビー等が必要である。また、市民ロビー、屋外広場を貸し出しできるよう条例を改正し、平成30年4月より施行(貸し出しを開始)しているため、複合化は難しい。		
	広域化	<ul style="list-style-type: none"> ・回転率が50%を超えており、市民文化会館を借りられず、他市町の施設を利用している団体もある。広域利用は難しい。 ・市民文化会館は、施設を貸し出しするだけでなく、自主文化事業の実施など「新しい広場」として市の文化の拠点に位置付けているので広域化は難しい。 		
	廃止(代替施設の検討)	【生涯学習センター 講義室(定員150人)】 アップライトピアルしかなく、音響・照明設備が整っておらず、代替施設とすることは困難。 【静岡県総合健康センター(県) ホール(定員300人)】 市街地から遠く、公共交通機関が整っていないため、自家用車を利用する人以外は利用できない。 【その他】 1,000人以上収容できるホールが市内にないため、式典、成人式等を開催するのが困難。		
対策内容	☆現状維持			

【建築物の評価】

名称	本館A		
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)
	1990(27)	SRC・地上4地下1	9,558
管理方針	施設区分	使用終了予定年	
	長寿命化施設	2070	
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期
	実施時期	残存耐用年数	
	2030		2030
実施方針	<p>☆2030年頃に構造体耐久性調査を行い、結果に基づき大規模改修(屋上防水や外壁の改修を予定)を行う。</p> <p>※内装や設備等の改修については、『三島市民文化会館改修基本計画(H28)』に基づき実施</p>		

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	郷土資料館		
施設所管課	郷土文化財室	施設分類	文化施設
開設年	1971年	総延床面積(㎡)	935
目的	文化の振興、文化財の収集・保存		
写真	  		

【サービスの評価】

サービス内容	文化財の展示、講座 ※入館無料					
	運営時間	9時～17時(4～10月) 9時～16時30分(11～3月)	休館日	毎週月曜日(祝日のときは翌日)及び年末年始		
	駐車台数	82(楽寿園用)				
利用状況	主な評価項目					
	年間利用者数(人)				評価	備考
	2015年度	2016年度	2017年度	2016年度(最大時)		
	59,395	69,798	65,930	69,798	A	

利用状況	コメント					
	<ul style="list-style-type: none"> アンケートから利用者数は初めての来館者と4回以上の来館者との二極化していると推測される。 利用者数の約6割が展示の見学者、残りの約4割が講座受講者、社会科見学者、ボランティアなどと推測される。 小学校の社会科見学などで利用されている。 体験型の講座や講演会などの主催事業を年間50～60回実施し、企画展を年3～5本開催している。(2017年度 主催事業61回、企画展5本) 展示ケースは、防犯、温度・湿度対策に優れているものを使っている。(高価) 					
	将来予測					
今後5～10年程度は観光客の増加などにより現状を維持し、その後の10年間は65才以上構成比増加により、地域のアイデンティティの上昇が予測されるため若干増加すると考えられる。その後は少子化対策が功を奏しない限り、減少に転じると予測される。						
コスト	施設運営形態					
	直営					
	2017年度 支出(千円)					
	管理委託料	光熱水費	人件費	借地料	その他支出	
	1,364	2,059	22,371	0	0	
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費		評価
	使用料等	その他収入				
0	0	25,794	0.39		低	
立地状況	所在地		地域	都市計画	立地適正化計画	
	一番町19-3(楽寿園内)		旧市内地域	市街化区域	中心拠点	
	周辺駅・バス停					
	三島駅から徒歩5分					
	コメント					
	三島市の地質的・歴史的特徴を代表し、また、集客力のある楽寿園内にあることは他市町村の同様の施設と比べて優位にある。ただし、園内の最も奥にあるため来園者に認知されにくいという弱みはある。					
問題点	☆問題なし (講座等の実施メニューや素材に比して施設が狭く、利用者数の増加を阻んでいる。楽寿園の最も奥にあるため、来園者に認知されにくい。)					

	項目	コメント
対策内容の可能性	民間連携	民間施設で展示し、現施設を取り壊した場合、所蔵する文化財を保存する施設を新規に建設する必要がある。 また、会場の借り上げ料・資料運搬にかかる経費・展示施設が離れることによる業務の非効率化のための人件費増大などコストは増大すると考えられる。 受け入れ先としては佐野美術館しか考えられないが、協力が得られたとしても有料となり、利用者負担の増加になる。
	広域化	地域の歴史や文化を学習してもらうことを目的とした施設であるため、広域化はサービスの質を薄めることとなる。地域内(北伊豆)に同種の施設が少なく、広域化には受け入れられる建物探しと改修または新館建設が必要であり、多大な予算が必要となる。また、ノウハウのない市町との広域化は三島市の負担が大きい。
	複合化	【市民生涯学習センター】 5階第1～4研修室を利用した郷土資料館複合化図面を提示している。市民生涯学習センターからは現状受け入れるだけのスペースはないと回答を受けているが、将来的には耐用年数終了に至る前には再検討の必要性がある。生涯学習センター、図書館、郷土資料館の機能がひとつの建物に存在する意義は大きく、市民文化会館よりは活用面での効果は大きい。
		【市民文化会館】 文化会館の利用者は特定の目的をもっているため、現在と比べて郷土資料館の利用者が大幅に低下すると予想される。
現状維持	民間連携・広域化・複合化のどの対策も現館の継続使用と比較して経費の増大が伴う上サービスの低下が予想される。	
対策内容	☆現状維持	

サービス内容	文化財の収集・整理・保存 ※資料整理・調査のためのスペース必要	
利用状況	現在の利用状況	
	<ul style="list-style-type: none"> 古文書を読む会(ボランティア)が月4回活動、古文書整理の会(ボランティア)が月1.5回活動 年間15～30件程度の資料寄贈の申し込みがある。 約4.3万点の資料(古文書、古書、民具、美術、自然)を収蔵 	
	将来予測	
	資料数は2012年度末約3.4万点から2017年度末は約4.3万点に増加している。近年はこれまで古文書などを保管していた旧家からの多数の資料の一括の寄贈が増えており、今後もこの傾向は続く予想される。	
問題点	☆年々増加する資料の収蔵場所が不足している。	
対策内容の可能性	項目	コメント
	複合化	郷土資料館に収まらなくなった分については、他の公共施設の空きスペースに複合化する。(空調設備や機械警備などの整備が必要となる。)
対策内容	☆現状維持及び複合化(できる範囲で文化財の整理に努める)	

【建築物の評価】

名称	郷土資料館		
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)
	1972(47)	RC・地上3	935
管理方針	施設区分	使用終了予定年	
	長寿命化施設	2052	
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期
	実施時期	残存耐用年数	
	2032		2032(小規模)
実施方針	☆2032年頃に構造体耐久性調査を行い、結果に基づき改修を行う。 (2012年に耐震補強工事に併せて、改修を実施済。)		

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	エコセンター(旧三島測候所)		
施設所管課	環境政策課	施設分類	文化施設
開設年	1930年	総延床面積(m ²)	268
目的	文化財の保存、環境啓発		
写真	 		

【サービスの評価】

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財である建物の保存、一般公開 ・環境ボランティアの作業スペース、荷物置場、イベント会場 ・貸館(会議室) 					
	運営時間	火～金:13時～17時 土日:9時30分～16時30分	休館日	毎週月曜日及び年末年始		
	駐車台数	4台				
利用状況	主な評価項目					
	年間利用者数(人)				評価	備考
	2015年度	2016年度	2017年度	2016年度(最大時)		
	2,491	4,059	2,310	4,059	C	2016年はさわやかエコウォーキングで利用された
	コメント					
	<ul style="list-style-type: none"> ・国の登録有形文化財に指定されている。(平成19年5月に指定) ・歴史的風致維持向上計画(平成28年10月)において事業概要に掲載されている。(構成建造物としての登録はされていない。このため維持管理について補助金等はない。) ・主な利用者は、環境ボランティア、市職員であり、文化財としての見学者は少ない。また地元の方が会議室として利用している。2017年度利用者数(2310人)の内訳は、一般開放による見学者(337人・15%)、イベント参加者(1357人・59%)、貸館(616人・26%)である。 ・1階は展示スペース、作業スペース、会議室。2階は倉庫。 ※消防法により2階に非常口がないため現状のままでは公会堂や集会所として利用することができない。 ・駐車場が4台分しかなく、イベント時は、南二日町グラウンドや保健センターの駐車場を借りているが距離があり、利用者に不便を掛けている。 					
将来予測						
微減が続くと思われる						

コスト	施設運営形態					
	委託					
	2017年度 支出(千円)					
	管理委託料	光熱水費	人件費	借地料	その他支出	
	1,782	85	0	0	469	
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費		評価
	使用料等	その他収入				
0	210	2,126	0.92		中	
立地状況	所在地		地域	都市計画	立地適正化計画	
	東本町2-5-24		旧市内地域	市街化区域	中心拠点	
	周辺駅・バス停					
	三島二日町駅から徒歩7分					
	コメント					
特になし						
問題点	<p>☆消防法の規制や駐車場が少ないことにより、イベント会場や集会所として利用しにくい。</p> <p>☆一般見学者を多く呼べる施設ではない。</p> <p>☆建物は文化財なので保存していく必要がある。</p>					
対策内容の可能性	項目	コメント				
	用途変更	旧北上公民館にある文化財の保管倉庫に用途変更				
		現在のサービスについて				
		複合化	環境活動については、東小学校の空きスペースに複合化。(イベントを実施するので駐車場が取れる施設が望ましい。)			
	廃止	一般公開については、事前予約制にし、職員が対応				
	サービス内容の見直し 運営形態の見直し	常時一般開放を止めて、見学希望があった時にのみ市職員が対応。これに伴い、業務委託の必要がなくなり委託料が削減される。一方で職員の負担が増える。				
運営形態の見直し	歴史的財産として国による管理の可能性を検討(国の問い合わせの窓口等について郷土文化財室と協議する。)					
対策内容	<p>☆建築物について、倉庫へ用途変更する。</p> <p>☆環境活動については、東小学校へ複合化する。一般公開については、事前予約制にし、職員が対応する。</p>					

【建築物の評価】

名称	エコセンター				
基本情報	建築年(築年数)	構造		面積(m ²)	
	1931(86)	RC・地上2		268	
管理方針	施設区分	使用終了予定年			
	長寿命化施設				
調査	構造体耐久性調査			大規模改修実施時期	総合劣化度
	実施時期	残存耐用年数			
	2023			2023	34.1
実施方針	<p>☆用途変更時(2023年頃を予定)に構造体耐久性調査を行い、結果に基づき、改修を行う。</p> <p>※築年数が80年以上経過しているため、個別の対応が必要となる。(平成13年3月に国が実施した建物の耐震診断では構造体は安全と判断されている。)</p>				

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	三嶋曆師の館		
施設所管課	商工観光課	施設分類	産業関連施設
開設年	不明	総延床面積 (㎡)	215
目的	文化財の保存		
写真	  		

【サービスの評価】

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財である建物の保存、一般公開 ※入館無料 ・曆師の会や地域の方がイベントを開催。(月1回程度/H29実績10回) 					
	運営時間	9時30分～16時30分	休館日	毎週月曜日、年末年始		
	駐車台数	0台				
利用状況	主な評価項目					
	年間利用者数(人)				評価	備考
	2015年度	2016年度	2017年度	2005年度(最大時)		
	3,831	3,806	3,427	4,947	C	

利用状況	コメント					
	<ul style="list-style-type: none"> ・館内の案内と施設管理を業務委託。開館時間は1名が常駐。 ・展示スペース(ガラスケースなどもあり)とイベントを行うスペースあり ・国の登録有形文化財に指定されている。 ・利用者内訳について、イベント参加者数527人、一般見学者2,901人である。 ・利用者内訳について、市内1,075人、市外721人、県内1,605人、海外26人である。 					
	将来予測					
	人口減少に伴い、利用者は減少していくと考えられる。					
コスト	施設運営形態					
	委託					
	2017年度 支出(千円)					
	管理委託料	光熱水費	人件費	借地料	その他支出	
	1,893	132	0	0	353	
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費		評価
	使用料等	その他収入				
0	0	2,378	0.69		中	
立地状況	所在地		地域	都市計画	立地適正化計画	
	大宮町2-5-17		旧市内地域	市街化区域	中心拠点	
	周辺駅・バス停					
	三嶋大社から徒歩5分					
	コメント					
	特になし					
問題点	☆利用者数が少なく、減少傾向である。					
対策内容の可能性	項目		コメント			
	廃止・解体		【建築物の解体】 文化財に指定されているとともに、三島市歴史的風致維持向上計画における歴史的建造物として位置づけられているため、建物解体は難しい。			
	サービス内容の見直し 運営形態の見直し		常時一般開放を止めて、見学希望があった時にのみ市職員が対応することにすれば、業務委託の必要がなくなり委託料が削減される。しかし、一般見学者が2,901人もいるので、職員が対応することは難しいと思われる。			
サービス内容の見直し 運営形態の見直し		委託料の削減をするため、来館者が少ない曜日や時間帯を休館とする。 (開館日数の見直し)				
対策内容	☆現状維持(開館日数の見直しを検討)					

【建築物の評価】

名称	曆師の館		
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)
	不明	W・地上1	215
管理方針	施設区分	使用終了予定年数	
	長寿命化施設		
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期
	実施時期	残存耐用年数	
	実施しない		個別に指定
実施方針	☆木造で築100年以上経過しているため、個別に調査・修繕・改修を実施していく。		

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	市営中央駐車場		
施設所管課	商工観光課	施設分類	産業関連施設
開設年	1994年	総延床面積(㎡)	6,340
目的	地元商店街等の活性化と市民の利便性向上		
写真			

【サービスの評価】

サービス内容	駐車スペース(自動車) ※利用料金 8:00~20:00は30分ごとに100円、20:00~8:00は1時間ごとに100円 ※最大駐車台数は269台					
	運営時間	24時間営業	休館日	年中無休		
利用状況	主な評価項目					
	年間利用件数				評価	備考
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度(最大時)		
	137,257	141,246	139,397	154,912	B	
	利用者の内訳					
	分類	公用車	市役所職員	一般利用者	合計	
	定期利用者	35	68	84	187	
	分類	市役所来庁者		一般利用者		
定期外利用者	約18%		約82%			

利用状況	コメント					
	<ul style="list-style-type: none"> ・売上げベースで見ると市役所関係が約3割、一般利用によるものが約7割 ・台数ベースで見ると約50%を市役所関係が占めている。 ・近年、周辺にコインパーキング等が増加している 					
	将来予測					
	近隣に安価な駐車場が増えているので、利用者数は減少していくと考えられる。					
コスト	施設運営形態					
	委託					
	2017年度 支出(千円)					
	管理委託料	光熱水費	人件費	借地料	その他支出	
	16,704	3,004	0	0	40,703	
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費		評価
	使用料等	その他収入				
56,068	9,664	-5,321			収益施設	
立地状況	所在地		地域	都市計画	立地適正化計画	
	中央町1-8		旧市内地域	市街化区域	中心拠点	
	周辺駅・バス停					
	沼津登山東海バス「本町プラザホテル前」から徒歩1分					
	コメント					
	・高い利用率を維持するためには、近くに多くの方が訪れる施設(庁舎、文化会館、体育館、図書館など)が必要であると考えられる					
問題点	☆利用件数は、今後、さらに減少していくことが予想される。					
対策内容の可能性	項目	コメント				
	廃止	市営中央駐車場の利用分は、周辺の民間駐車場で収容可能と試算されていることから、廃止しても、地元商店街等の衰退には繋がらないと思われる。但し、市庁舎関連の利用分をすべて市役所近くの駐車場でカバーすることはできないので、市役所の建替えまでは駐車場として存続している必要がある。				
	民営化	民間のコインパーキングが増えてきている中、駐車場の整備運営は、民間施設を含めて地域の需要を随時把握し、供給量や料金について柔軟に対応していくことが必要となる。このため、駐車場事業については、専門事業者に任せの方が効率的であると思われる。				
	運営形態の見直し	経費削減できないか、管理委託の業務内容等の見直しを図っていく。				
対策内容	☆市営中央駐車場ファシリティマネジメント検討委員会の結論に従い、庁舎建て替えまで駐車場機能の維持を条件に民間へ売却する。 ※計画上は、売却の予定年度を新庁舎建設年度の2032年度としておく。					

【建築物の評価】

名称	駐車場		
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)
	1994(24)	SRC・地上5地下1	6,340
管理方針	施設区分	使用終了予定年	
	長寿命化施設	未定	
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期
	実施時期	残存耐用年数	
	実施する (時期未定)	/	実施しない
実施方針	☆売却予定のため、大規模改修は計画しない。		

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	三島駅北口自転車等駐車場		
施設所管課	地域協働・安全課	施設分類	産業関連施設
建築年	2006年	総延床面積 (㎡)	2,491
目的	三島駅周辺における自転車等の放置を防止		
写真	  		

【サービスの評価】

サービス内容	駐車スペース(自転車、バイク) ※料金は、バイク1日150円、自転車1日100円。				
	運営時間	6時00分～24時00分	休館日	なし	
利用状況	主な評価項目(2017年度)				
	種別	年間利用者数	年間運営日数	1日あたり平均利用者数	最大駐車台数
	自転車	187,123	365	513	1,047
	バイク	95,799	365	262	373
	コメント				
	<ul style="list-style-type: none"> ・利用割合は、市内48%、市外52%(平成29年5月の定期券の購入状況) ・3階の空きスペースは、放置自転車置場として利用している。 				
将来予測					
人口減少に伴い、利用者も減少していくと考えられる。三島駅を利用する関東方面への通勤者が増えれば、減少率は抑えることができる。					

コスト	施設運営形態					
	委託					
	2017年度 支出(千円)					
	管理委託料	光熱水費	人件費	借地料	その他支出	
	14,392	767	737	0	370	
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費		評価
	使用料等	その他収入				
	30,532	0	-14,266			収益施設
立地状況	所在地		地域	都市計画	立地適正化計画	
	文教町1-3-88		旧市内地域	市街化区域	中心拠点	
	周辺駅・バス停					
	JR三島駅から徒歩2分					
	コメント					
	特になし					
問題点	☆市外の利用割合が高い ☆管理委託料が高額					
対策内容の可能性	項目	コメント				
	サービス内容の見直し	【オートゲートの導入による委託料の削減】 オートゲートを導入するためには、大規模に出入口を改修する必要があり、多大な経費が見込まれる。				
対策内容	サービス内容の見直し	【料金体系の見直し(市外と市内料金の区別)】 ・余分な処理が必要となり、経費が増える。 ・長泉町、函南町、沼津市、富士市など周辺市町は、駐輪場が無料であるため、市外の利用者の理解が得難い。現状、県内市町で、市内市外を区別して料金設定をしている自治体はない。 ・三島駅は、JR在来線・新幹線、また、伊豆箱根鉄道駅が隣接している交通の要衝であり、公共交通機関を利用し、市外から学生や会社員など多くの方が通学通勤している。市外利用者の63.8%は、学生の利用で、市外在住とは言え、利用頻度の多い学生に負担を求めるのは得策ではないと考える。				
	対策内容	☆現状維持				

【建築物の評価】

名称	駐車場			
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)	
	2005(12)	S・地上3	2,491	
管理方針	施設区分	使用終了予定年		
	一般施設	2065		
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期	総合劣化度
	実施時期	残存耐用年数		
	実施しない		2045	10.0
実施方針	☆2045年頃に大規模改修を実施			

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	楽寿園			
施設所管課	楽寿園	施設分類	公園施設	
開設年	1952年	総延床面積 (㎡)	2,131	敷地面積 (㎡) 75,474
目的	街中の自然環境及び文化財(楽寿館など)の保全			
写真				

【サービスの評価】

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の保管および一般公開 ・街中の自然を公園として整備し、一般開放 				
	運営時間	9時00分～17時00分	休館日	毎週月曜日	
	駐車台数	82台			
利用状況	主な評価項目(2017年度)				
	部屋名称	年間利用者数	年間件数	稼働率	回転率
	梅御殿	3,208	53	17.0	14.7
	評価				
	C				

	楽寿館	年間利用者数(人)				評価
		2015年度	2016年度	2017年度	1998年度 (最大時)	
			16,424	18,043	16,080	21,100
利用状況	入園者全体 (2017年度)	年間利用者数	運営日	一日あたり平均 利用者数	備考	
		320,051	312	1,026		
コメント						
<ul style="list-style-type: none"> ・楽寿館は県・市指定の文化財、梅御殿は国の登録有形文化財に指定されている。 ・団体客は歴史的建造物である楽寿館を含む庭園を目当てに訪れる客層が多い。1日6回の一般公開。 ・梅御殿については有料で貸し出し。文化イベントや記念撮影等の場として活用されている。 ・展示場は、1階部分は自動遊具設置場所、職員詰所として常時活用している。 ・2階部分はイベント及び講習会会場として利用している。イベント等未利用時には常時開放しており、授乳室が備えてある。雨天のときにも使える屋内施設。 ・駐車場については近隣の民有地を借地契約している。 						
将来予測						
近年は、イベントに力を入れていることから入園者数は増加傾向にあり、この傾向はしばらく続くと思われる。一方で、長い期間で考えると人口減少に伴い、入園者も減少していくと考えられる。						
コスト	施設運営形態					
	直営					
	2017年度 支出(千円)					
	管理委託料	光熱水費	人件費	借地料	その他支出	
	10,246	4,123	106,246	16,430	71,818	
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費		評価
	使用料等	その他収入				
66,774	4,280	137,809	0.43		中	
立地状況	所在地		地域	都市計画	立地適正化計画	
	一番町19-3		旧市内地域	市街化区域	中心拠点	
	周辺駅・バス停					
	三島駅から徒歩2分					
	コメント					
特になし						
問題点	<ul style="list-style-type: none"> ☆梅御殿の利用率が低い。(梅御殿については、文化財の側面が強く、一般利用を目的とした施設ではないので、利用率が低いのも致し方ないとする。) ☆借地をしている 					

	項目	コメント
対策内容の可能性	運営形態の見直し	【指定管理者制度の導入】 楽寿園は市の貴重な財産であり、市が責任をもって適正管理し継承していく必要があるため、指定管理者制度の導入は難しい。
	サービス内容の見直し	【無料開放(券売者の人件費を削減)】 文化財の保全の観点から無料開放は難しい。
対策内容	☆現状維持	

【建築物の評価】

名称	事務所C			
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)	
	2006(11)	S・地上1	162	
管理方針	施設区分	使用終了予定年		
	一般施設	2066		
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期	総合劣化度
	実施時期	残存耐用年数		
	実施しない		2046	16.0
実施方針	☆2046年頃に大規模改修の実施			

名称	楽寿館			
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)	
	1890(127)	W・地上1	617	
管理方針	施設区分	使用終了予定年		
	一般施設			
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期	総合劣化度
	実施時期	残存耐用年数		
	実施しない		2035	26.6
実施方針	☆予防保全の考え方にに基づき、必要な修繕や改修を実施していく。 ☆計画期間の中間年(2035年)頃に大規模改修を予定しておく。			

名称	梅御殿		
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)
	1890(127)	W・地上1	235
管理方針	施設区分	使用終了予定年	
	一般施設		
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期
	実施時期	残存耐用年数	
	実施しない		2035
実施方針	<p>☆予防保全の考え方に基づき、必要な修繕や改修を実施していく。</p> <p>☆計画期間の中間年(2035年)頃に大規模改修を予定しておく。</p>		

名称	展示場など		
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)
	1976(41)	S・地上2	1,116
管理方針	施設区分	使用終了予定年	
	一般施設	2036	
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期
	実施時期	残存耐用年数	
	実施しない		実施しない
実施方針	<p>☆展示場については、2036年頃に建替え。建替時に面積の削減を検討する。</p> <p>☆その他の建物については、適宜、修繕や更新を実施していく。</p>		

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	市民体育館		
施設所管課	スポーツ推進課	施設分類	体育施設
開設年	1977年	総延床面積(㎡)	5,936
目的	市民の健康増進とスポーツの推進		
写真	 		

【サービスの評価】

サービス内容	貸館(各種競技場、トレーニング室、多目的室、会議室)				
	運営時間	9時00分～21時00分	休館日	毎月第3月曜日	
	駐車台数	215台(市民温水プールと共通)			
利用状況	主な評価項目(2017年度)				
	部屋名称	年間利用者数	年間件数	稼働率	
	競技場	67,678	2,181	87.9%	
	柔道場	11,124	561	58.3%	
	剣道場	10,505	635	67.2%	
	多目的室	9,281	657	88.7%	
	大会議室	5,311	391	93.9%	
	役員会議室	4,447	395	43.7%	
	卓球練習場	24,444	/		
	弓道場	9,874			
	トレーニングルーム	64,789			
	合計	207,453			73.3%
	評価				
A					

利用状況	コメント				
	<ul style="list-style-type: none"> ・利用件数は市民等による予約利用の件数。回転率は指定管理者および三島市による利用も含む。利用者数は、個人利用者数も含んでいる。 ・上記以外に、指定管理者の教室による利用が41,288人(屋外施設の教室を含む)。 ・競技場について、土曜・日曜においては各競技団体の行事や大会で年間予定の多くが埋まってしまう。1か月のうち何日か、大会等の予約を受けず市民の方に開放する日を設けている。 ・トレーニングルームについて、指定管理者がトレーニングマシンを導入してくれている。 ・大会等の際に駐車場が不足することがある。 				
	将来予測				
	スマートウェルネスを推進していることもあり、健康志向が高まっている。このため、人口が減っても需要は減らないと考えられる。				
コスト	施設運営形態				
	指定管理				
	支出(千円)				
	指定管理料		借地料	その他支出	
	金額	備考			
	95,733	市民体育館・市民温水プールほか4施設の合計	0	0	
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費	評価
	使用料等	その他収入			
0	0	95,733		低	
立地状況	所在地	地域	都市計画	立地適正化計画	
	文教町2-10-57	旧市内地域	市街化区域	中心拠点	
	周辺駅・バス停				
	三島市民体育館前バス停から徒歩1分				
	コメント				
	<ul style="list-style-type: none"> ・市内外から利用者が訪れるので、交通の便がよいところに立地していることが望ましい。三島駅からは徒歩5分程度、三島市民体育館前バス停から徒歩1分。また主要道路には面していないが駐車場がある。 				
問題点	☆利用希望が多く、使用できない人や団体が発生している。				

	項目	コメント
対策内容の可能性	現状維持	サービス(面積)が不足しているが、一部民間施設でも対応できるので現状維持とする。
	代替サービスの可能性	【大学の競技場】 大学の部活動等での利用が多く、市民に開放することは難しい。
		【小中学校の体育館】 学校体育施設開放事業により、市民に開放している。
		【静岡県総合健康センター(県):競技場、トレーニングルーム、卓球】 ・指定管理者が市民体育館と同じ業者であり、市民体育館に空きがない時は、静岡県総合健康センターを紹介してもらっている。 ・街中から、少し離れている。
	【民間のスポーツジム】 トレーニングルームは、民間のスポーツジムやフィットネスクラブにもある。ただし、利用料金は、市営体育館よりも高額。	
対策内容	☆現状維持	

【建築物の評価】

名称	体育館			
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)	
	1977(40)	SRC・地上2	5,778	
管理方針	施設区分	使用終了予定年		
	長寿命化施設	2057		
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期	総合劣化度
	実施時期	残存耐用年数		
	5年以内		5年以内	59.7
	備考			
屋根改修・耐震改修等は2011年度に実施済み。2022年度ごろに競技場床の張替が必要となる見込み。				
実施方針	☆2022年頃に構造体耐久性調査を行う。また、床の張替えや外壁改修等を実施する。 屋根等の改修については、2035年頃の実施を予定する。			

名称	弓道場			
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)	
	1984(33)	RC・地上1	158	
管理方針	施設区分	使用終了予定年		
	長寿命化施設	2064		
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期	総合劣化度
	実施時期	残存耐用年数		
	2024		2024	42.1
実施方針	☆2024年頃に構造体耐久性調査を行い、結果に基づき大規模改修を行う。			

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	市民温水プール		
施設所管課	スポーツ推進課	施設分類	体育施設
開設年	1999年	総延床面積(m ²)	3,853
目的	市民の健康増進とスポーツの推進		
写真	 		

【サービスの評価】

サービス内容	屋内温水プール ※利用料金は大人300円、小人・高齢者200円					
	運営時間	9時00分～21時00分	休館日	毎月第3月曜日		
	駐車台数	215台(市民温水プールと共通)				
利用状況	主な評価項目					
	年間利用者数(人)				評価	備考
	2015年度	2016年度	2017年度	2015年度(最大時)		
	121,479	118,208	118,011	121,479	A	
	コメント					
	<ul style="list-style-type: none"> ・2017年度の利用者の内訳は、大人45,497人、小人54,763人、その他(高齢者・障がい者・障がい者引率者)17,751人。 ・曜日や時間帯によっては混雑する。特に7月と8月には入場待ちが発生することがある。 					
将来予測						
スマートウェルネスを推進していることもあり、健康志向が高まっている。このため、人口が減っても、需要は減らないと考えられる。						

コスト	施設運営形態			
	指定管理			
	2017年度 支出(千円)			
	指定管理料		借地料	その他支出
	金額	備考		
	95,733	市民体育館・市民温水プールほか4施設の合計	0	0
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費
使用料等	その他収入			
0	0	95,733		低
立地状況	所在地	地域	都市計画	立地適正化計画
	文教町2-10-57	旧市内地域	市街化区域	中心拠点
	周辺駅・バス停			
	三島市民体育館前バス停から徒歩1分			
	コメント			
・市内外から利用者が訪れるので、交通の便がよいところに立地していることが望ましい。三島駅からは徒歩5分程度、三島市民体育館前バス停から徒歩1分。また主要道路には面していないが駐車場がある。				
問題点	☆曜日や時間帯によっては混雑する。特に7月と8月には入場待ちが発生することがある。			
対策内容の可能性	項目	コメント		
	現状維持	サービス(面積)が不足しているが、一部民間施設でも対応できるので、現状維持とする。		
	代替サービスの可能性	【民間のスポーツジム等】 大きなスポーツジムやフィットネスクラブであれば、温水プール設備を持っている。ただし、利用料金は、市営プールよりも高額。		
対策内容	☆現状維持			

【建築物の評価】

名称	プール			
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)	
	1998(19)	RC・地上2地下1	3,853	
管理方針	施設区分	使用終了予定年		
	長寿命化施設	2078		
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期	総合劣化度
	実施時期	残存耐用年数		
	2038		2038	20.3
実施方針	☆2038年頃に構造体耐久性調査を行い、結果に基づき大規模改修を行う。			

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	上岩崎プール				
施設所管課	スポーツ推進課	施設分類	体育施設		
開設年	1998年	総延床面積(㎡)	264	敷地面積(㎡)	1,140
目的	市民の健康増進とスポーツの推進				
写真	 				

【サービスの評価】

サービス内容	屋外プール。 ※利用料金は大人150円、小人50円					
	運営時間	9時00分～18時00分	休館日	毎月第3月曜日(夏季のみ営業。)		
	駐車台数	公園施設と共通				
利用状況	主な評価項目(2017年度)					
	年間利用者数(人)				評価	備考
	2015年度	2016年度	2017年度	1999年度(最大時)		
	5,511	5,671	5,898	16,659	C	
	コメント					
	<ul style="list-style-type: none"> ・主な利用者は小学生以下の児童(及びその付き添い者) ・夏季のみ(7月の第2週から9月の第1週までの2カ月間)しか営業していないので、費用対効果が低い。 					
	将来予測					
平成11年に市民温水プール(屋内プール)ができて以降、利用者は減少している。近年は減少率は下がっているが依然減少傾向にある。この先も、子どもの減少により利用者は減少していくと考えられる。						

コスト	施設運営形態				
	指定管理				
	2017年度 支出(千円)				
	指定管理料			借地料	その他支出
	金額	備考			
	13,721	左記の数値は長伏プール・上岩崎プールの合計		0	0
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費	評価
	使用料等	その他収入			
	0	0	13,721	1.00	中
立地状況	所在地		地域	都市計画	立地適正化計画
	文教町2-3681-1		旧市内地域	市街化区域	
	周辺駅・バス停				
	末広町バス停から徒歩5分				
	コメント				
	・利用者は小学生や幼児を連れた保護者なので、周辺道路には歩道が整備されていることが望ましい。				
問題点	☆利用者が減少傾向。 ☆夏季のみの営業で費用対効果が低い。				
対策内容の可能性	項目	コメント			
	廃止	利用者が少ないので、代替サービスを検討することにより廃止			
		代替サービス			
		市民温水プール	利用料金が本施設に比べ高額。		
小学校のプール	学校プールを一般開放する場合は、管理責任があるので、市で管理者をおこななければならない。				
対策内容	☆廃止(小学校プールの開放を検討する)				

【建築物の評価】

名称	上岩崎プール管理棟		
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(㎡)
	1997(20)	RC・地上1	264
管理方針	施設区分	使用終了予定年	
	一般施設	2037(大規模改修の実施時期前)	
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期
	実施時期	残存耐用年数	
	実施しない		実施しない
実施方針	☆2037年までに施設を廃止する。		

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	長伏プール				
施設所管課	スポーツ推進課	施設分類		体育施設	
開設年	1972年	総延床面積 (㎡)	323	敷地面積 (㎡)	5,658
目的	市民の健康増進とスポーツの推進				
写真	 				

【サービスの評価】

サービス内容	屋外プール。 ※利用料金は大人150円、小人50円					
	運営時間	9時00分～18時00分	休館日	毎月第3月曜日(夏季のみ営業。)		
	駐車台数	公園施設の駐車場を利用				
利用状況	主な評価項目(2017年度)					
	年間利用者数(人)				評価	備考
	2015年度	2016年度	2017年度	2001年度(最大時)		
	8,258	8,086	7,883	40,264	C	
	コメント					
	<ul style="list-style-type: none"> ・主な利用者は小学生以下の児童(及びその付き添い者) ・夏季のみ(7月の第2週から9月の第1週までの2カ月間)しか営業していないので、費用対効果が低い。 ・管理棟の一部を、長伏グラウンド利用者用のクラブハウスとして使用している。 					
	将来予測					
平成11年に市民温水プール(屋内プール)ができて以降、利用者は減少している。近年は減少率は下がっているが依然減少傾向にある。この先も、子どもの減少により利用者は減少していくと考えられる。						

コスト	施設運営形態				
	指定管理				
	2017年度 支出(千円)				
	指定管理料			借地料	その他支出
	金額	備考			
	13,721	左記の数値は長伏プール・上岩崎プールの合計		0	0
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費	評価
	使用料等	その他収入			
	0	0	13,721	1.00	中
立地状況	所在地		地域	都市計画	立地適正化計画
	長伏274-3		中郷地域	市街化調整区域	
	周辺駅・バス停				
	長伏小学校入口バス停から徒歩3分				
	コメント				
	・利用者は小学生や幼児を連れた保護者なので、周辺道路には歩道が整備されていることが望ましい。				
問題点	☆利用者が少なく、減少傾向。 ☆夏季のみの営業で費用対効果が低い。				
対策内容の可能性	項目	コメント			
	廃止	利用者が少ないので、代替サービスを検討することにより廃止			
		代替サービス			
		市民温水プール	通年で利用できるが、距離が遠く、利用料金が本施設に比べ高額。		
小学校のプール	学校プールを一般開放する場合は、管理責任があるので、市で管理者をおこななければならない。				
対策内容	☆廃止(小学校プールの開放を検討する)				

【建築物の評価】

名称	長伏プール管理棟			
基本情報	建築年(築年数)	構造	面積(m ²)	
	1971(46)	SRC・地上1	323	
管理方針	施設区分	使用終了予定年		
	一般施設	2023(老朽化が激しいため)		
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期	総合劣化度
	実施時期	残存耐用年数		
	実施しない		実施しない	38.8
	備考			
	プールそのものの損傷が激しい。 地盤沈下による破損のため、利用できないプールがある。			
実施方針	☆2023年度末までに施設を廃止する。			

公共施設評価シート

作成日 2019年1月

【施設基本情報】

施設名	旧北上公民館		
施設所管課	課税課・郷土文化財室	施設分類	その他施設
開設年	1979年	総延床面積(m ²)	494
目的	倉庫		
写真	 		

【サービスの評価】

サービス内容	倉庫		
利用状況	現在の利用状況		
	課名	占有面積(m ²)	保管しているもの
	課税課	66.7	課税の記録文書
	行政課	32.4	文書
	郷土文化財室	225.7	埋蔵文化財及び書籍
	コメント		
	<ul style="list-style-type: none"> ・元宿直室が空き部屋となっている ・玄関に夏祭りの看板(商工観光課の所管)が置いてある。 ・その他、公民館時代の備品(机、カウンターなど)が残っている。 ・水道、電気は止まっている。 ※埋蔵文化財は坂小学校の体育館下スペースにも保管されている		
	将来予測		
<ul style="list-style-type: none"> ・課税課の書類は電子化により減少していく。(2025年頃に無くなる予定) ・埋蔵文化財は今後も増えていく。処分することができないので保管場所が必要。 			

コスト	施設運営形態				
	直営				
	2017年度 支出(千円)				
	管理委託料	光熱水費	人件費	借地料	その他支出
	130	16	0	1,800	45
	収入(千円)		年間経費 (支出-収入)	一人当たりの経費	評価
	使用料等	その他収入			
0	0	1,991			
立地状況	所在地		地域	都市計画	立地適正化計画
	徳倉650-1		北上地域	市街化区域	
	コメント				
	特になし				
問題点	☆借地をしている				
対策の可能性	項目		コメント		
	移動		借地を解消するために、他の公共施設の空きスペースへ移動		
対策内容	☆エコセンターに移動				

【建築物の評価】

名称	倉庫A				
基本情報	建築年(築年数)		構造	面積(m ²)	
	1979(39)		RC・地上2	494	
管理方針	施設区分		使用終了予定年		
	一般施設		2023(エコセンターが空く時期)		
調査	構造体耐久性調査		大規模改修実施時期	総合劣化度	
	実施時期	残存耐用年数			
	実施しない		実施しない	48.0	
実施方針	☆2023年頃に、建物を解体の上、土地を所有者に返還 ※ただし、地元自治会が希望するのであれば、譲渡を検討				

公共施設評価シート(2018年度利用率集計表【充足率】)

施設名	定員(人)	利用者数(人)	充足率(%)	評価	備考
西幼稚園	90	10	11.1%	C	
坂幼稚園	65	14	21.5%		
老人ホーム	50	15	30.0%		
大場幼稚園	65	27	41.5%		
沢地幼稚園	120	55	45.8%		
発達支援センター	16	8.4	52.5%		2017年度データ
北幼稚園	235	132	56.2%		
徳倉第二放課後児童クラブ	70	41	58.6%		
錦田幼稚園	270	159	58.9%		
松本幼稚園	120	73	60.8%	B	
旭ヶ丘幼稚園	65	41	63.1%		
南二日町住宅	98	64	65.3%		改修中
徳倉幼稚園	120	83	69.2%		
東幼稚園	120	84	70.0%		
坂放課後児童クラブ	45	35	77.8%		
児童発達支援事業所	24	18.8	78.3%		2017年度データ
柳郷地住宅	102	80	78.4%		
山田住宅	60	48	80.0%	A	
南幼稚園	65	53	81.5%		
藤代住宅	93	86	92.5%		
梅名西住宅	27	25	92.6%		
加茂住宅	27	25	92.6%		
加茂川町保育園	120	112	93.3%		
中郷第一・第二放課後児童クラブ	96	91	94.8%		
光ヶ丘住宅	112	108	96.4%		

施設名	定員(人)	利用者数(人)	充足率(%)	評価	備考
千枚原住宅	34	33	97.1%	A	
日の出町住宅	72	70	97.2%		
向山第二放課後児童クラブ	50	50	100.0%		
谷田住宅	27	27	100.0%		
梅名北住宅	42	42	100.0%		
徳倉住宅	24	24	100.0%		
中住宅	12	12	100.0%		
光ヶ丘保育園	90	90	100.0%		
佐野あゆみの里	30	30	100.0%		
徳倉第一放課後児童クラブ	44	45	102.3%		
おんすいち作業所	20	21	105.0%		
緑町佐野保育園	60	64	106.7%		
東放課後児童クラブ	40	43	107.5%		
青木保育園	90	97	107.8%		
北第二放課後児童クラブ	55	62	112.7%		
伊豆佐野保育園	45	51	113.3%		
錦田放課後児童クラブ	58	67	115.5%		
錦田保育園	120	139	115.8%		
さわじ作業所	20	24	120.0%		
北第一放課後児童クラブ	49	71	144.9%		

※市営住宅は、人数でなく、戸数として算定

公共施設評価シート(2017年度利用率集計表【回転率・稼働率】)

施設名	利用者数	利用件数	回転率	評価	稼働率
西地区コミュニティ防災センター	5,439	362	8.4%	C	
南地区コミュニティ防災センター	5,444	514	11.9%		
楽寿園(梅御殿)	3,208	53	14.7%		17.0%
東地区コミュニティ防災センター	10,574	659	15.3%		
高齢者いきがいセンター	1,810	449	15.3%		32.7%
北地区コミュニティ防災センター	1,542	198	18.4%		
坂公民館	13,225	912	20.0%		39.5%
佐野あゆみの里南棟	3,120	227	20.7%		42.5%
社会福祉会館	24,261	1,378	22.2%		
錦田公民館	27,025	1,726	33.0%	B	56.5%
中郷文化プラザ	44,048	2,075	34.8%		54.1%
北上文化プラザ	48,048	3,175	36.1%		60.8%
市民文化会館	249,517	4,506	50.8%	A	73.6%
生涯学習センター	127,972	3,260	53.5%		81.7%
市民活動センター	20,722	2,150	67.3%		
市民体育館	207,453		73.3%		
箱根の里	20,344	73		C	47.8%

公共施設評価シート(利用率集計表【その他】)

施設名	部屋名称	年間利用者数(人)					評価
		2015年度	2016年度	2017年度	最大時		
					年間人数	年度	
本町子育て支援センター	遊戯室・交流広場	30,453	30,206	27,606	38,193	2005	B
	短時間保育室	1,521	1,165	1,207	1,628	2006	B
	育児相談室	992	880	981	992	2015	A
発達支援センター	相談支援	328	527	511	527	2016	A
老人福祉センター		70,783	71,048	70,927	71,048	2016	A
北上高齢者すこやかセンター		9,498	9,353	9,090	9,498	2015	A
生涯学習センター	児童センター	53,083	51,993	48,548	55,145	2004	A
中郷文化プラザ	子育て交流質	2018.3.17から					
北上文化プラザ	子育て交流室	7,371	7,250	5,169	8,253	2013	C
エコセンター		2,491	4,059	2,310	4,059	2016	C
郷土資料館		59,395	69,798	65,930	69,798	2016	A
三嶋曆師の館		3,831	3,806	3,427	4,947	2005	C
楽寿園	楽寿館	16,424	18,043	16,080	21,100	1998	B
市民温水プール		121,479	118,208	118,011	121,479	2015	A
長伏プール		8,258	8,086	7,883	40,264	2000	C
上岩崎公園(管理棟)		5,511	5,671	5,898	16,659	1998	C

公共施設評価シート(2017年度コスト集計表)

施設名	年間運営費 (千円)	登録者数	運営日数	年間 利用者数	一人あたりのコスト	
					千円	偏差値
東小学校	45,788	388	252	97,776	0.47	44.8
西小学校	50,283	399	252	100,548	0.50	45.0
南小学校	57,593	557	252	140,364	0.41	44.6
北小学校	78,683	743	252	187,236	0.42	44.6
錦田小学校	60,761	573	252	144,396	0.42	44.6
徳倉小学校	42,433	440	252	110,880	0.38	44.4
坂小学校	32,942	79	252	19,908	1.65	50.4
佐野小学校	41,151	291	252	73,332	0.56	45.3
中郷小学校	54,497	393	252	99,036	0.55	45.2
沢地小学校	42,781	289	252	72,828	0.59	45.4
向山小学校	51,782	604	252	152,208	0.34	44.2
北上小学校	48,574	351	252	88,452	0.55	45.2
山田小学校	54,555	430	252	108,360	0.50	45.0
長伏小学校	42,790	351	252	88,452	0.48	44.9
錦田中学校	36,396	469	252	118,188	0.31	44.1
南中学校	22,202	545	252	137,340	0.16	43.4
北中学校	43,539	569	252	143,388	0.30	44.1
中郷中学校	20,056	220	252	55,440	0.36	44.3
北上中学校	24,333	479	252	120,708	0.20	43.6
中郷西中学校	39,706	374	252	94,248	0.42	44.6
山田中学校	28,871	318	252	80,136	0.36	44.3
東幼稚園	37,896	92	195	17,940	2.11	52.5
西幼稚園	22,794	27	195	5,265	4.33	62.8
南幼稚園	24,150	37	195	7,215	3.35	58.2
北幼稚園	47,863	160	195	31,200	1.53	49.8
錦田幼稚園	53,038	183	195	35,685	1.49	49.6
徳倉幼稚園	36,274	88	195	17,160	2.11	52.5
坂幼稚園	17,795	18	195	3,510	5.07	66.2
松本幼稚園	33,074	88	195	17,160	1.93	51.6
大場幼稚園	19,817	22	195	4,290	4.62	64.1
旭ヶ丘幼稚園	24,926	33	195	6,435	3.87	60.7
沢地幼稚園	34,500	74	195	14,430	2.39	53.8
加茂川町保育園	123,703	120	240	28,800	4.30	62.6
伊豆佐野保育園	56,612	53	240	12,720	4.45	63.4
緑町佐野保育園	62,966	66	240	15,840	3.98	61.1
錦田保育園	128,491	142	240	34,080	3.77	60.2
青木保育園	87,720	101	240	24,240	3.62	59.5

施設名	年間運営費 (千円)	登録者数	運営日数	年間 利用者数	一人あたりのコスト	
					千円	偏差値
光ヶ丘保育園	79,226	90	240	21,600	3.67	59.7
東放課後児童クラブ	1,509	52	252	13,104	0.12	43.2
北第一放課後児童クラブ	1,184	75	252	18,900	0.06	43.0
北第二放課後児童クラブ	795	63	252	15,876	0.05	42.9
錦田放課後児童クラブ	1,483	70	252	17,640	0.08	43.0
坂放課後児童クラブ	677	37	252	9,324	0.07	43.0
徳倉第一放課後児童クラブ	2,506	74	252	18,648	0.13	43.3
向山第一放課後児童クラブ	1,232	56	252	14,112	0.09	43.1
向山第二放課後児童クラブ	1,371	54	252	13,608	0.10	43.1
中郷第一・第二放課後児童クラブ	2,651	91	252	22,932	0.12	43.2
老人ホーム	58,739	15	365	5,475	10.73	92.6
佐野あゆみの里本棟	17,444	30	261	7,830	2.23	53.0
佐野あゆみの里南棟	8,862	12	261	3,132	2.83	55.8
発達支援センター	30,184			3,428	11.03	94.0
児童発達支援事業所	26,344			4,220	6.24	71.7
本町子育て支援センター	30,376			29,794	1.02	47.4
老人福祉センター	49,059			70,927	0.69	45.9
北上高齢者すこやかセンター	9,164			9,090	1.01	47.3
高齢者いきがいセンター	2,005			1,810	1.11	47.8
社会福祉会館	17,676			24,261	0.73	46.0
生涯学習センター	116,727			176,520	0.66	45.7
中郷文化プラザ	60,157			83,413	0.72	46.0
北上文化プラザ	38,321			60,357	0.63	45.6
錦田公民館	17,274			27,025	0.64	45.6
坂公民館	7,105			13,225	0.54	45.2
箱根の里	52,151			23,508	2.22	53.0
市民活動センター	6,420			20,722	0.31	44.1
東地区防災センター	1,969			10,574	0.19	43.5
西地区防災センター	1,020			5,439	0.19	43.5
南地区防災センター	2,647			5,444	0.49	44.9
北地区防災センター	127			1,542	0.08	43.0
市民文化会館	150,771			249,517	0.60	45.5
郷土資料館	25,794			65,930	0.39	44.5
エコセンター	2,126			2,310	0.92	46.9
三嶋曆師の館	2,378			3,427	0.69	45.9
長伏プール・上岩崎公園(管理棟)	13,721			13,781	1.00	47.3
平均					1.58	